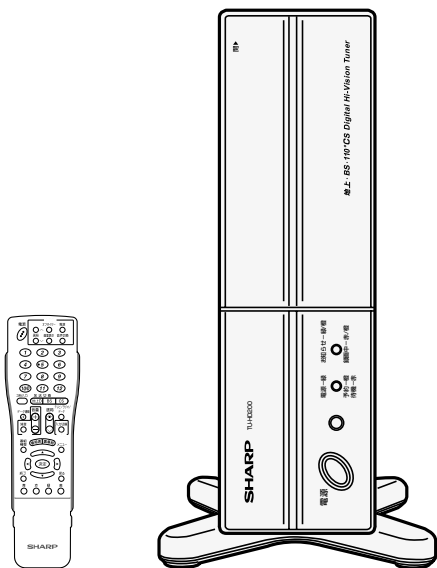
SHARP®

取扱説明書

デジタルチューナー

形 名

ティーユー　エイチ ディー
TU-HD200

接続クイックガイド
はじめにお読みください

はじめに
本機を正しくお使いいただくための注意事項や、デジタル放送について、本書の見かたなどについて説明しています。

デジタル放送を視聴する
デジタル放送の番組の楽しみかたや、EPG（電子番組表）の使いかたなどを説明しています。

デジタル放送の視聴予約と録画予約
デジタル放送の視聴予約や録画の予約のしかた、ビデオコントローラーの使いかたなどを説明しています。

いろいろな設定
デジタル放送を楽しく、安心してご覧いただくためのいろいろな設定と操作方法について説明しています。

その他
困ったときに確認する項目やおもな仕様、メニュー項目一覧、用語の解説や索引など便利な情報のページです。

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用前に「安全にお使いいただくために」（**30**ページ）を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができるところに必ず保存してください。
- 保証書は、必ず購入店名・購入日などの記入を確かめてお受け取りください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と、保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

接続クイックガイド

接続のしかたと初期設定について

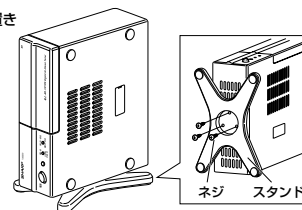
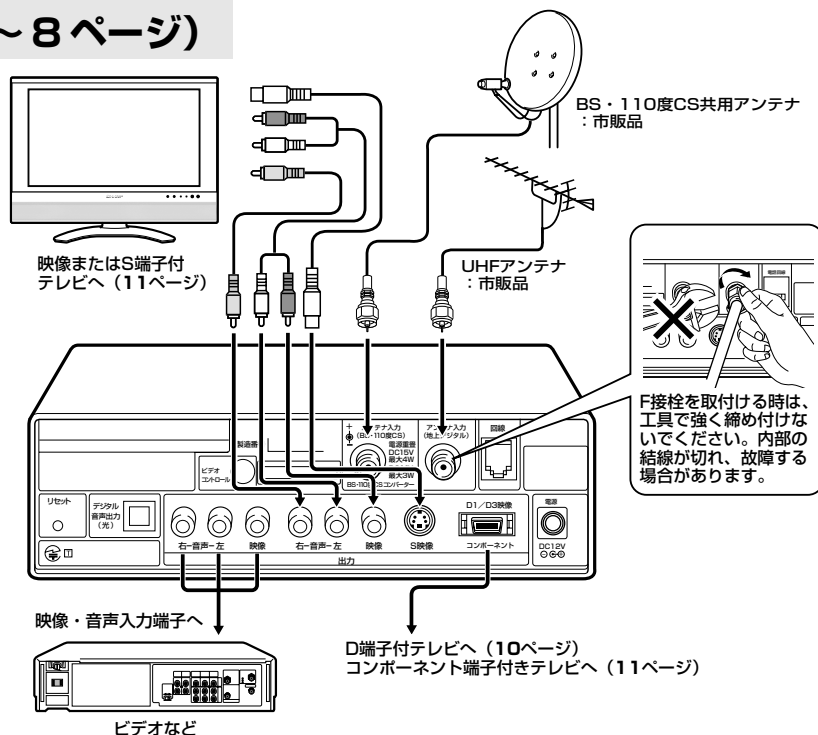
■設置と初期設定の大まかな手順は次のとおりです。

1 付属品を確認する (4ページ)

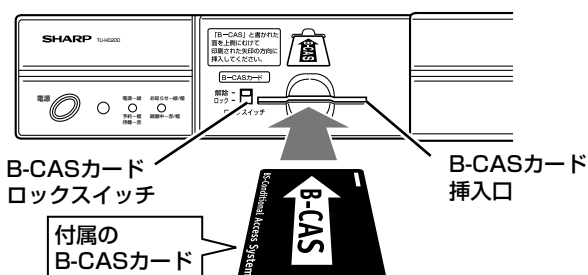
リモコン　単4形乾電池　スタンド（ネジ付き）　ACアダプタ　ACコード　映像音声コード

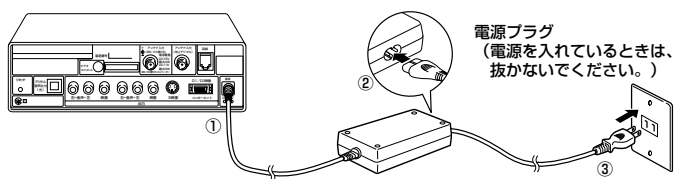
B-CASカード　ビデオコントローラー　D映像ケーブル　モジュラー分配器　電話線

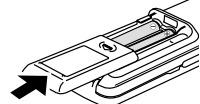
2 設置のしかた (5ページ)

本機は、縦横の両方の設置ができます。
縦置きの場合は、付属のスタンドを使います。

3 アンテナをつなぐ (6～8ページ)

4 デジタルチューナーをテレビに接続する (9～11ページ)

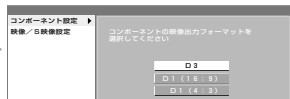
5 B-CAS カードを入れる (12～13ページ)

付属のB-CAS カードをカード挿入口に挿入し、
ロックスイッチでロックします。

6 電源を接続する（14ページ）

付属のACアダプターとACコードをつなぎ、チューナー、コンセントの順に接続します。

7 リモコンの準備と使いかた（15～16ページ）

リモコン裏側のカバーを開け、付属の単４形乾電池を⊕⊖の表示どおりに入れます。

8 画面サイズを設定する（17～19ページ）

接続するテレビの画面サイズを設定します。

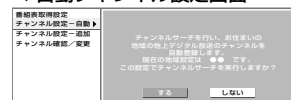
D端子付きテレビまたは色差入力端子付きテレビ

映像または
S映像端子付きテレビ

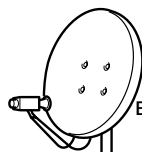
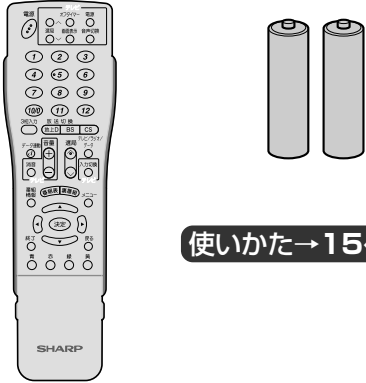
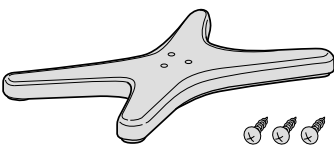
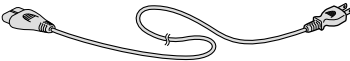
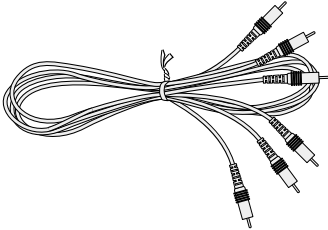
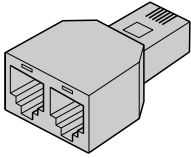
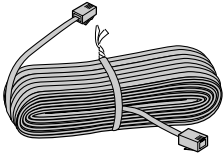
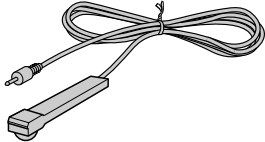
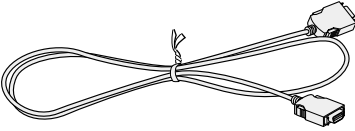
9 地域設定をする（20～21ページ）

地域と郵便番号を設定することで、お住まいの地域の情報をご覧になれます。
チャンネル設定の前に必ず地域設定をしてください。

10 地上デジタル放送のチャンネルを設定する（22～24ページ）

チャンネルの自動設定を行います。

▼自動チャンネル設定画面

11 デジタル放送を視聴するための設定をする（25～26ページ）

BS・110度CSデジタル放送用のアンテナの設定や受信強度の確認・調整を行います。

▼アンテナ設定画面

こんなときは	ここをお確かめください	ページ
映像も音声も出ない	•「BS・CSアンテナ電源」は正しく設定されていますか • B-CASカードは挿入していますか	7・26 12・13
画面に四角のモザイクが出る	• アンテナの向きは正しいですか • アンテナの信号強度を確認してください • アンテナの前方に障害物はありませんか	― 26 ―
WOWOWやスターチャンネルが視聴できない	• 有料放送は視聴契約が必要です • 電話回線は正しく接続、設定されていますか	42・44 51・53
110度CSデジタル放送が受信できない	• アンテナやケーブルは指定のものを使用していますか	7
画面にノイズが出る	• UHF/VHFアンテナケーブルとBS・110度CS用アンテナケーブルが接近していませんか	―
特定のチャンネルが映らない	• 有料放送は視聴契約が必要です • アンテナの信号強度を確認してください	42・44 26

● もくじは28～29ページをご覧ください。

接続クイックガイドの手順①

付属品

付属品をご確認ください

ご注意 B-CASカードは開封すると、添付されている契約約款に同意したとみなされます。開封前に必ず契約約款をよくお読みください。

品名	使いかた
リモコン× 1	使いかた→46ページ
単４形乾電池× 2	使いかた→15ページ
縦置きスタンド×1組（ネジ付き）	使いかた→5ページ
B-CASカード×1（B-CASユーザー登録はがき、B-CASカード使用許諾契約約款付）	使いかた→12～13ページ
ACアダプター(1.8m)×1	使いかた→14ページ
ACコード(2m)×1	使いかた→14ページ
映像音声コード(1.2m)×1	使いかた→9～11ページ
モジュラー分配器× 1	使いかた→51ページ
電話線（10m)×1	使いかた→51ページ
ビデオコントローラー（1.8m)×1	使いかた→87ページ
D映像ケーブル(1.5m)×1	使いかた→9～10ページ

- 取扱説明書（本書）× 1
- 保証書× 1

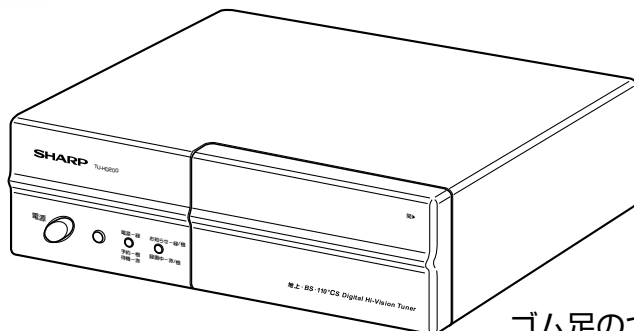
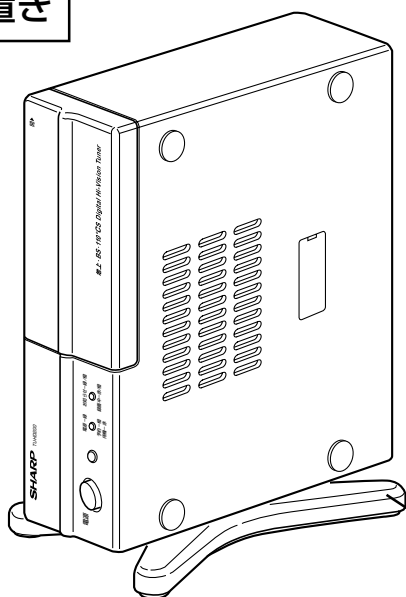
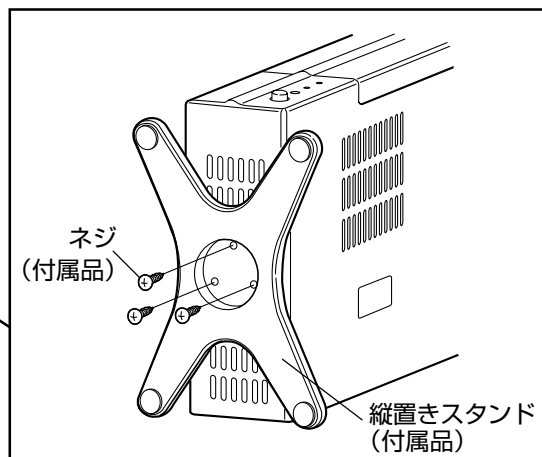
● 安全と性能維持のため、同梱のケーブルを必ずご使用ください。

接続クイックガイドの手順②

設置のしかた

■本機は、縦置き、横置きの両方に対応しています。
縦置きで使用する場合は、付属の縦置きスタンドをネジで止めてください。

横置き

縦置き

※縦置きスタンドを使用する場合は付属のネジでしっかりと固定してください。

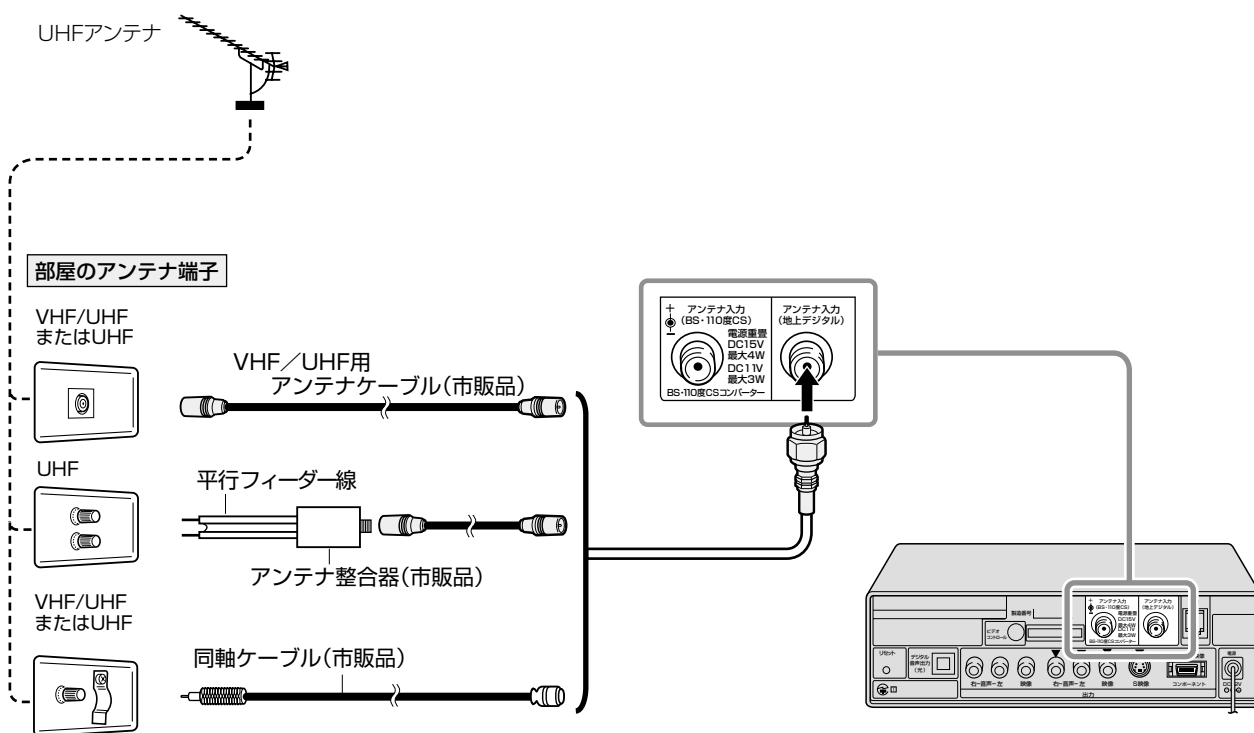
● 放熱孔はふさがないよう設置してください。

アンテナをつなぐ

UHFアンテナの接続

■ 地上デジタル放送の受信には、UHF対応のアンテナを使用します。VHFアンテナでは受信できません。
現在お使いのアンテナがUHF対応であれば、そのままご使用になれます。（※一部取り換えや調整が必要な場合もあります。また、地域によってはブースターの追加などが必要になることがあります。）

■ 市販のUHF用アンテナケーブル・長(差し込みタイプの方)、市販のアンテナ整合器などを、部屋のアンテナ端子の種類や使用するアンテナ線に応じて接続し、本体後面端子部のアンテナ入力(地上デジタル)端子に接続してください。

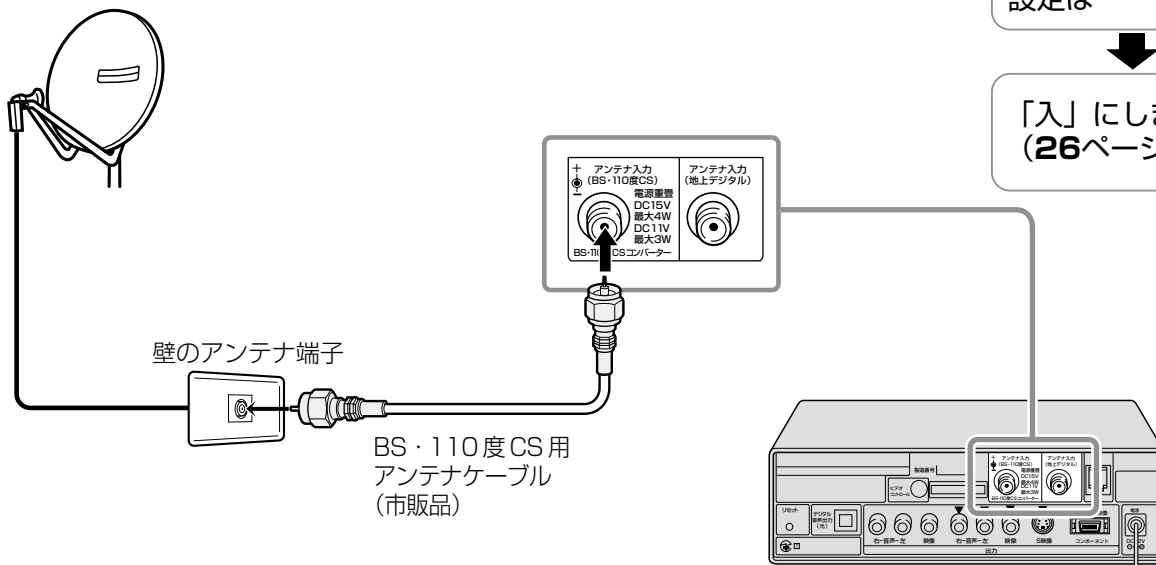
■ 地上デジタル放送をCATVパススルー*で受信する場合も、UHFアンテナと同じ接続をします。
CATVによる地上デジタル放送の視聴方法については、お客さまが契約されているケーブル会社にお問い合わせください。（＊CATVパススルー…**22**ページをご覧ください。）

● VHF／UHFの屋内アンテナ端子が分かれている場合など、混合器の取付けが必要なときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

BS・110度CS共用アンテナの接続

■BS・110度CSデジタル放送受信用のアンテナおよびアンテナ線は、専用のものをご使用ください。
アンテナ .... 市販のBS・110度CS共用アンテナをご使用ください。**（共用アンテナでない従来のBSアナログ放送用アンテナでは、110度CSデジタル放送は受信できません。また、BSデジタル放送も場合によっては映らないことがあります。）**
アンテナ線..... 110度CS帯域（2150MHz）まで対応しているもの（例. S-5C-FB）をご使用ください。
ブースターや分配器をご使用の場合 .... 110度CS帯域（2150MHz）まで対応しているものをお使いください。
詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。
■BS・110度CS共用アンテナの取付けについては、アンテナに付属の取扱説明書をご覧ください。

BS・110度CS共用アンテナを単独で接続するとき

市販のBS・110度CS用アンテナケーブルを本体後面端子部のアンテナ入力（BS・110度CS）端子と壁のアンテナ端子に接続します。

BS・110度CS
共用アンテナ

個人でアンテナ接続後のアンテナ電源の設定は

「入」にします。
（**26**ページ参照）

アンテナ入力（BS・110度CS）
電源重畳 DC15V 最大4W DC11V 最大3W
BS・110度CSコンバーター
アンテナ入力（地上デジタル）

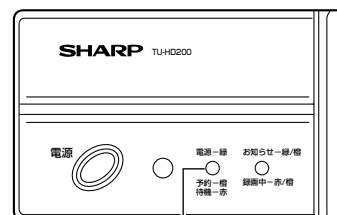
壁のアンテナ端子

BS・110度CS用
アンテナケーブル
（市販品）

- アンテナ入力（BS・110度CS）端子にアンテナ線を接続するときは、必ずアンテナ電源の設定を「切」にしておいてください。（**26**ページ参照）※工場出荷時、アンテナ電源の設定は「切」になっています。
- **アンテナ入力（BS・110度CS）端子への接続には、先端に六角形の金属プラグ（先端金属ネジ止めタイプ）が付いているもの（形状：　　　）をお買い求めください。**

電源/予約/待機ランプが点滅中のとき

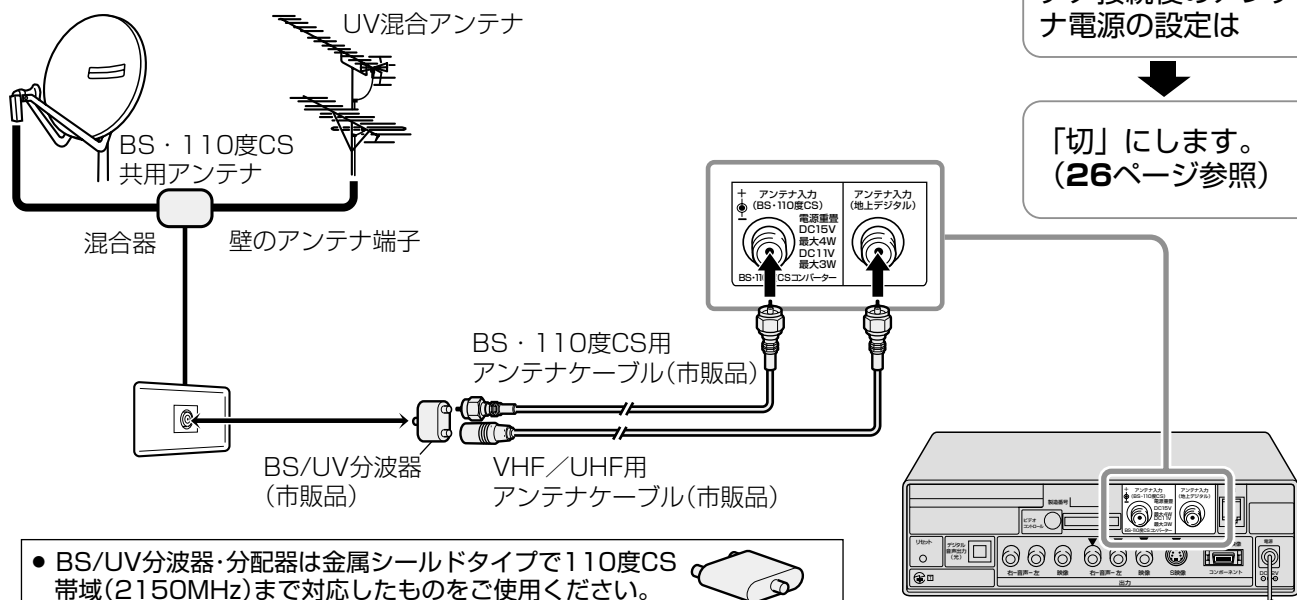
電源/予約/待機ランプが点滅中のときはBS/CSのアンテナ線がショートしています。

- BS/CSのアンテナを直接接続してアンテナに電源を供給する場合は、メニューのアンテナ設定より電源を「入」にしてください。
- その際に、電源/予約/待機ランプが点滅するときはアンテナ線の芯線と周りの金属部が接触していないか確認してください。
- 接触しないようにして電源を入れなおしても、点滅が解除されないときは、アンテナ線以外でショートしている可能性がありますので、販売店にご相談ください。

電源/予約/待機ランプ

アンテナをつなぐ(つづき)

BS・110度CSとVHF／UHFが混合されているとき(マンションなど、共聴システムの場合)

BS/UV分波器(市販品)を使用して接続します。

接続クイックガイドの手順④

デジタルチューナーをテレビに接続する

■テレビと接続します。

ワイドテレビでご覧になる場合

■テレビの画面サイズ設定により、周辺が一部切れることがあります。画面サイズを最良となるモードに設定してください。

映像・音声入力端子へ
(映像音声コード:付属品)

映像・音声入力端子へ
(映像音声コード:付属品)

S映像/ビデオ端子付きテレビ(11ページ)

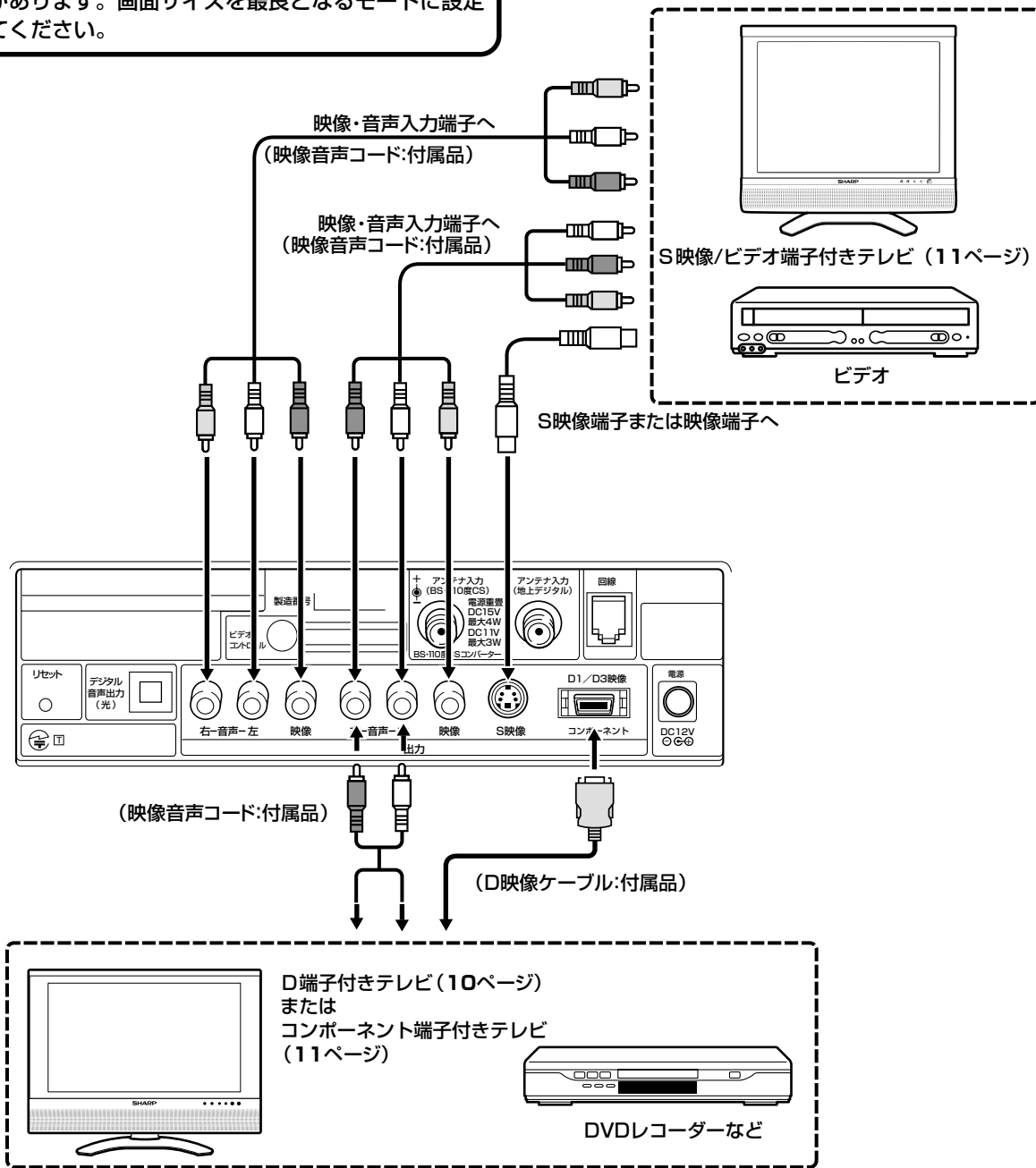
ビデオ

S映像端子または映像端子へ

(映像音声コード:付属品)

(D映像ケーブル:付属品)

D端子付きテレビ(10ページ)
または
コンポーネント端子付きテレビ
(11ページ)

DVDレコーダーなど

録画中は不要な操作をしないでください

■操作中に表示される画面表示も録画されます。

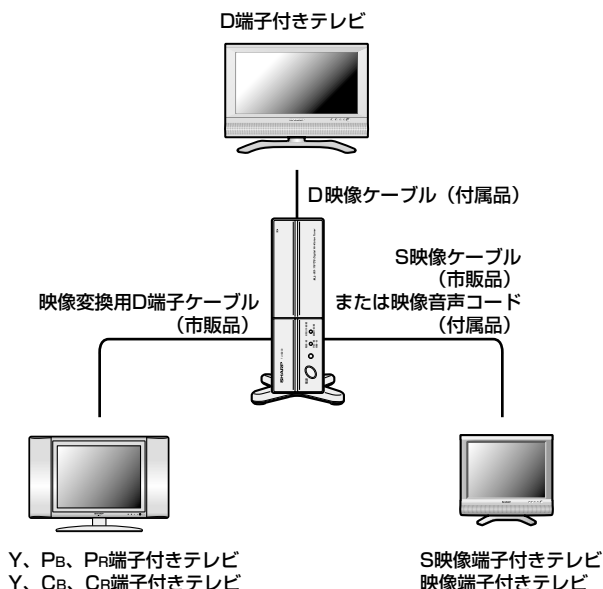
- ビデオカセットレコーダーの映像端子を仲介してテレビをご覧にならないでください。PPV(ペイ・パー・ビュー)の録画禁止放送は、ビデオを仲介して接続すると録画禁止信号の影響により映像が乱れることがあります。
- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどの他は著作権法上、権利者に無断で使用できません。

デジタルチューナーをテレビに接続する(つづき)

テレビとデジタルチューナーを接続する

■本機は様々な接続端子に対応しています。

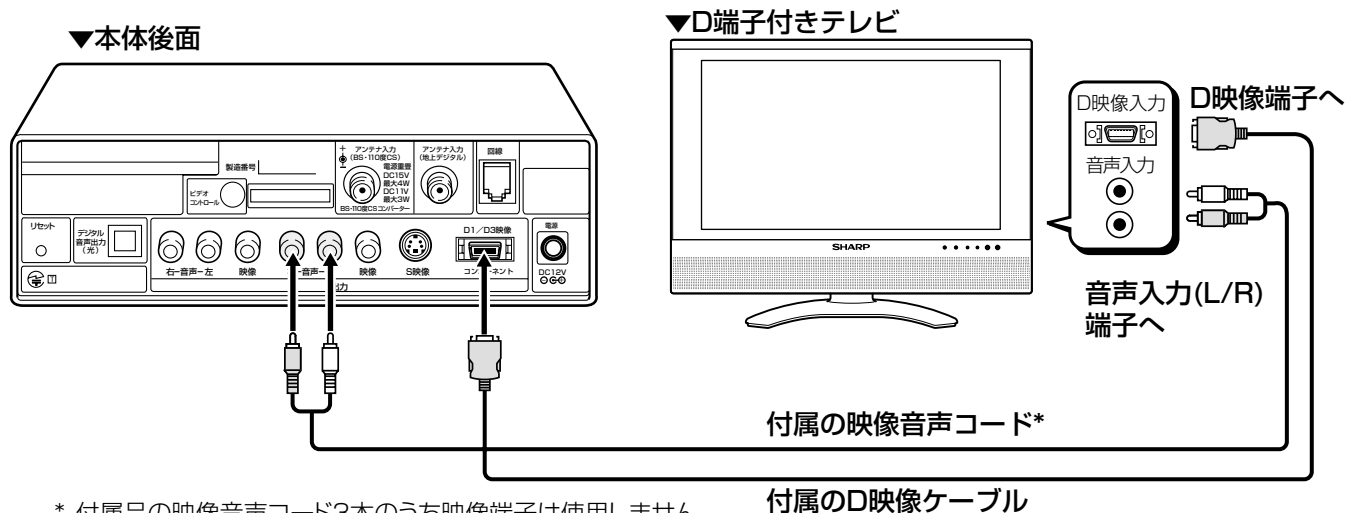
■下表を参考に、接続されるテレビやモニターにあわせ接続してください。詳しくは接続される機器の取扱説明書をご覧ください。

テレビの映像入力端子	本機の接続端子	接続ケーブル		ページ
		音声	映像	
D端子付き	D端子	付属の映像音声コード	付属のD映像ケーブル	10
Y,PB,PR端子付き	D端子	付属の映像音声コード	映像変換用D端子ケーブル(市販品)	11
Y,CB,CR端子付き				
S映像端子付き	S端子	付属の映像音声コード	S映像ケーブル(市販品)	11
映像端子付き	映像端子	付属の映像音声コード	付属の映像音声コード	11

D端子付きテレビの接続

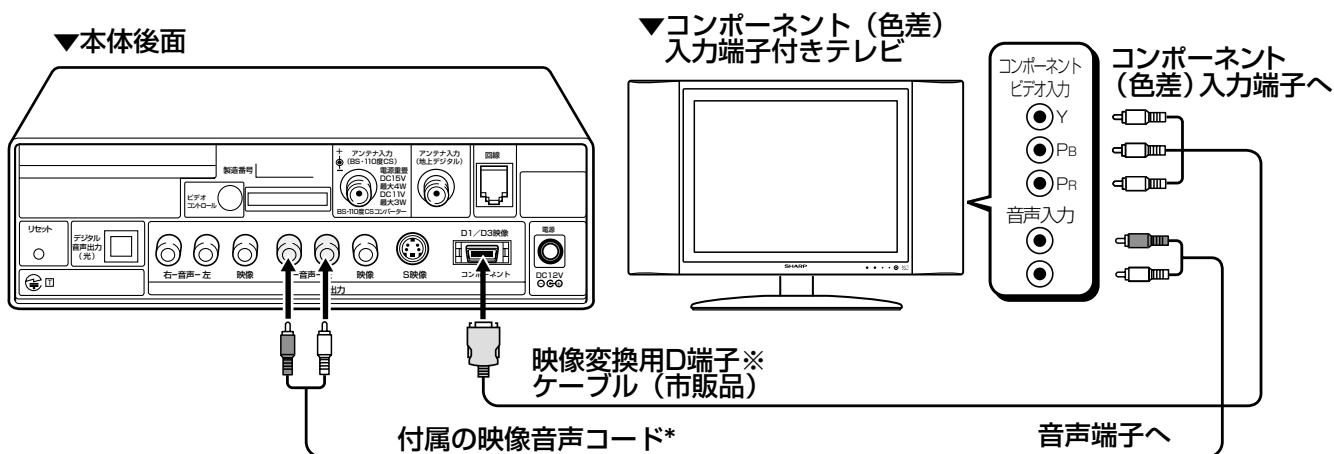
■付属のD端子接続ケーブルで本機とテレビのD端子を接続します。また音声は付属の映像音声コードで音声入出力端子を接続します。

テレビのD端子には下のような端子の種類があり、画質が異なります。

D1端子:現行の標準テレビの映像画質(525i)
D2端子:ハイビジョンに近い画質(525p)
D3端子:デジタルハイビジョンの映像画質(1125i)
D4端子:デジタルハイビジョンの映像画質(750p)

- 本機のD端子はD1～D3に対応しています。
- 本機は出荷時、D1出力に設定されています。

* 付属品の映像音声コード3本のうち映像端子は使用しません。付属品の映像音声コードの代わりに市販の音声コード(音声端子のみの2本組)をご使用いただくこともできます。

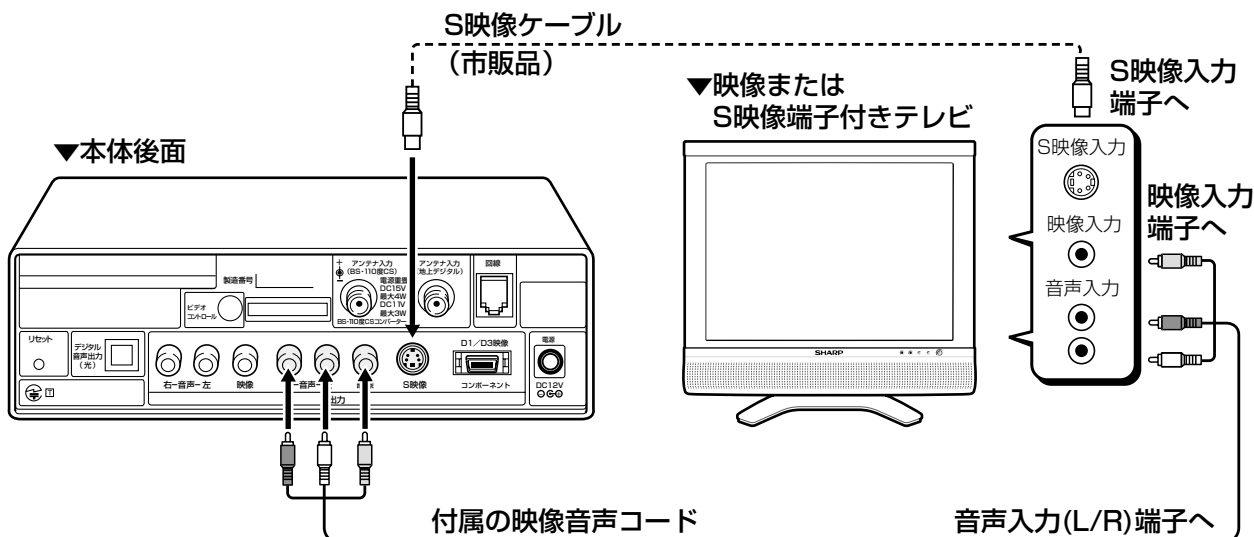
コンポーネント端子付きテレビ(ハイビジョンテレビ)の接続

■市販の映像変換用D端子ケーブルで、本機のD1/D3映像端子とテレビのコンポーネントビデオ入力端子を接続します。また音声は付属の映像音声コードで音声入出力端子を接続します。

* 付属品の映像音声コード3本のうち映像端子は使用しません。付属品の映像音声コードの代わりに市販の音声コード（音声端子のみの2本組）をご使用いただくこともできます。

※映像変換用D端子ケーブル
赤、青、緑に色分けされた3本1組のビデオケーブルです。片方はD端子のものをご購入ください。

● テレビによってはハイビジョンと通常のビデオ(DVD等)の切換えが必要なものがあります。お使いのテレビの取扱説明書に従って設定してください。

映像またはS映像端子付きテレビの接続

■付属の映像音声コードで本機とテレビの映像端子・音声端子を接続します。
■S端子付きのテレビをご使用の場合、市販のS映像ケーブルで本機とテレビのS映像端子を接続してください。このとき、映像端子を接続する必要はありません。

B-CASカードについて

■地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送では、B-CAS(ビーキャス)カードを利用した限定受信システム(＝CAS)を採用しています。
付属のB-CASカード番号登録用はがきを送り、B-CASカードの番号を登録することで受信者登録が行われます。

■B-CASカードは、必ず登録してください(登録は無料です)。

■スカパー！110、WOWOWデジタルプラス、WOWOW、スターチャンネルなどの有料サービスを受けるには、各プラットフォームや放送局との個別受信契約が必要となります。

付属のB-CASカード

B-CASカードおよびコピー制御信号についてのお知らせ

デジタル放送を視聴するときには、B-CASカードを必ず挿入してください。

- 2004年4月から、コピー制御のために、B-CASカードの機能を利用しています。
- B-CASカードを挿入しないと、すべてのデジタルテレビ放送が映らなくなっています。
- B-CASカードを挿入していただくことで、これまでどおり番組をお楽しみいただけます。

2004年4月から、デジタルテレビ放送には「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が加えられています。

- 「1回だけ録画可能」のコピー制御信号は、BSデジタル放送のWOWOWやスター・チャンネルですでに利用されています。
- この信号とともにデジタル録画された番組は、他のデジタル録画機器へのダビングができません。

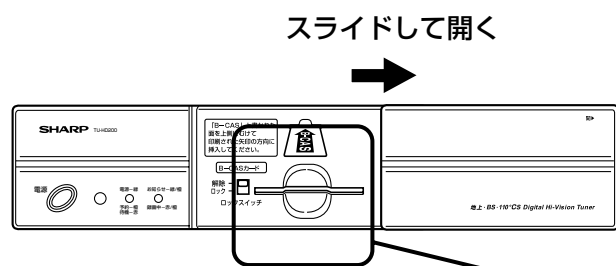
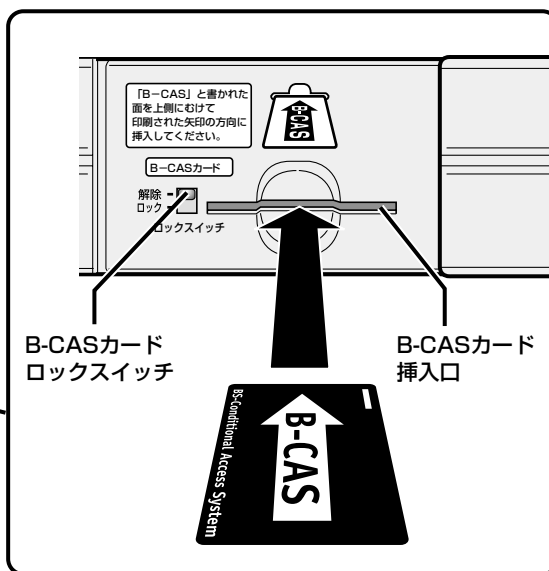
コピー制御お問合せセンター
電話： 0570-000-288 （午前10時～午後8時）（2005年12月現在）

B-CASカードを入れる

B-CAS カードの入れかた

- B-CASカードを挿入するときは、いったん電源を切ります。

① B-CASカードを表面の矢印の方向に差し込む。（奥まで確実に挿入してください。）
② B-CASカードロックスイッチをスライドさせ、「ロック」位置にする。

- 再度電源を入れます。

B-CASカードについて

- B-CASカードには視聴情報などが記憶されますので、本機に入れたままご使用ください。
- B-CASカードは大切に保管してください。仮に他人があなたのB-CASカードを使用して有料番組を視聴した場合でも、視聴料はあなたの口座に請求されます。
- 破損等によりB-CASカードの再発行を依頼される場合は費用が必要となります。（2004年12月現在）
  詳しくは、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターまでご連絡ください。
  （カスタマーセンターの連絡先は、B-CASカードに記載されています。）

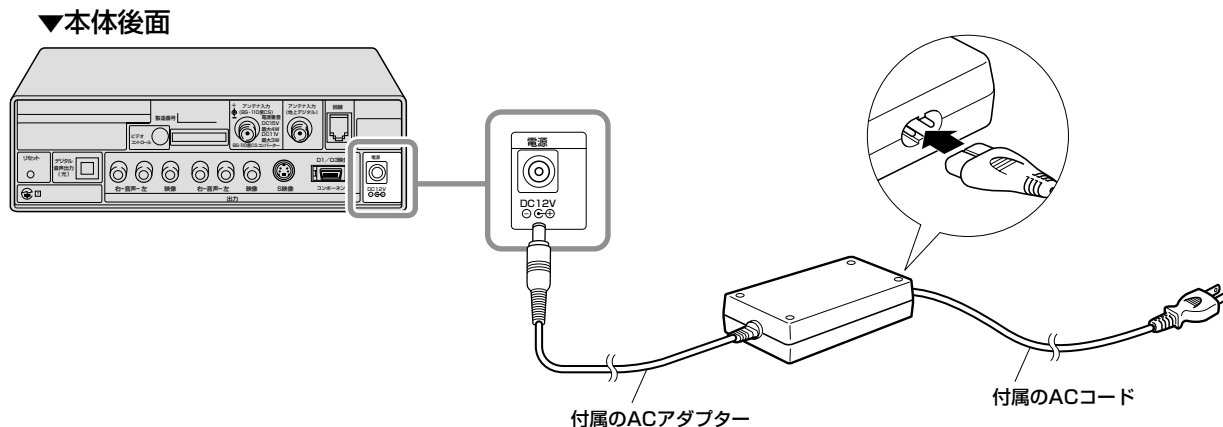
取扱い上のご注意

- B-CASカードを折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしないでください。
- B-CASカードの上に重いものを置いたり、踏みつけたりしないでください。
- B-CASカードの金属部（集積回路）には手を触れないでください。
- B-CASカードを分解、加工しないでください。
- B-CASカードは上記の手順どおり、本機のB-CASカード挿入口に正しく差し込んでください。
- B-CASカード挿入口には、本機に付属しているB-CASカード以外のものを挿入しないでください。
- 本機ご使用中は、B-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。万一、B-CASカードを抜く必要がある場合は、本機の電源を一度切り、本機を電源コンセントに接続しない状態で、B-CASカードロックスイッチを上にスライドさせてロックを解除した後、ゆっくりと抜いてください。
- B-CASカードにはIC（集積回路）が組み込まれているため、画面にB-CASカードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差ししないでください。

接続クイックガイドの手順⑥

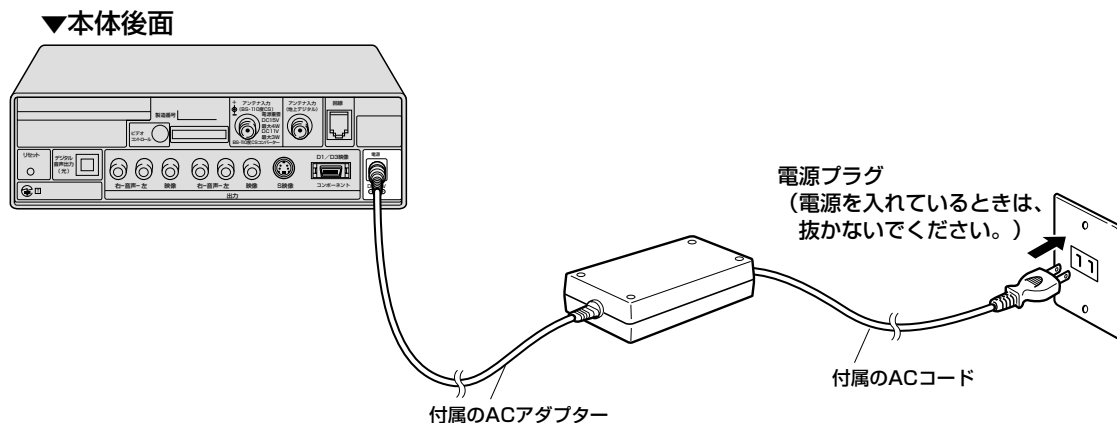
電源の接続

本機とACアダプターを接続する

■ACコードを本機に接続するときは、本体の電源端子に差し込んでから家庭用電源コンセントに接続してください。

●各接続部は、完全に根元まで差し込まれていることを確認してください。

長時間ご使用にならないときは…

●必ずACコードをコンセントから抜いてください。

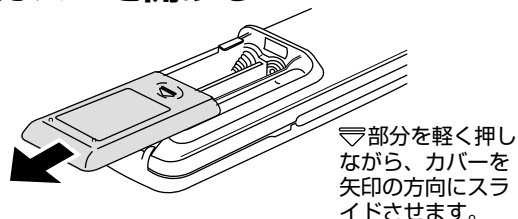
ACアダプターとコンセントを接続する

電源の接続について

● 本機は電源「切」の状態でも、放送局と通信を行います。
● 電源プラグをコンセントに差し込んだままご使用ください。
● 電源プラグは、コンセントに差し込んだ直後に抜かないでください。まれに、初期設定の状態に戻り、「番組予約」が消去されます。この場合、再度設定を行ってください。（**78**ページ参照）

リモコンの準備と使いかた

リモコンに乾電池を入れる

- 付属の乾電池は保管状態により短期間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長時間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。

1 カバーを開ける

2 付属の単4形乾電池を入れ、カバーを元どおりに閉める

⊕⊖の表示どおりに入れてください。

リモコン使用上のご注意

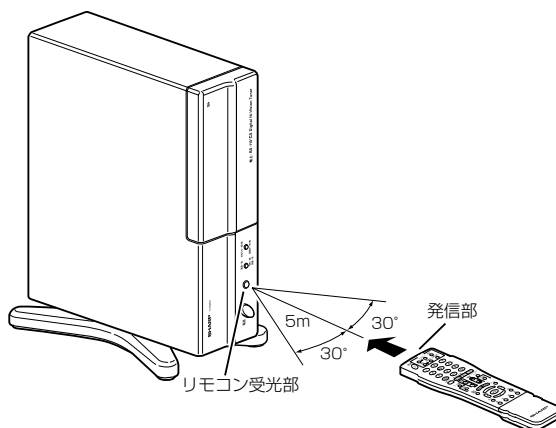
■リモコン送信機には衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり温度の高いところには置かないでください。

■リモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっているとリモコン動作がしにくくなります。照明または本機の向きを変えてください。

リモコンで操作できる範囲

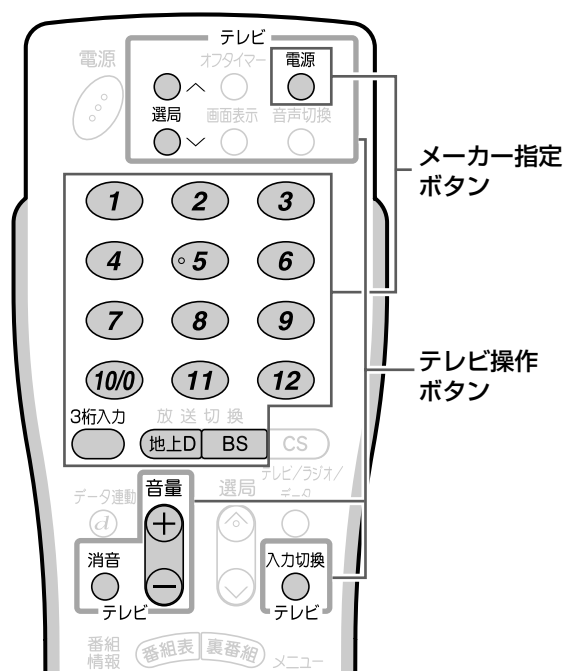
リモコンは、リモコン受光部の受光部に向けて操作してください。操作できる範囲は受光部から約5m、上下左右に約30度以内です。

リモコンで動作しにくいとき

- リモコンと本機の受光部との間に障害物があると、操作できないことがあります。
- 乾電池が消耗した場合は、操作できる距離が徐々に短くなりますので、早めに新しい乾電池に交換してください。
- 蛍光灯などが近くにある場合には、動作しにくいことがあります。

※テレビの操作のときは、テレビのリモコン受光部に向けて操作してください。

リモコンの準備と使いかた(つづき)

本機のリモコンでお手持ちのテレビを操作するために

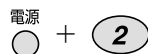
■本機のリモコンは、国内メーカー11社のテレビのリモコンコードを記憶しています。ご使用になる前にメーカーを指定しておけばお手持ちのテレビを操作することができます。
■工場出荷時はシャープAに設定されております。

シャープA対応形名	シャープB対応形名
● 右記以外のテレビの時(1986年以降に発売のもの) ● 右記記載以外で、1985年以前のテレビの操作はできません。	14C-S1, 14C-S2, 14C-S6, 14C-S8, 14C-M2, 14C-N10, 14C-F1, 14C-D31, 15C-S5, 15C-F7, 15C-A1, 16C-S1, 16C-S6, 18C-S3, 19C-S1, 19C-S4, 19C-S7, 19C-S10, 19C-S11, 19C-S12, 19C-M1, 19C-M4, 19C-M11, 19C-M12, 19C-M16, 19C-N10, 19C-K1, 19C-K5, 20C-S3, 21C-S9, 21C-S10, 21C-S11, 21C-M1, 21C-M3F, 21C-M4, 21C-M11, 21C-M12, 21C-M20, 21C-M21, 21C-N10, 21C-K1, 21C-K5, 21C-G1, 21C-L1, 28C-S10, 28C-M10, 28C-M21, 28C-G10, 37C-M6M (19C-S12A, 19C-S9A, 21C-S12A は除く)
シャープC	
A、Bで操作できないときはシャープCを選んでください。	

メーカー指定のしかた

メーカー指定ボタン

指定ボタン	メーカー	指定ボタン	メーカー
電源 + 1	シャープA	電源 + 9	日立
電源 + 2	シャープB	電源 + 10/0	東芝
電源 + 3	シャープC	電源 + 11	パイオニア
電源 + 4	松下1(新)	電源 + 12	三洋1
電源 + 5	松下2(旧)	電源 + 3桁入力	三洋2
電源 + 6	ビクター	電源 + 地上D	富士通ゼネラル
電源 + 7	ソニー	電源 + BS	NEC
電源 + 8	三菱	工場出荷時	シャープA

1 テレビ用の電源ボタンを押したまま「メーカー指定ボタン」を約5秒間押す

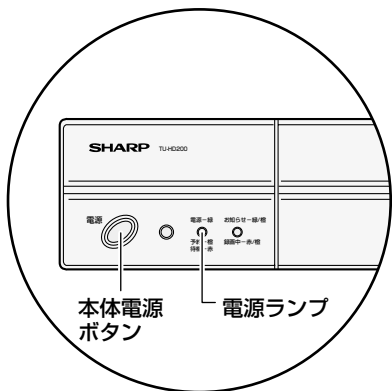
●テレビはテレビに付属のリモコンで電源「切」の状態にしておきます。
〔例〕シャープB
電源 + 2

2 操作できるか確認する

電源 ....テレビの電源入/切
電源入の状態で操作します。
入力切換 テレビ ....テレビの入力切り換え
消音 ....音を一時的に消します。
選局 ∧∨ ....テレビの選局
音量 ⊕⊖ ....テレビの音量

● テレビの種類や機種によっては、本機のリモコンで操作できないものや特定のボタンが操作できないものがあります。上記のボタン以外のテレビ用ボタンについては、**47**ページをご覧ください。
● リモコンのテレビ操作部は、メモリーできるマルチタイプのリモコンに転送できない場合があります。メモリーする場合は、テレビのリモコンで転送してください。
● テレビの操作をするときは、テレビに向けて操作してください。

画面サイズの設定

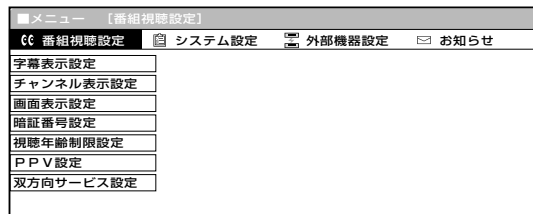
電源を入れ、画面サイズの設定を行う

■はじめに本機の映像を、お使いのテレビに正しく表示するための設定をします。ご使用のテレビの画面にあった設定をしてください。

1 **本機の電源を入れる**

※本体の電源ボタンで電源を入れた後、ふだんはリモコンの電源ボタンで入／切できます。（リモコンで「入」にすると電源ランプは赤色から緑色になります。）

2 **テレビの電源を入れ、本機を接続している端子の入力に切り換える**

例：ビデオ1、ビデオ2、コンポーネントなど

3 **（メニュー）を押し、メニュー画面を表示する**

4 **◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ**

5 **▲ ▼ で「映像設定」を選び、（決定）を押す**

次ページへ

画面サイズの設定(つづき)

■コンポーネント設定について

テレビの映像入力端子仕様		本機の推奨設定
D端子の場合	Y/PB/PR, Y/CB/CR端子の場合	
D1	525iの信号に対応	D1(4:3)またはD1(16:9)*
D2	525i、525pの信号に対応	D1(4:3)またはD1(16:9)*
D3	525i、525p、1125iの信号に対応	D3
D4	525i、525p、1125i、750pの信号に対応	D3

* お手持ちのテレビの画面比率が4:3の場合はD1(4:3)、16:9の場合はD1(16:9)を選択してください。

- 接続するテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 画面が正しく表示されない場合は、接続するテレビの画面モードを切り換えるか、ビデオ接続で本設定を確認してください。

■映像/S映像設定について

テレビの画面サイズ	本機の推奨設定
4:3	レターボックス
16:9	スクイーズ

- コンポーネント設定がD1(4:3)の場合はスクイーズは選択できません。スクイーズにする場合は、コンポーネント設定をD3、またはD1(16:9)に設定してから、映像/S映像設定でスクイーズを選択してください。

D1/D3映像端子で接続している場合

6

① ▲ ▼ で「コンポーネント設定」を選び、決定 を押す

② 接続しているテレビのD端子の種類にあわせて、▲ ▼ で項目を選び、決定 を押す

接続しているテレビのD端子の種類	コンポーネント設定で選ぶ項目	出力される映像について
D5 D4 D3	D3	デジタル放送の画質で表示されます。※ ただし、D3(1125i)より高画質な映像の場合は、D3(1125i)の画質で出力されます。
D2 D1	「D1(16:9)」または「D1(4:3)」 テレビの画面サイズにあわせて選んでください。	従来の放送(地上アナログ放送)と同等の画質で表示されます。

※デジタル放送の画質は番組によって異なります。標準画質の放送を受信したときは、標準画質のまま出力されます。

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

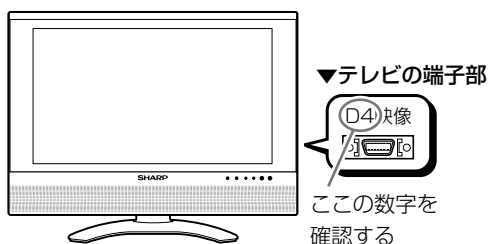
操作終了する場合は ▶

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

テレビに何も表示されなくなったときは

- お使いのテレビのD端子が「D1」または「D2」の場合に、コンポーネント設定を「D3」にすると、テレビに何も表示されなくなります。このときは、つぎの手順に従って操作してください。
  ①本機とテレビを接続しているD映像ケーブルを取り外す。
  ②本機とテレビを付属の映像音声コードで接続する。
  ③メニューボタンを押して、表示されたメニュー画面から「システム設定」－「映像設定」を選ぶ。
  ④「コンポーネント設定」を「D1(16：9)」または「D1(4：3)」に変更する。
  ⑤本機とテレビを接続している映像音声コードを取り外す。
  ⑥本機とテレビをD映像ケーブルで接続する。

D端子の種類の確認のしかた

- 通常は端子部の近くにD端子の種類が記載されています。

※ 端子部を確認してもよくわからないときは、お使いのテレビの説明書をご覧ください。それでもよくわからないときは、「D1(16：9)」または「D1(4：3)」から、お使いのテレビの画面サイズにあうものを選んでください。

映像の種類とD端子の規格について

映像の種類	対応しているD端子の種類	画質
1125p	D5	高画質
750p	D4以上	
1125i	D3以上	
525p	D2以上	
525i※	D1以上	標準

※ 従来の放送(地上アナログ放送)の映像は525iです。

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

S映像端子または映像端子で接続している場合

お使いのテレビの画面にあわせて設定してください。

画面の縦横比が16：9(ワイド画面)テレビの場合

6

① ▲ ▼ で「コンポーネント設定」を選び、決定 を押す

② ▲ ▼ で「D1(16：9)」を選び、決定 を押す

③ ▲ ▼ で「映像/S映像設定」を選び、決定 を押す

④ ◀ ▶ で「スクイーズ」を選び、決定 を押す

画面の縦横比が4：3テレビの場合

6

① ▲ ▼ で「コンポーネント設定」を選び、決定 を押す

② ▲ ▼ で「D1(4:3)」を選び、決定 を押す

地域設定をする

地域と郵便番号を設定する

■ 地上デジタル放送チャンネルを受信するために、地域設定をお住まいの地域に設定します。
チャンネル設定の前に、必ず地域設定をしてください。（工場出荷時は関東の東京に設定されています。）

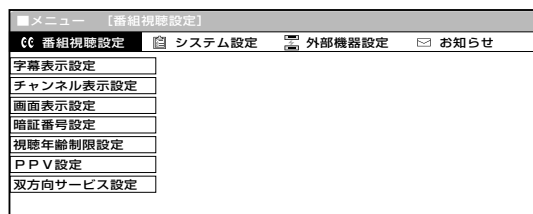
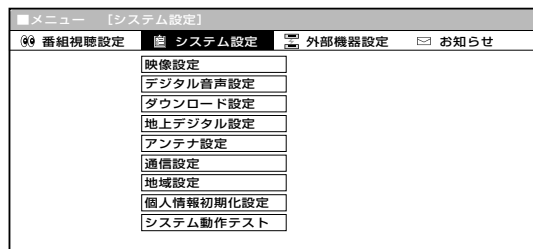
■ デジタル放送の緊急ニュースなどの文字スーパーやデータ放送は、地域によって放送される内容が異なることがあります。お客さまがお住まいの地域に向けた情報を受信するために、必ず地域設定を行ってください。

数字ボタン

B-CASカードは正しい向きに挿入してありますか。正しい向きに入っていないとデジタル放送が受信できません。（**13**ページ参照）

地域選択

操作開始

1 地上D **を押し、地上デジタル放送を選ぶ**

2 メニュー **を押し、メニュー画面を表示する**

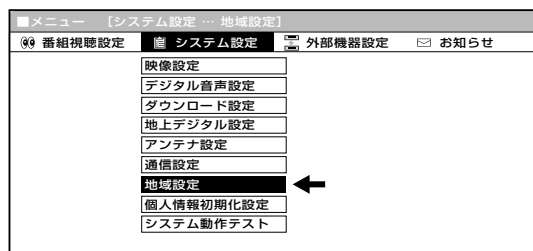
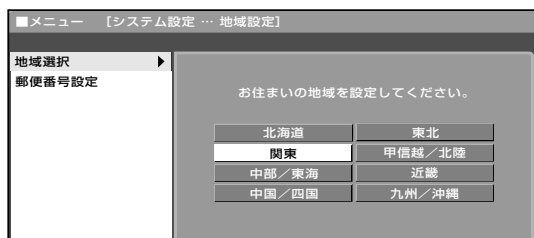
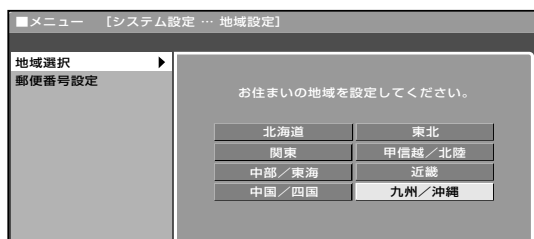
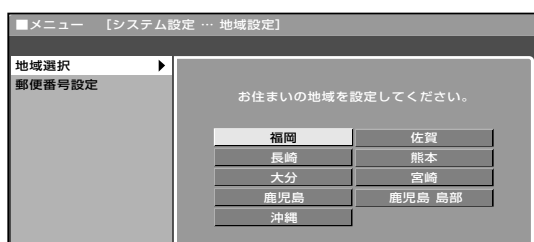
3 ◀ ▶ **で「システム設定」を選ぶ**

4 ▲ ▼ **で「地域設定」を選び、** 決定 **を押す**

次ページへ

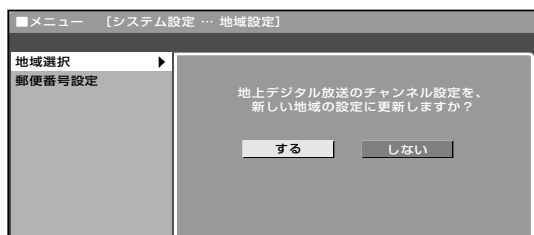
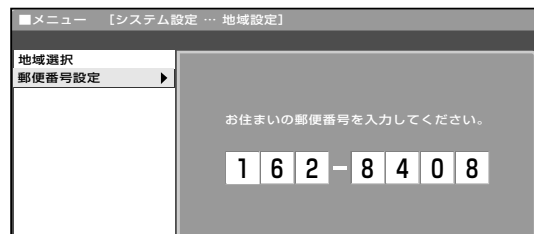
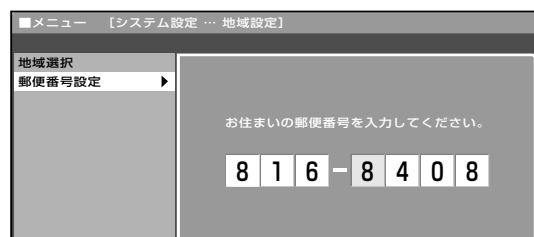
メニュー画面について

- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

5 **で「地域選択」を選び、決定 を押す**

6 お住まいの地域を **◀ ▶ で選び、決定 を押す**

7 お住まいの都道府県を   **◀ ▶ で選び、決定 を押す**

●関東・中部／東海・近畿の一部の都府県を選択した場合は、手順**7**の後につぎの画面が表示されます。

◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す

郵便番号設定

8 **で「郵便番号設定」を選び、決定 を押す**

9 数字ボタン(1 ～ 10/0)で郵便番号を入力し、決定 を押す

●入力した番号を修正するときは、修正したい欄を左右カーソルボタンで選び、数字ボタンで入力しなおします。

●1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶

接続クイックガイドの手順⑩

地上デジタル放送のチャンネルを設定する

地上デジタル放送のチャンネル設定について

■地上デジタル放送を視聴するためのチャンネル設定です。お住まいの地域で地上デジタル放送が開始されてから行ってください。

■**チャンネル設定をする前に、必ず地域設定（20ページ）をお住まいの地域に設定しておいてください。**（工場出荷時は、東京都心で放送が受信できるように設定されています。）

● メニューの「システム設定」→「地上デジタル設定」を選んで設定します。

メニュー項目	内　容
チャンネル設定ー自動 ☞ **23** ページ	● お住まいの地域で受信可能な地上デジタル放送のチャンネルを自動登録するときに選びます。 ● 最初のチャンネル設定は、必ず「自動」で行ってください。また、引っ越しなどでお住まいの地域が変わった場合も再度、自動登録をしてください。
チャンネル設定ー追加 ☞ **94～95** ページ	● 設定後、新しく開始された放送チャンネルを追加登録するときに選びます。 ● すでに登録されているチャンネルはそのまま残ります。
チャンネル確認／変更 ☞ **96 ～ 102** ページ	● 登録した放送チャンネルをリスト表示して、確認することができます。 ● 登録したチャンネルの、番号重複時の変更や選局（∧順／∨逆）ボタンでのチャンネルスキップを設定することができます。

地上デジタル放送の受信チャンネル番号・枝番について

● 地上デジタル放送では、チャンネルボタン（1～12）のチャンネル番号のほかに、3桁のチャンネル番号が付けられています。1つの放送局が複数の番組を同時に放送する場合には、3桁のチャンネル番号で区別することになります。

● 3桁のチャンネル番号は、放送地域内（都府県、北海道は7地域）ではそれぞれ別番号になっています。したがって、通常は3桁で放送番組を特定できます。ただし、お住まいの地域により、隣接する他地域の放送も受信できることがあります。この場合は、3桁チャンネル番号が重複するケースがあります。このケースでは、さらにもう1桁（これを「枝番」といいます）を入力して選局することになります。

地上デジタル放送のCATV放送対応について

● 本機で受信できるケーブルテレビ（CATV）の方式は、「パススルー方式」※（UHF帯、ミッドバンド[MID]帯、スーパーハイバンド[SHB]帯、VHF帯）です。

※CATVパススルー方式とは： CATV配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままでCATV網に流す放送方式です。
この方式では、地上デジタル放送が本来使っているUHF帯のチャンネルとは異なる他チャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。
本機で受信できるのは、UHF帯、ミッドバンド（MID）帯、スーパーハイバンド（SHB）帯、およびVHF帯です。
※トランスモジュレーション方式には対応していません。

チャンネルを自動設定する

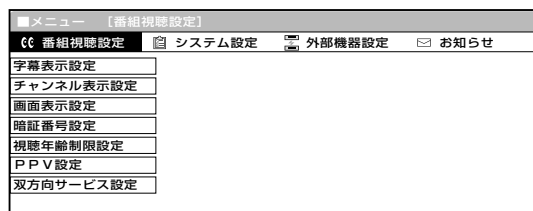
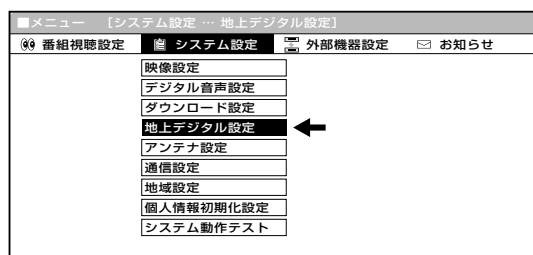
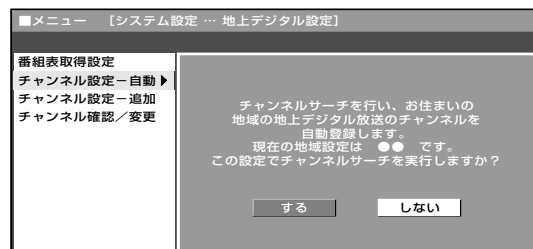
■初めて受信チャンネルを登録するときや、引っ越しなどでお住まいの地域が変わった場合に設定します。
■**チャンネル設定の前に、必ず地域設定(20ページ)をしてください。**(工場出荷時は関東の東京に設定されています。)

メニュー画面について
- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。
- メニュー画面の表示内容は、変更される場合があります。

B-CASカードは正しい向きに挿入してありますか。正しい向きに入っていないとデジタル放送が受信できません。(13ページ参照)

操作開始

1 地上D **を押し、地上デジタル放送を選ぶ**

2 メニュー **を押し、メニュー画面を表示する**

3 ① ◀ ▶ **で「システム設定」を選ぶ**
② ▲ ▼ **で「地上デジタル設定」を選び、** 決定 **を押す**

- 地上デジタル設定画面が表示されます。

4 **で「チャンネル設定ー自動」を選び、** 決定 **を押す**

次ページへ

地上デジタル放送のチャンネルを設定する(つづき)

チャンネルの設定変更

- 登録チャンネルの設定内容を変更する場合は、「登録されたチャンネルの設定内容を変更する」(**97**ページ)を参照してください。

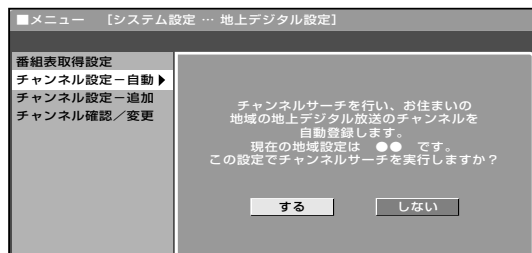
チャンネルの追加設定

- チャンネル自動設定後、追加でチャンネルを設定する場合は、「地上デジタル放送のチャンネルを追加設定する」(**94**ページ)を参照してください。

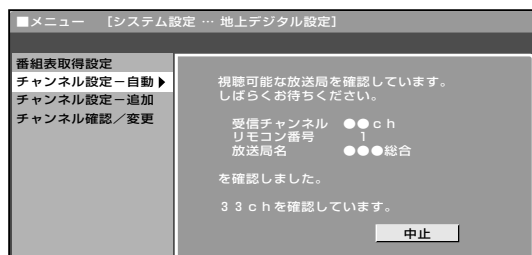
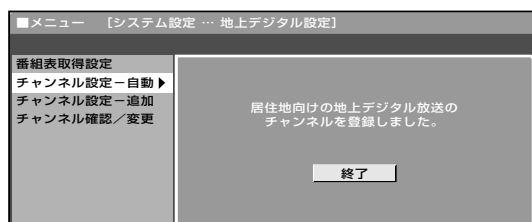
※CATVパススルーとは

- CATV配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままでCATV網に流す放送方式です。この方式では、地上デジタル放送が本来使っているUHF帯のチャンネルとは異なる他チャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。本機で受信できるのは、UHF帯、ミッドバンド(MID)帯、スーパーハイバンド(SHB)帯、およびVHF帯です。(トランスモジュレーション方式には対応していません。)

5

◀で「する」を選び、(決定)を押す

◀ ▶で「サーチ範囲を選び、(決定)を押す

「UHF」… 通常はこちらを選びます。
「全チャンネル」… CATVパススルー※の場合に選びます。

- 自動設定が開始され、確認中の画面が表示されます。

- 自動設定が終了すると、登録終了の画面が表示されます。

- 1つ前に戻る場合は (戻る) を押してください。

操作終了する場合は ▶

(メニュー) または (終了) を押し、通常画面に戻す

接続クイックガイドの手順⑪

デジタル放送を視聴するための設定をする

BS・110度CS共用アンテナの設定

■BS・110度CS共用アンテナをはじめて設置したときや、引っ越しなどでデジタル放送用のアンテナを移動したときは、アンテナの設定が必要となります。その場合、アンテナ設定画面を見ながら設定を行うことができます。

■地上デジタル放送・110度CSデジタル放送の信号テスト
手順7で「信号テストー地上D」または「信号テストーCS」を選び、決定ボタンを押します。あとは同じ要領で行ってください。

■周波数設定
新しい衛星が追加されたり、現在の衛星が故障したりした場合など、新しい周波数を入力することで、受信に必要な情報を取得できます。
通常は、設定する必要はありません。

- 受信強度表示はアンテナの角度の最適値を確認するためのものです。表示される数値などは、具体的な信号強度などを示すものではありません。
（表示される数値は、受信C/Nの換算値です。）

メニュー画面について
- アンテナ設定画面は1分経過しても消えません。消すときはメニューボタン、または終了ボタンを押してください。

アンテナ設定画面を表示する

[例] BSデジタル放送のアンテナ設定をする

操作開始

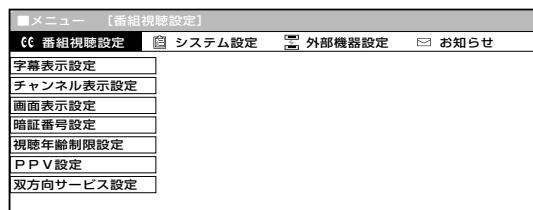
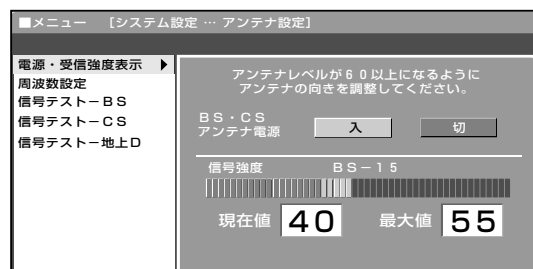
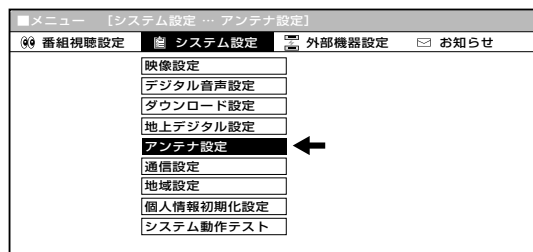
1 BS を押し、BSデジタル放送を選ぶ

- 画面に「放送が受信できません」と表示されても、設定を行うことができます。

2 メニュー を押し、メニュー画面を表示する

3 ① ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ
② ▲ ▼ で「アンテナ設定」を選び、決定 を押す

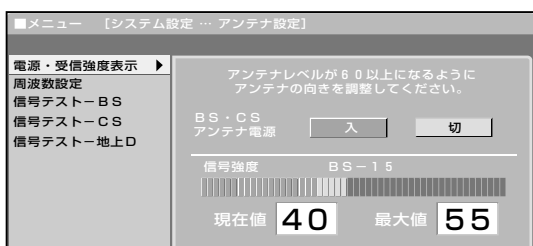
- アンテナ設定画面が表示されます。

次ページへ

デジタル放送を視聴するための設定をする(つづき)

アンテナに電源を供給する

地上デジタル放送ではアンテナ電源入／切の設定はありません。

4 ① **「電源・受信強度表示」で 決定 を押す**

② **◀ ▶ でBS・CSアンテナ電源「入」または「切」を選ぶ**

「入」........ 個人でアンテナを設置・接続している場合
「切」........ 電源を供給しないときの設定(共聴アンテナに接続している場合など)(工場出荷時の設定)

- 共聴アンテナなどに接続したときの設定を誤って「入」にして、電源/予約/待機ランプが点滅したときは、設定を「切」にしてください。

受信強度を確認・調整する

5 (アンテナの調整が済んでいる場合は、この手順は必要ありません。)

アンテナレベルが最大になるようにアンテナの向きを調整する

- アンテナレベル(信号強度)が60以上になるように、アンテナの向きを調整してください。

6 決定 **を押す**

衛星信号テスト

7 ▲ ▼ **で「信号テストーBS」を選び、** 決定 **を押す**

8 **「BS－1」～「BS－15」のうち、確認したい項目を**   **で選び、** 決定 **を押す**

- 現在、信号が送られているのは「BS-1」「BS-3」「BS-13」「BS-15」です。(2005年12月現在)

- アンテナレベル(信号強度)が60以上あることを確認してください。

9 ▲ ▼ ◀ ▶ **で「終了」を選び、** 決定 **を押す**

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶

メニュー **または** 終了 **を押し、通常画面に戻す**

はじめに

● この章では、本機を正しくお使いいただくための注意事項や、デジタル放送について、メニューの操作方法などについて説明しています。

もくじ

■ご自分で設置されるときは、**2~3**ページをご覧のうえ、手順に従って設置してください。

接続クイックガイド　2~26ページ

はじめに　27~60ページ

デジタル放送を視聴する　61~76ページ

デジタル放送を視聴する（つづき）

デジタル放送の視聴予約と録画予約 77～92ページ

いろいろな設定 93～122ページ

いろいろな設定（つづき）

その他 123～137ページ

安全にお使いいただくために

ご使用前に**「安全にお使いいただくために」**を必ず読み、正しく安全にご使用ください。

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、つぎのように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

 注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味
（図記号の一例です）

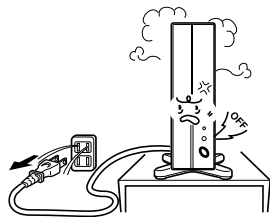
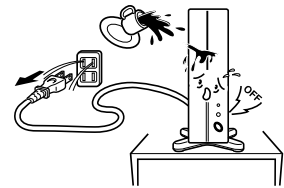
 記号は、気をつける必要があることを表しています。

 記号は、してはいけないことを表しています。

 記号は、しなければならないことを表しています。

警告

煙が出ている、変なにおいや音がする、画面が映らない、音が出ないなど異常の場合は、
すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

電源プラグを抜く

内部に水や異物が入った場合は、
まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜く

雷がなりはじめたら本機・アンテナ線・ACコードに触れない
感電の原因となります。

接触禁止

落としたり、キャビネットがこわれた場合は、
機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜く

⚠警告

キャビネットを外したり、改造しない

内部には電圧の高い部分がありますので火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

分解禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

禁止

上に物を置かない、内部に水気を入れない

花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。また雨天、降雪中、海岸、水辺では濡らしたり、水気が入らないようご注意ください。火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

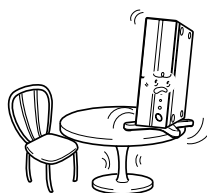
表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しない

火災・感電の原因となります。

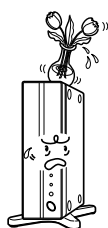
100V以上禁止

異物を入れない

開口部(通風孔など)から金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁止

風呂、シャワー室では使用しない

火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室
での使用禁止

ACコード・プラグは大切に扱う

ACコードを傷つけたり、加工したり、束ねたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ACコードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものをのせてしまうことがあります。コードに傷がつき火災・感電の原因となります。ACコードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。

禁止

プラグ刃先および、刃の付近はホコリや金属物が付着しないようにしてください。接続が不完全ですと火災・感電の原因となります。

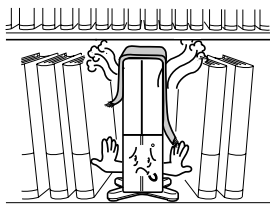
安全にお使いいただくために(つづき)

⚠注意

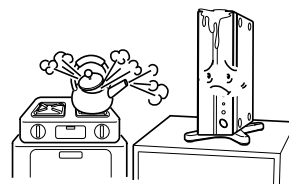
通風孔をふさがない

キャビネットの通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。設置は壁から10cm以上の間隔を置いてください。次のような使い方はしないでください。

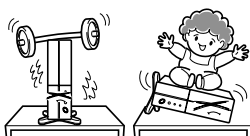
- あお向けや逆さまにする。
- 押し入れ､本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
- じゅうたんや布団の上に置く。
- テーブルクロスなどを掛ける。

禁止

湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かない

湿気やほこりの多い所、調理台や加湿器のそばなどに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

禁止

上に重いものを置かない

重いものを置くとバランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。上に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。落ちたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

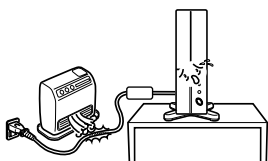
禁止

移動させるときは、接続線をはずす

機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続線、外部接続線や転倒防止具をはずしたことを確認の上、移動を行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因になることがあります。

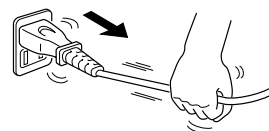
電源プラグ
を抜く

ACコードを熱器具に近づけない

コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

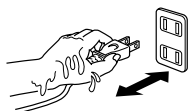
禁止

電源プラグを抜くときは、ACコードを引っ張らない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。かならず電源プラグを持って抜いてください。

禁止

⚠注意

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しない

電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。
販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

禁止

タコ足配線をしない

感電・火災の原因となることがあります。

禁止

電源プラグは確実に差し込む

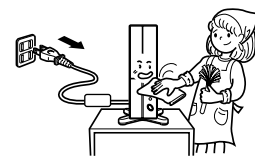
電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり埃が付着して火災の原因となることがあります。
また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください

送配電線から離れた所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。
アンテナは強風の影響を受けやすいので、堅固に取り付け設置してください。

お手入れや長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

お手入れのときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。
旅行などで長期間ご使用にならないときは、電源プラグを抜いてください。火災の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

3年に1度くらいは内部の掃除を販売店に依頼する

本機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部掃除費用については、販売店などにご相談ください。

注意

⚠注意 **お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。**

次ページへつづく

安全にお使いいただくために(つづき)

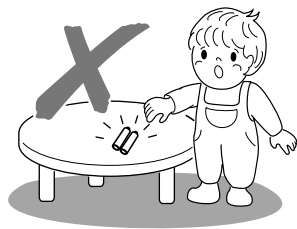
電池についての安全上のご注意

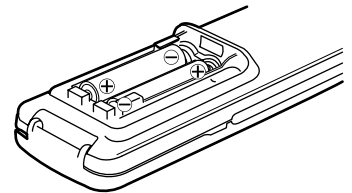
液もれ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠注意

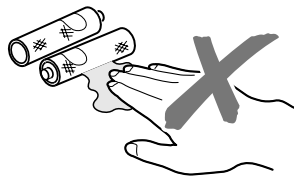
電池は幼児の手の届く所に置かない

電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだ恐れがあるときは、ただちに医師と相談してください。

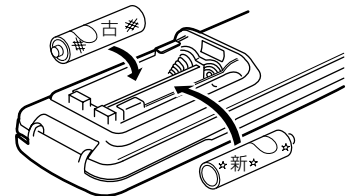
禁止

電池を入れるときは、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)の向きに注意する

電池を機器内に挿入する場合、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)に注意し、機器の表示通り正しく入れてください。
間違えますと電池の破れつ、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池の液がもれたときは素手でさわらない

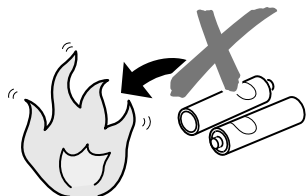
- 電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。

禁止

指定以外の電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

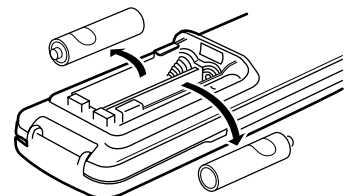
電池の破れつ、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない

電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を破損する原因となることがあります。

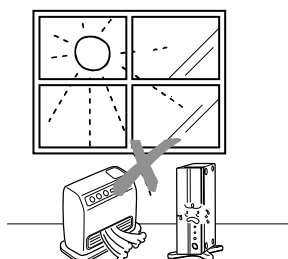
禁止

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指示

使用上のご注意

守っていただきたいこと

直射日光・熱気は避けてください

- 窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

雨天・降雪中でのご使用の場合

- 雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機をぬらさないようにご注意ください。

ステッカーやテープなどを貼らないでください

- キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないとき

- 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

国外では使用できません

- このデジタルチューナーが使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

This Digital tuner is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

ICカードは必要なときだけ抜き差しする

- 必要以外に抜き差しすると故障の原因となることがあります。
- ICカードの中にはICが内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れないようご注意ください。
- 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」とならない様方向に注意して行ってください。

キャビネットのお手入れのしかた

- キャビネットや操作パネル部分はプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックのなかに含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- 汚れはネルなど柔らかい布で軽くふきとってください。
- 汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

電磁波妨害について

- 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

アンテナについて

- 妨害電波の影響をさけるため、交通のひんぱんな自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所にたててください。万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、たばねたりしないでください。映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。アンテナ線には、必ず衛星放送用同軸ケーブルを使用してください。
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心掛けてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。

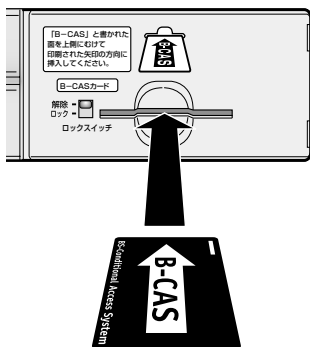
設置について

- 発熱する機器の上には本機を置かないでください。
- 本機の上には物を置かないでください。
- 本機の上のスペースが十分とれる場所に設置してください。

使用上のご注意(つづき)

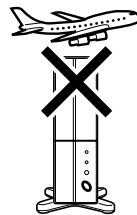
守っていただきたいこと

B-CASカードは必要なときだけ抜き差しする

- 必要以外に抜き差しすると故障の原因となることがあります。
- B-CASカードの中にはICが内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れたりしないようご注意ください。
- 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」にならないよう、方向に注意して行ってください。

結露(つゆつき)について

- 本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずにお待ちください。そのままご使用になると故障の原因となります。

使用が制限されている場所

- 航空機の中など使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となる恐れがあります。

使用環境について

- 本機を冷え切った状態のまま室内に持ち運んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ(結露)、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。

注意

- 周囲温度は0～40℃の範囲内でご使用ください。正しい使用温度を守らないと、故障の原因となります。

注意

- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜く

この取扱説明書の見かた

接続クイックガイドの手順⑪

デジタル放送を視聴するための設定をする

BS・110度CS共用アンテナの設定

■BS・110度CS共用アンテナをはじめて設置したときや、引っ越しなどでデジタル放送用のアンテナを移動したときは、アンテナの設定が必要となります。その場合、アンテナ設定画面を見ながら設定を行うことができます。

アンテナ設定画面を表示する

[例] BSデジタル放送のアンテナ設定をする

操作開始

1 を押し、BSデジタル放送を選ぶ

●画面に「放送が受信できません」と表示されても、設定を行うことができます。

2 を押し、メニュー画面を表示する

3 ① で「システム設定」を選ぶ
② で「アンテナ設定」を選び、決定 を押す

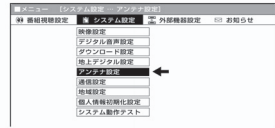
●アンテナ設定画面が表示されます。

■地上デジタル放送・110度CSデジタル放送の信号テスト
手順7で「信号テスト－地上D」または「信号テスト－CS」を選び、決定ボタンを押します。あとは同じ要領で行ってください。

■周波数設定
新しい衛星が追加されたり、現在の衛星が故障したりした場合など、新しい周波数を入力することで、受信に必要な情報を取得できます。
通常は、設定する必要はありません。

おしらせ
●受信強度表示はアンテナの角度の最適値を確認するためのものです。表示される数値などは、具体的な信号強度などを示すものではありません。
（表示される数値は、受信C/Nの換算値です。）
メニュー画面について
●アンテナ設定画面は1分経過しても消えません。消すときはメニューボタン、または終了ボタンを押してください。

次ページへ

25

- 機能の概要説明などです。
- 番号順に操作してください。
- 操作の結果や補足的な説明です。
- テレビ画面に現われる表示です。※
- 操作するボタンです。左のイラストのボタンに対応しています。
- 操作するときに使うリモコンのボタンです。※
- 選択･入力する項目や欄です。
- 下の「本書で使われているマークについて」をご覧ください。

※本書に掲載している画面表示やイラストは、説明のためのものであり、実際とは多少異なります。

本書で使われているマークについて

正しくお使いいただくためのご注意です。

もう少し詳しい説明や、機能の制限事項です。

知っていると便利な情報です。

こんなときは ▶▶▶

お手入れをするときは

故障かな？と思ったら

124ページ

分からない用語があるときは

…用語解説

…用語索引

■本書では、デジタルチューナーを本機と表現しています。

地上デジタル放送について

■地上デジタル放送は、従来の地上アナログ放送に代わる、デジタル方式の新しい放送です。
■高品質な映像と音声、テレビ番組に連動したデータ放送など、いままでの地上アナログ放送にはなかった新しい放送サービスです。

地上デジタル放送の特長

高品質映像……… 画像の劣化が少なく、ゴーストなどの影響を受けにくいため、高品質な映像が見られます。また、デジタルハイビジョン放送の高精細な映像も視聴できるようになります。
画面サイズは、従来の4：3から16：9が標準となり、これは画面を見る視界の最適な比率といわれています。大画面で高品質な映像をお楽しみいただけます。

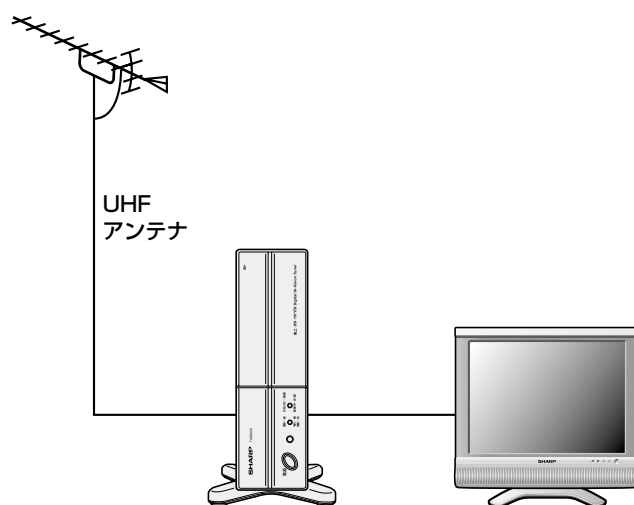
ハイビジョン放送……… HDTV（High-Definition Television）とも呼ばれる、高品位テレビのことです。走査線は現行の放送（通常のテレビ放送）の525本に対し、2倍以上の1125本になっています。これにより、大画面で臨場感あふれる、鮮明な映像をお楽しみいただけます。

データ放送……… 通常のテレビ番組に加えて、地上デジタル放送では連動データ放送が行われています。
画面上でお住まいの地域の天気予報やニュース、生活情報などをいつでもアクセスして見ることができたり、視聴中の番組に関連した情報を同時に表示したりすることができ、スポーツ中継などで応用されています。

双方向サービス……… 双方向通信を利用したテレビ上でのショッピング、視聴者が参加できるクイズ番組なども放送されています。
- 双方向通信を利用するためには、本機に電話回線を接続して（**51**ページ参照）、電話回線の設定をしてください（**53**ページ参照）。また、インターネットサービスプロバイダ（ISP）との契約および設定が必要な場合もあります。（**112**ページ参照）（※双方向通信には電話料金がかかります。［例］クイズ番組に参加して、答えを送信するときなど。）

多様な放送……… 地上デジタル放送では、ハイビジョン映像の代わりに標準画質の映像を複数送ることができ、同時に複数の番組を放送する放送局もあります。
これまでの地上放送にはなかったアイデア豊かな、多様な放送が予定されています。1チャンネルの放送帯域でさまざまな放送の組み合わせが可能となります。（ただし同時に視聴することはできません。）

アンテナについて

地上デジタル放送の受信には、UHF対応のアンテナを使用します。
現在お使いのアンテナがUHF対応であれば、そのままご使用になれます。（※一部取り換えや調整が必要な場合もあります。）
VHFアンテナでは受信できません。ご使用のアンテナがVHFアンテナのみの場合は、UHFアンテナの追加が必要になります。
（**ご注意**：アンテナ工事は、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。）

アナログ放送からデジタル放送への移行について

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は、2006年末までに放送が開始されます。該当地域における受信可能エリアは、当初、限定されていますが、順次拡大される予定です。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は2011年7月までに、BSアナログテレビ放送は2011年までに終了することが、国の法令によって定められています。

地上デジタル放送のCATV放送対応について

本機で受信できるケーブルテレビ（CATV）の方式は「パススルー方式」（UHF帯、ミッドバンド[MID]帯、スーパーハイバンド[SHB]帯、VHF帯）です。
※トランスモジュレーション方式には対応していません。

● ARIB放送規格の変更により、メニュー等の仕様が変わる場合があります。

● データ放送（BSデジタル／110度CSデジタル／地上デジタル）の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

BS・110度CSデジタル放送について

BS・110度CSデジタル放送の特長

■情報を圧縮して多くのデータを送ることができるため、限られた電波の範囲でつぎのようなたくさんの放送やサービスが提供されます。

テレビ放送 ………… 従来のアナログBS･CS放送に比べ、より高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。BSデジタル放送ではデジタルハイビジョン放送が7チャンネルあります。（2005年12月現在）

データ放送 ………… 静止画像や文字によって必要な情報をいつでも取り出せる新しい放送です。テレビ放送等と連動したデータ放送と、独立したデータ放送の2種類のデータ放送があります。

ラジオ放送 ………… CD並みの高音質の音楽を含むラジオ放送です。

電子番組表(EPG) ………… デジタル放送では、送られてくるデータの中に番組の情報が含まれています。その番組情報をもとにテレビ画面に番組表を表示したものが電子番組表(EPG)です。
この電子番組表を使って、番組を探したり、番組の内容を確認したり、番組を予約したりすることができます。

（表示例）

臨時編成サービス ………… 野球中継などが延長になった場合、野球中継は継続しながら、別のチャンネルで予定の番組を放送する場合があります。このようなサービスを「臨時編成サービス」といいます。

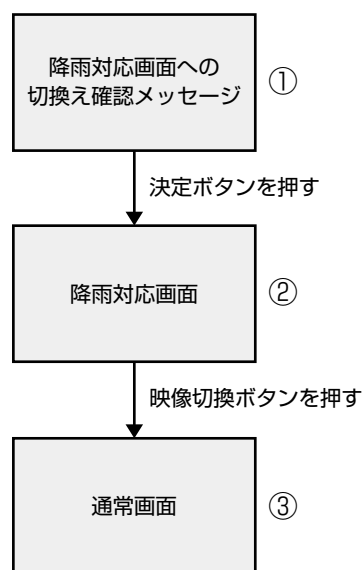
マルチビューサービス ………… 1つの番組の中で、カメラアングルを変えて3つの場面に分けて放送されるサービスなどを「マルチビューサービス」といいます。
例えば、野球中継で、レフト側観客席から見た映像、ライト側観客席から見た映像、バックネット裏から見た映像の3つの映像が1つのチャンネルで放送されるといった場合です。

● 臨時編成サービス、マルチビューサービスは、放送局側でサービスを行っているときのみ視聴可能です。

BS デジタル放送の降雨対応放送について

BSデジタル放送衛星から送られてくる電波が、激しい降雨によって弱められ、放送を受信できなくなることがあります。これに対応するため、送るデータを少なくすることで映像・音声の内容を途切れなく提供するサービスが「降雨対応放送」です。

- 受信状態が悪くなったときに、降雨対応の番組が放送されている場合、その旨を画面に表示してお知らせします。（右図①）
- リモコンの決定ボタンを押すと、降雨対応の画面に切り換わりますので、途切れることなく番組を視聴できます。（右図②）
- 通常画面に戻すには、リモコンの映像切換ボタンを押してください。（右図③）

- 降雨対応放送は、放送局側でサービスを行っているときのみ視聴可能です。

BS・110度CSデジタル放送について（つづき）

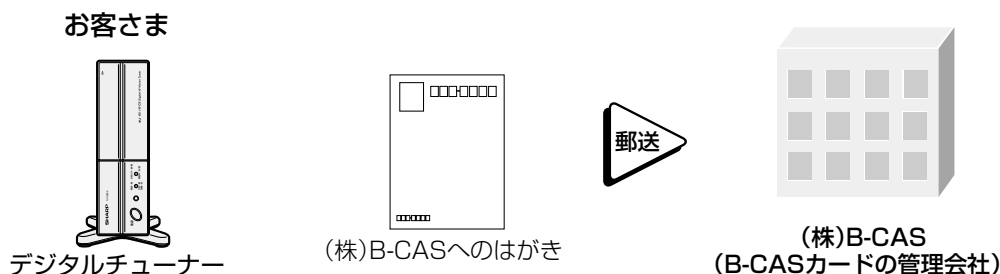
BSデジタル放送の有料放送を視聴するための手続き

■BSデジタル放送の有料放送（WOWOW、スターチャンネル）を視聴するには、つぎの2つの手続きが必要です。

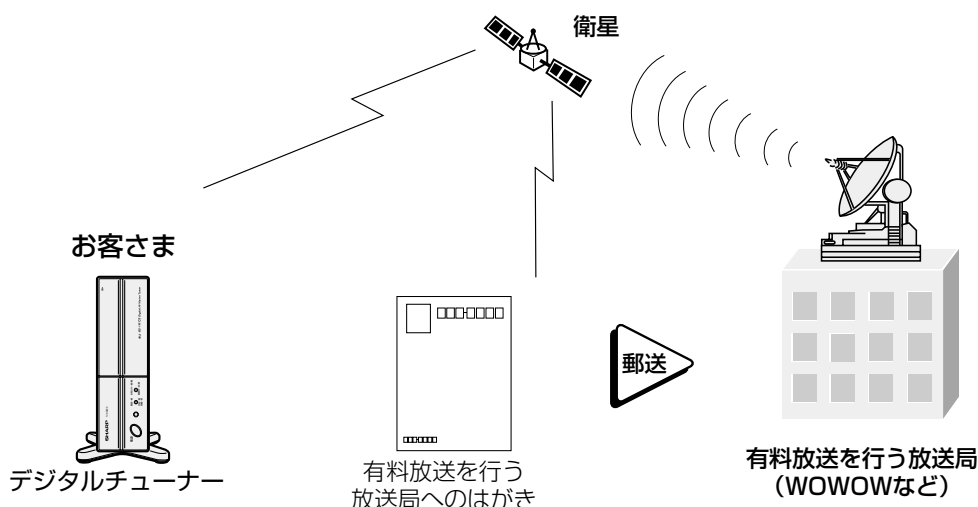
①（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにB-CASカードの登録をする

（（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズを略して（株）B-CASと呼びます。）

B-CASカードの台紙の一部が登録用はがきになっています。必要事項をご記入のうえ、投函してください。

詳しくは、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターにお問い合わせください。

②視聴したい放送局に申し込む

お客さまが視聴したい番組を放送している放送局の契約申込書に必要事項をご記入のうえ、投函してください。

詳しくは、それぞれの有料放送を行う放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。

● 本機は、契約データの受信のために、電源「入」以外のときでも一時的に動作することがあります。（この場合、画像が表示されたり音声が出たりはしません。）

BSデジタル放送には無料放送と有料放送（WOWOW、スターチャンネル）があります。有料放送を視聴したいときは、必ず視聴手続きをしてください。未契約で視聴予約、録画予約しても視聴できません。

110度CSデジタル放送について

■従来のCS放送とは別の、BSデジタル放送と同じ東経110度の軌道上にある通信衛星(CS)を利用した新しいデジタル放送です。

■110度CSデジタル放送を受信するには、BS・110度CSデジタル放送共用のアンテナ(市販品)が必要です。**従来のCSアンテナやBSアナログ用アンテナでは受信できません。また、ブースターや分配器等をご使用になっている場合は、110度CS帯域(2150MHz)まで対応した機器に交換する必要があります。**

■110度CSデジタル放送は有料です。視聴するためには、各プラットフォーム(スカパー！110、WOWOWデジタルプラス)※との個別受信契約が必要となります。(一部、無料の放送もあります。)

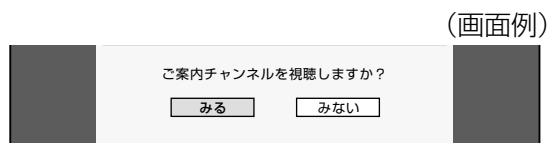
※ 各プラットフォームの社名は、変更される場合があります。

110度CSデジタル放送の専用サービス

110度CSデジタル放送では、つぎのような専用サービスがあります。

■ ご案内チャンネルの表示

お客さまが、未契約の有料放送事業者の放送番組を選局したとき、「視聴するには契約登録が必要」である旨の案内表示に加え、代替番組の視聴案内が表示されます。

(画面例)

■ ブックマーク

コンテンツ画面にブックマークアイコン※が表示されているときは、その情報(ブックマーク記録コンテンツ)を登録しておき、後でブックマークを一覧表示・選択して、関連チャンネルを呼び出したりすることができます。

※「ブックマーク」とは、しおりのことです。画面によっては、特定のページを表示するためのシンボルイラストが表示されます。それが「ブックマークアイコン」です。

■ ボード(掲示板)

いろいろなサービス情報の案内がボード(掲示板)に表示されます。メニューの「お知らせ」からボード画面を呼び出し、サービス情報を見ることができます。

詳しくは**117**ページをご覧ください。

(画面例)

BS・110度CSデジタル放送について（つづき）

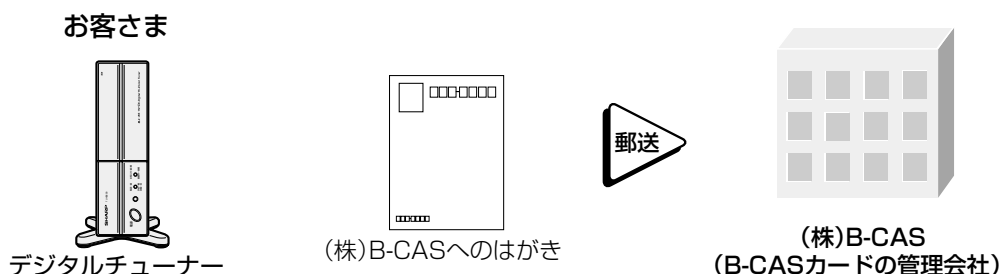
110度CSデジタル放送の有料放送を視聴するための手続き

■110度CSデジタル放送を視聴するには、つぎの2つの手続きが必要です。

①（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにB-CASカードの登録をする

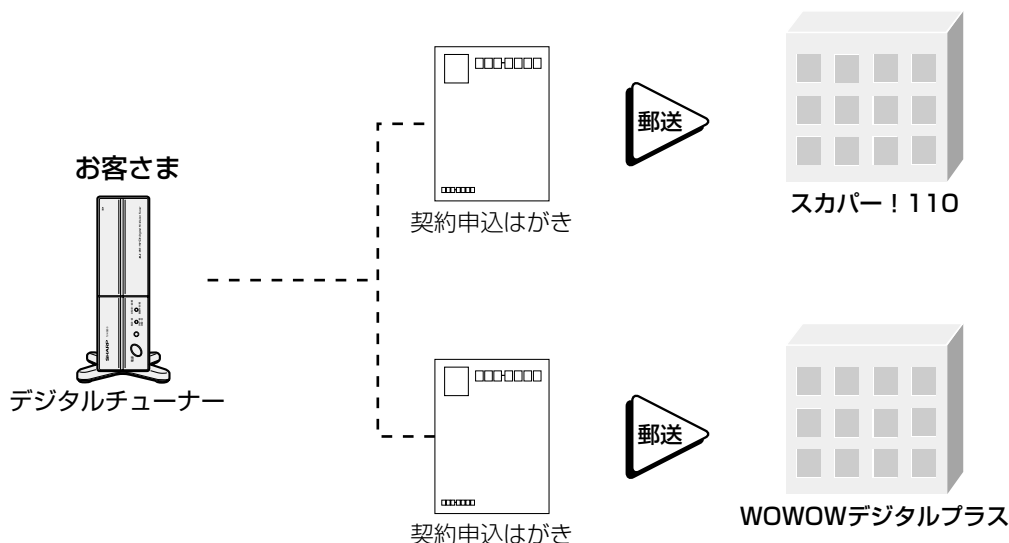
（（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズを略して（株）B-CASと呼びます。）

B-CASカードの台紙の一部が登録用はがきになっています。必要事項をご記入のうえ、投函してください。

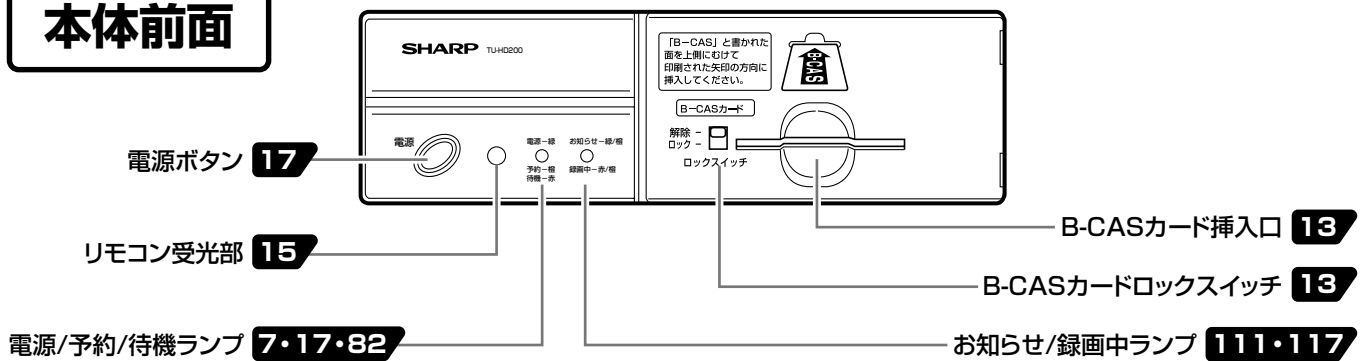
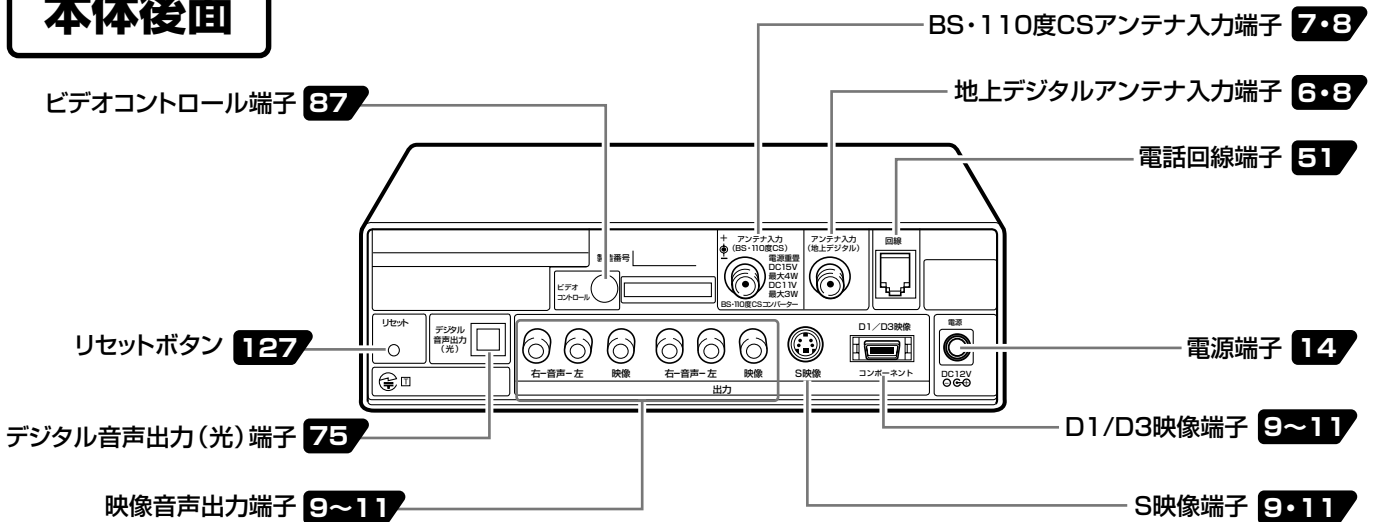
詳しくは、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターにお問い合わせください。

②視聴したいプラットフォーム（運営会社）に申し込む

110度CSデジタル放送は有料放送です（一部、無料放送もあります）。視聴するためには、各プラットフォーム（スカパー！110、WOWOWデジタルプラス）※と個別に契約することが必要です。

契約したいプラットフォームの契約申込書に必要事項をご記入のうえ、投函してください。

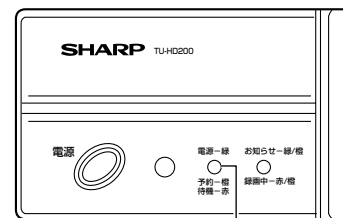
詳しくは、スカパー！110、WOWOWデジタルプラスのカスタマーセンターにお問い合わせください。

※ 各プラットフォームの社名は
変更される場合があります。

各部のなまえ〈チューナー〉

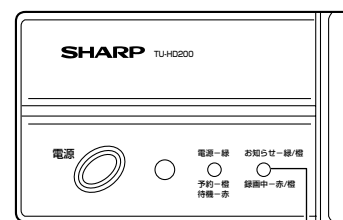
本体前面

本体後面

ランプと本機の状態について

電源/予約/待機ランプ

本機の電源の状態と予約の状態を表示します。

	電源	視聴/録画予約
緑	入	ありまたはなし
赤	切	なし
橙	切	あり
消灯	本体の電源が切れているか、コンセントにつながっていません。	
点滅	BS・110度CS共用アンテナがショートしています。「電源/予約/待機ランプが点滅中のとき」(**7**ページ)をご覧ください。	

電源/予約/待機ランプ

お知らせ/録画中ランプ

	お知らせ	予約録画実行
緑	あり	していません
赤	なし	実行中
橙	あり	実行中
消灯	なし	していません
点滅	電話回線を使って通信しています。	

お知らせ/録画中ランプが赤または橙色で点灯しているときは、録画予約を実行しているため、本機を操作できません。実行中の予約録画を解除するには、**85**ページをご覧ください。

お知らせ/録画中ランプ

各部のなまえ〈リモコン〉

本機を操作するときのボタン

電源…… 17
電源を入／切（電源待機）します。

地上D 放送切換…… 62・63
地上デジタル放送の画面に切り換えます。
※お使いの地域で「地上デジタル放送」が受信可能になってから使用するボタンです。

3桁入力…… 63
3桁チャンネル番号を入力してデジタル放送を選局するときに使います。

データ連動（d）…… 64
デジタル放送のテレビ番組に連動したデータ放送を呼び出します。

番組表…… 62・69〜73
デジタル放送の電子番組表（EPG）の表示を入／切します。

番組情報…… 65・74
視聴中のデジタル番組の詳細な情報を表示します。

カーソル（上・下・左・右）…… 48
メニューや項目を選びます。

決定…… 48
カーソルで選んだメニュー項目や設定内容を決定します。

終了…… 48
静止画面、電子番組表やメニュー操作などを終了します。

おしらせ　メニューや電子番組表の操作が途中で分からなくなったときなどに使うと便利です。

カラーボタン（青・赤・緑・黄）…… 64・69
デジタル放送の電子番組表（EPG）やデータ番組の操作に使います。

映像切換…… 65
デジタル放送の主・副映像を選びます。

チャンネル…… 62・63
- 各ネットワーク（地上A・地上D・BS・CS）のメディア（テレビ／ラジオ／データ）ごとのチャンネル選局をします。
- 各種設定の数字入力にも使用します。

CS 放送切換…… 62・63
110度CSデジタル放送の画面に切り換えます。

BS 放送切換…… 62・63
BSデジタル放送の画面に切り換えます。

テレビ／ラジオ／データ…… 62
メディア（放送の種類）の切換えをします。

選局（∧順／∨逆）…… 62
チャンネルボタンで視聴選択されている放送チャンネルを順／逆で選局します。
※工場出荷時の状態では、CATVチャンネルはスキップ設定されています。

裏番組…… 74
デジタル放送の裏番組表の表示を入／切します。

メニュー…… 48
メニュー画面の表示を入／切します。

戻る…… 48
1つ前の画面に戻ります。
操作を誤ったときや、やりなおしたいときは、決定ボタンを押さず、戻るボタンを押します。

デジタル登録…… 62・66
チャンネルボタンに登録されているデジタルチャンネルの確認／登録画面を表示します。

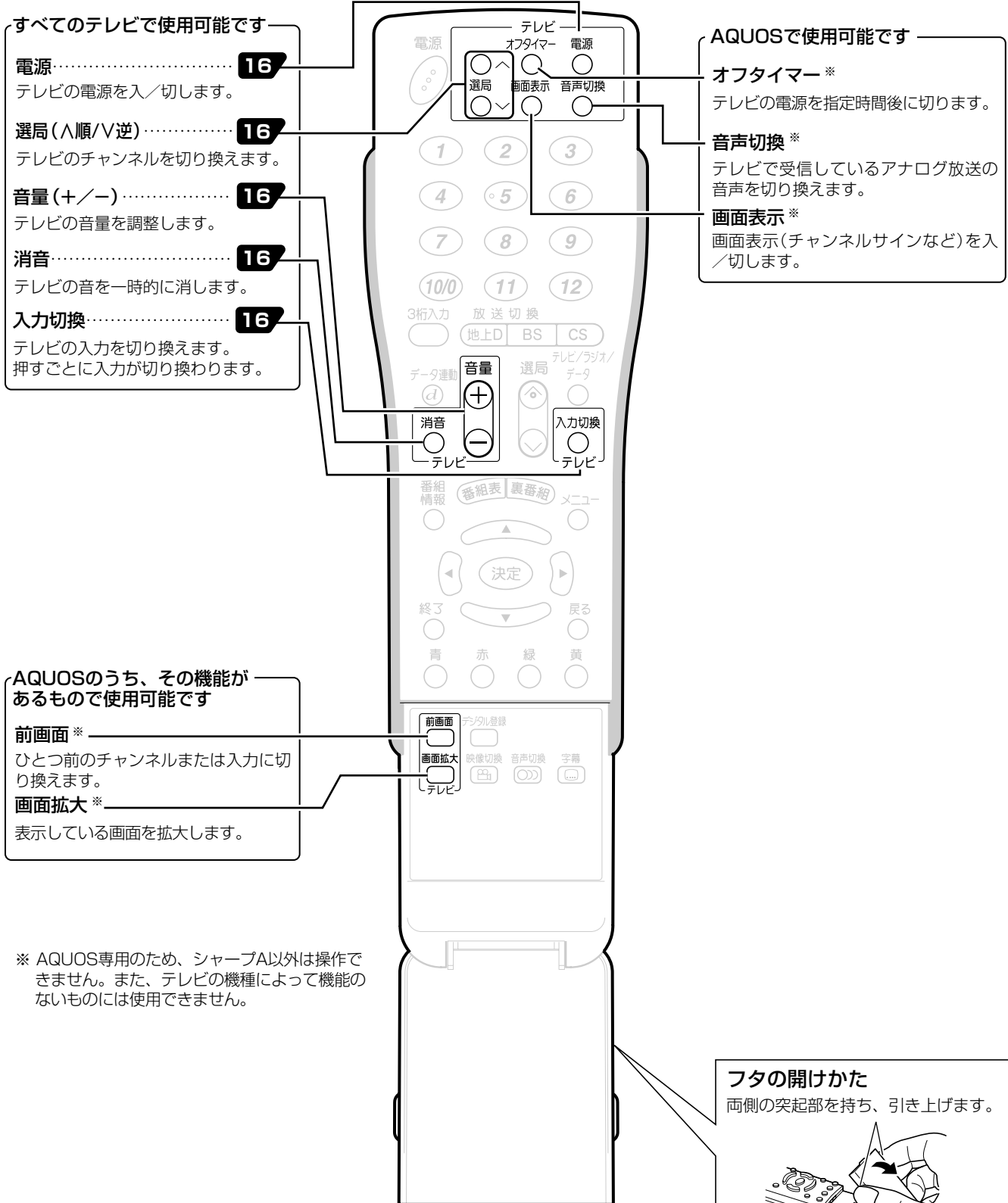
字幕…… 103
デジタル放送の字幕表示を入／切します。

音声切換…… 65
音声モードを切り換えます。

フタの開けかた
両側の突起部を持ち、引き上げます。

テレビを操作するときのボタン

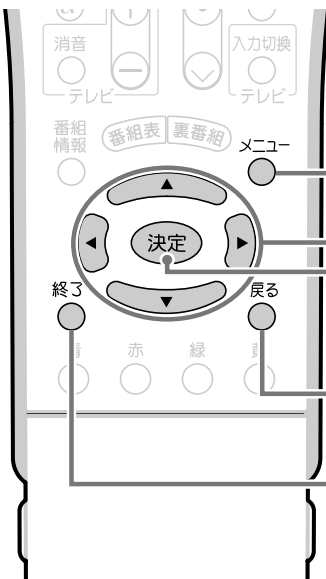
■テレビを操作するときは、テレビに向かってリモコンを操作してください。
■本機のリモコンでテレビを操作するためには、ご使用のテレビのメーカーを指定する必要があります。**16**ページをご覧ください。

※ AQUOS専用のため、シャープ以外は操作できません。また、テレビの機種によって機能のないものには使用できません。

メニューについて

■アンテナ設定や暗証番号の設定など、デジタル放送などの視聴に関連した各種設定および設定内容の変更・確認、また受信した各種データの表示などをデジタルメニューを使って行います。操作手順の詳細については、それぞれのページをご覧ください。

メニューの基本操作

■メニューは、メニューボタンを押すと表示されます。

▼リモコン

メニュー操作に使うリモコンボタン

メニューボタン
- メニュー画面の表示を入／切します。

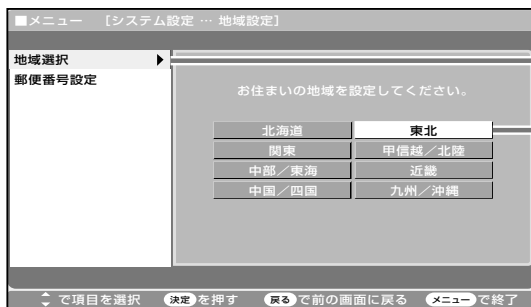
カーソルボタン（上・下・左・右）
- 上下左右方向にカーソルを移動し、項目を選択します。

決定ボタン
- 先に進みます。
- 選んでいる項目を確定します。

戻るボタン
- 1つ前の画面に戻ります。

終了ボタン
- メニューの操作が分からなくなったときなどに使うと便利です。
- メニュー表示を終了するとき、メニューボタンと同じように使えます。

メニュー画面の見かた

▼メニュー画面表示例

黄色で表示されているところ
- いまカーソルのある項目です。
- 決定ボタンを押すと、選ばれている項目を確定したり、設定画面を表示したりできます。

白で表示されている項目
- 現在の設定です。

メニュー画面の表示時間について

- メニュー画面を表示、設定中に約1分間何も操作をしないと、メニュー画面が解除され通常画面に戻ります。
  ただし「アンテナ設定」画面は1分間経過してもメニュー画面が解除されません。

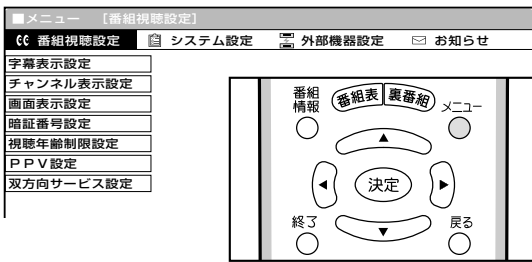
- 本書に掲載している画面表示のイラストは説明用のものであり、一部拡大や省略をしていますので、実際の画面表示とは多少異なります。

メニュー画面と設定画面の基本操作

[例]「ダウンロード設定」

操作開始

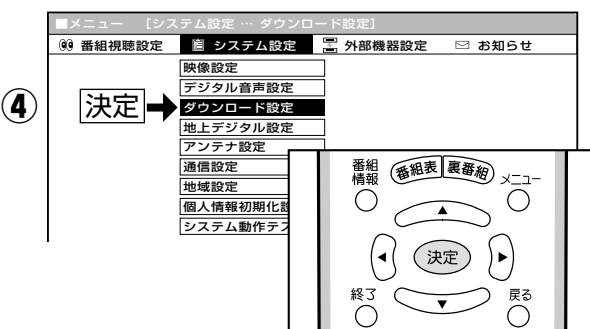
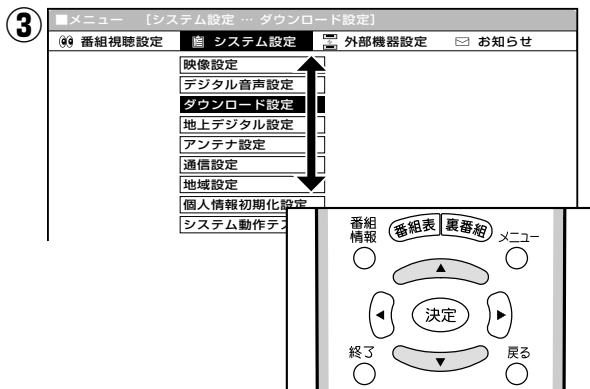
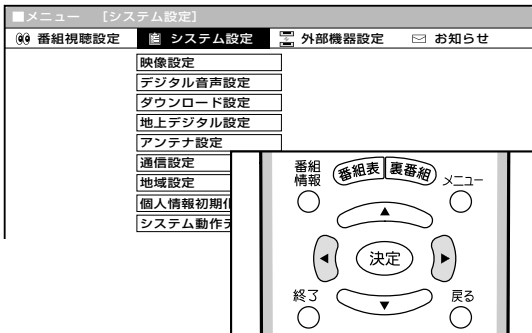
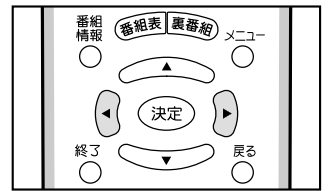
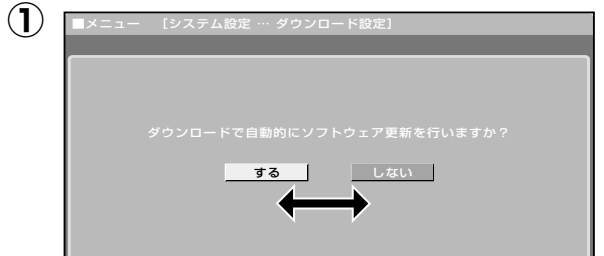
1

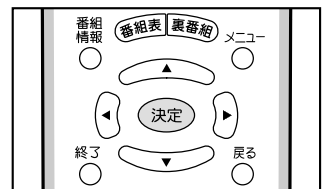
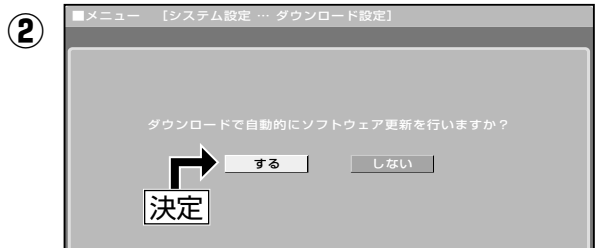
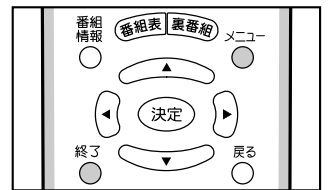
① メニュー を押し、メニュー画面を表示する

② メニュー画面からメニュー項目を選ぶ

③

④

2 設定画面で設定する

①

メニューによっては、カーソルボタンの上下で選ぶ場合もあります。

②

3 メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

メニューについて(つづき)

メニュー項目の一覧

■メニュー

番組視聴設定　システム設定　外部機器設定　お知らせ

番組視聴設定	システム設定	外部機器設定	お知らせ
字幕表示設定	映像設定	ビデオ連動録画設定	受信メッセージ一覧
チャンネル表示設定	デジタル音声設定		ボード
画面表示設定	ダウンロード設定		受信機レポート
暗証番号設定	地上デジタル設定		ＩＣカード番号表示
視聴年齢制限設定	アンテナ設定		ＰＰＶ購入履歴
ＰＰＶ設定	通信設定		
双方向サービス設定	地域設定		
	個人情報初期化設定		
	システム動作テスト		

番組視聴設定

外部機器設定

システム設定

お知らせ

● 本書に掲載している画面表示のイラストは説明用のものであり、一部拡大や省略をしていますので、実際の画面表示とは多少異なります。
● メニュー画面の表示内容は変更される場合があります。

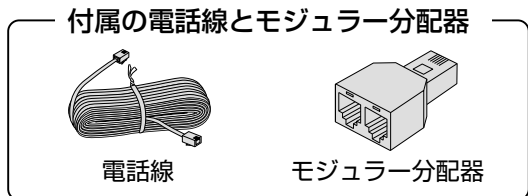
電話線をつなぐ

電話回線に接続する

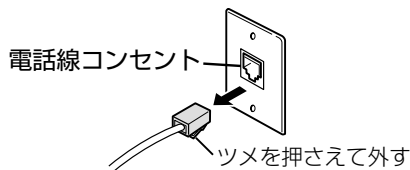
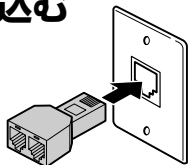
■本機は、デジタル放送の双方向番組への参加や有料放送の受信情報の管理のために、放送局との通信を、電話回線を使って行います。

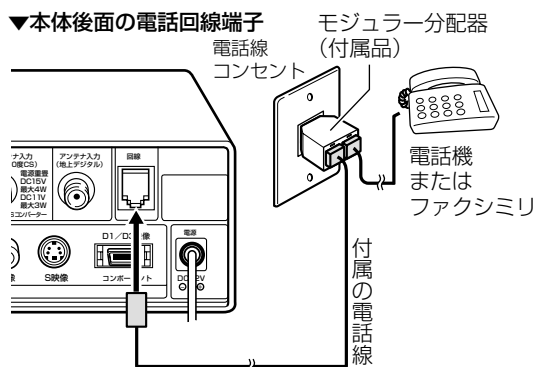
双方向番組に参加する場合や有料放送を受信する場合は電話回線に接続してください。

付属の電話線とモジュラー分配器

電話線

モジュラー分配器

1 本機と電話機の電源を切る

2 電話機の接続線(モジュラー線)を電話線コンセントから外す

3 付属のモジュラー分配器を電話線コンセントに差し込む

4 電話機の接続線(モジュラー線)をモジュラー分配器の一方に差し込む

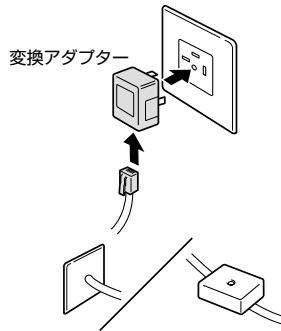
5 付属の電話線でモジュラー分配器のもう一方と本機後面の電話回線端子を接続する

接続上のご注意

- 電話線のプラグは奥まで完全に差し込んでください。
- 接続をするときは、本機や接続する機器の保護のため、電源を切ってください。
- 電話線のプラグを抜くときは、コードを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。

つぎの電話回線では注意が必要です。

■電話回線がモジュラージャックでない場合の接続

- **3ピンプラグの場合**
  市販の3ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプターをお求めください。

- **直結配線方式の場合**
  簡単な工事が必要です。詳細はお近くのNTT営業窓口、もしくは116(局番なし)にお問い合わせください。

■構内電話(ビジネスホン／ホームテレホン)では
そのままでご利用になれないこともあります。その場合は単独の回線でのご利用をおすすめします。
詳細は電話設置会社にご相談ください。

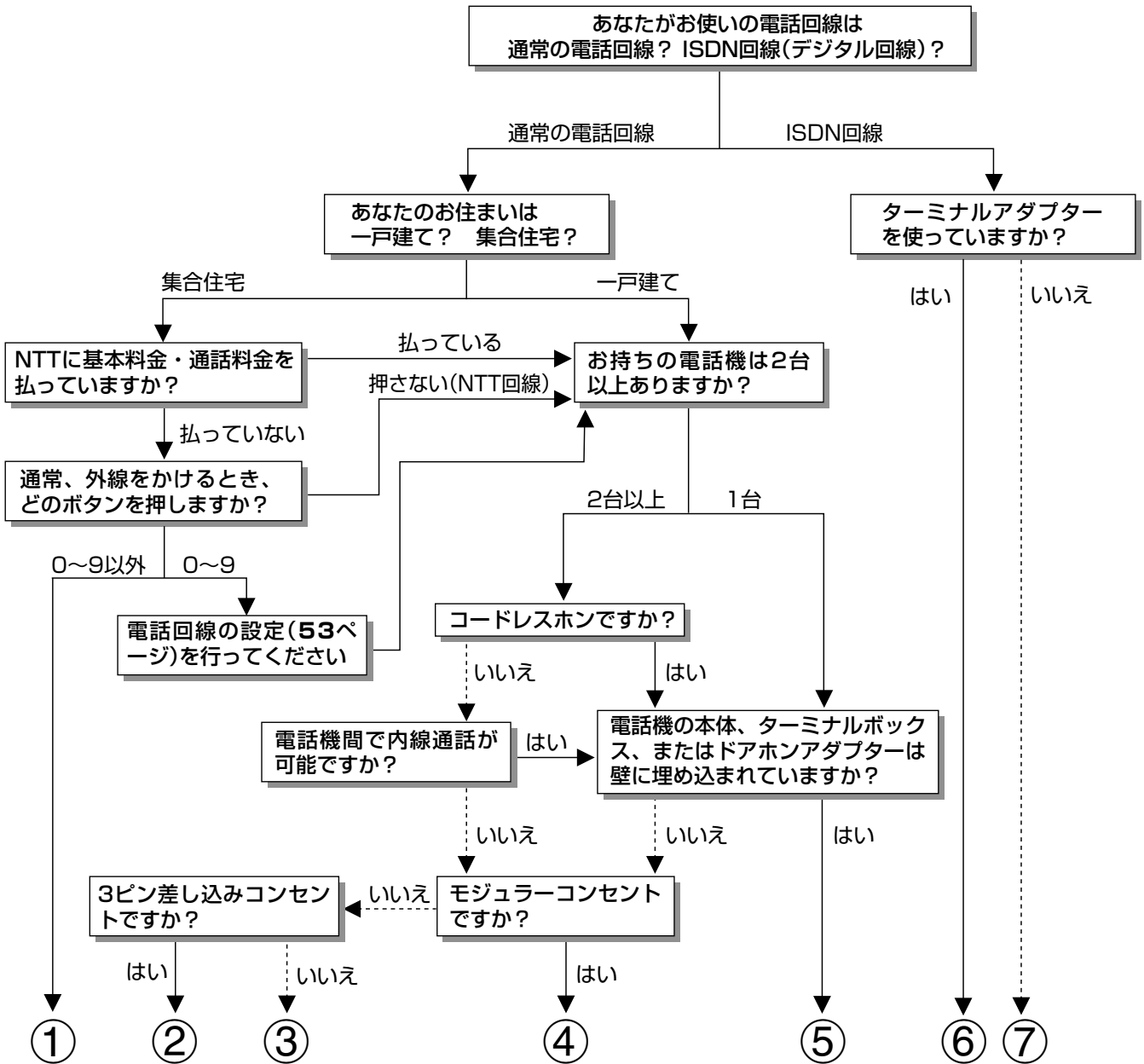
■キャッチホンでは
通信の途中でキャッチホンが入ると通信が切断されます。これを防ぐため、キャッチホンⅡへのご加入をおすすめします。
詳細はお近くのNTT営業窓口、もしくは116(局番なし)にお問い合わせください。

■本機が電話回線を使って通信している間は、電話機を使用しないでください。
通信中に電話をかけると、通信が切断されることがあります。通信中はデータ通信音(ピーヒョロヒョロ....)が聞こえます。その間は電話をしないでください。

■直接デジタル回線に接続することはできません。
会社やホテルなどでご使用になる場合は、電話回線が一般回線(アナログ)であることをご確認のうえご利用ください。ISDNなどのデジタル回線に接続する場合は、ターミナルアダプター(TA)等の端末器を介して接続してください。

- **本機が放送局と通信しているとき、接続している電話機やファクシミリが鳴る場合がありますが異常ではありません。**
- **IP電話などNTT以外の電話回線では、ご加入の通信会社によっては、デジタル放送の双方向サービスが受けられない場合があります。詳しくは、ご加入の通信会社へご確認ください。**

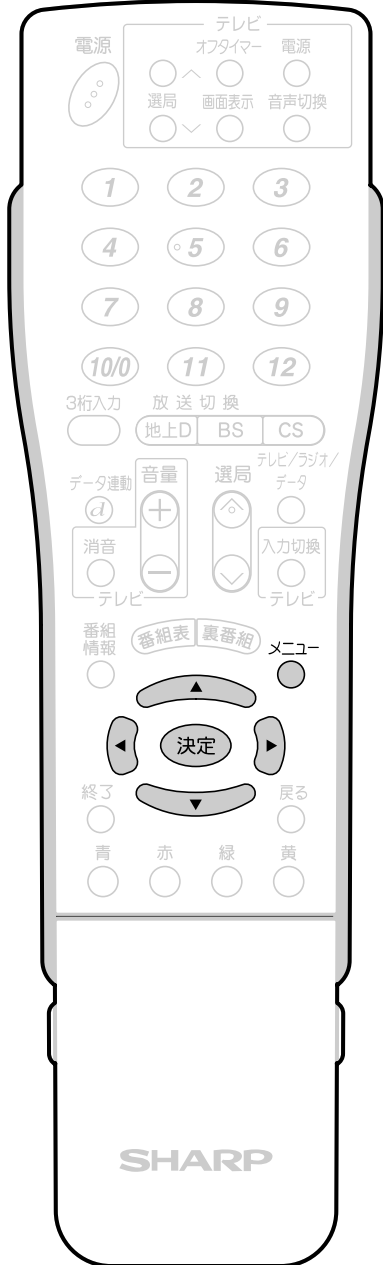
電話線をつなぐ(つづき)

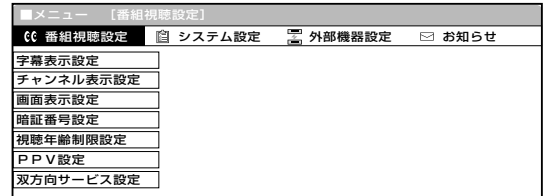
■下のチャートで電話回線の状態を確認した後、接続してください。
　また、詳細はNTTへお問い合わせください。

① マンション交換機(PBX)を使用している可能性が大きいので、交換機を通さない電話回線につないでください。
② 市販の3ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプターをお求めください。
③ 専門業者によるモジュラーコンセントへの変換工事が必要です。
④ 付属の電話線とモジュラー分配器のみで接続可能です。(**51**ページ参照)
⑤ 専門業者による分岐工事が必要です。
⑥ 本機をターミナルアダプターに直接つないでください。
⑦ ターミナルアダプター(市販品)を使用し、本機をターミナルアダプターに直接つないでください。
　詳しくは、ターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。

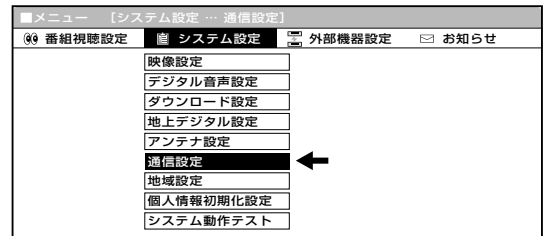
※ ③、⑤についての詳細は、お近くのNTT営業窓口、もしくは116(局番なし)でご相談ください。

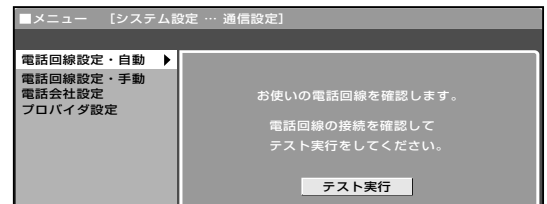
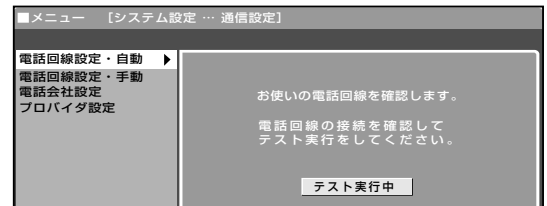
電話回線を設定する

電話回線の設定

■お使いになっている電話回線の設定をします。
電話回線が接続されていることを確認してください。(**51**ページ参照)

操作開始

1 メニュー を押し、メニュー画面を表示する

2 ① ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

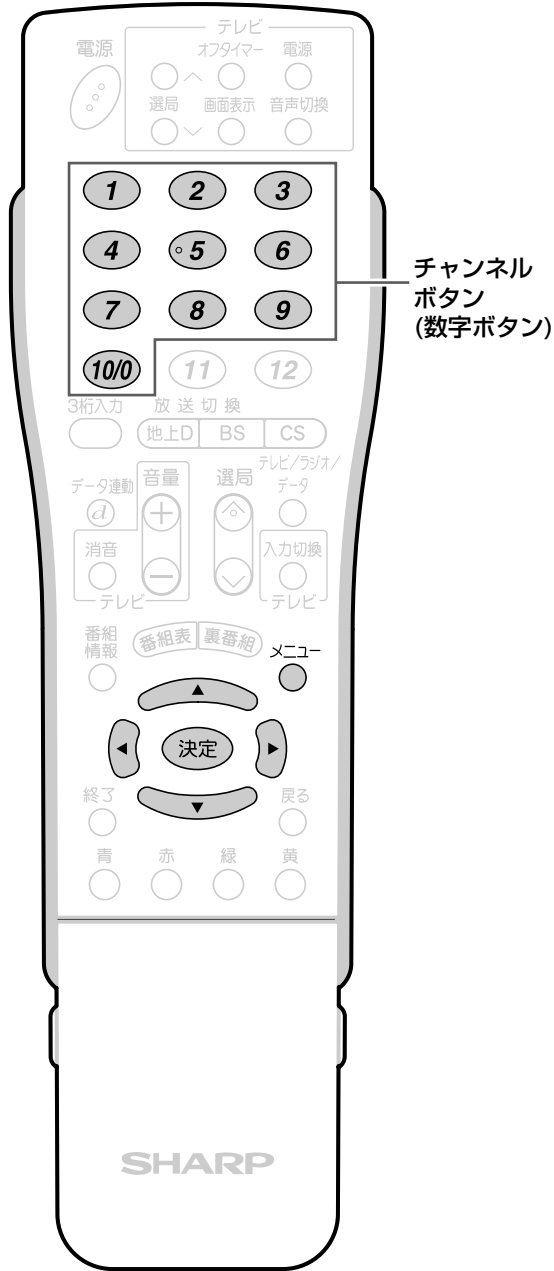
② ▲ ▼ で「通信設定」を選び、決定 を押す

3 ① ▲ ▼ で「電話回線設定・自動」を選び、決定 を押す

② 「テスト実行」で 決定 を押す

●「テスト実行中」が表示されます。

●「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。
●2回以上連続して電話回線の設定確認ができなかった場合は、自動的に外線発信番号の設定画面に切り換わります。(**54**ページ「外線発信番号の設定」をしてください。)

● 電話回線のテスト実行には、回線接続料がかかります。

メニュー画面について

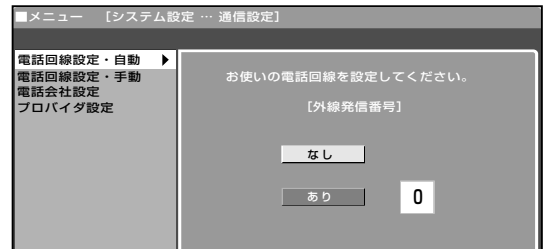
● メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

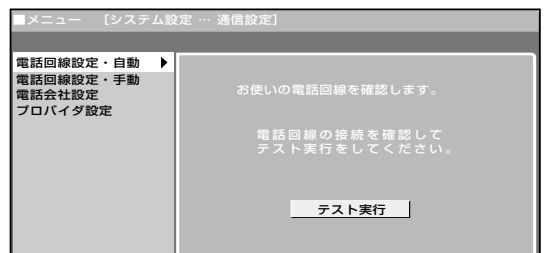
電話回線を設定する(つづき)

■電話回線の自動判定が2回以上連続してできなかった場合は、つぎの設定を行ってください。

外線発信番号の設定

操作開始

1 **で外線発信番号「なし」または「あり」を選び、決定 を押す**

「なし」…… 外線交換機を使用しない場合（通常の一般家庭）
「あり」…… 電話交換機などをご使用の場合

- 「あり」を選んだ場合は、数字ボタン(1～10/0)で、外線発信番号(0～9)を右のボックスに入力してから、決定ボタンを押します。

2 「テスト実行」で 決定 を押す

- 「テスト実行」→「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。
- 電話回線の設定確認ができなかった場合は、手順1に戻ります。

ご注意
- 外線発信番号はお間違いのないように設定してください。

- 電話回線のテスト実行には、回線接続料がかかります。

メニュー画面について
- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

どうしても自動で電話回線の設定ができない場合は、55ページ「手動による電話回線設定」の手順に従ってください。

■ どうしても自動で電話回線設定ができない場合は、つぎの手順により、手動で設定してください。

手動による電話回線設定

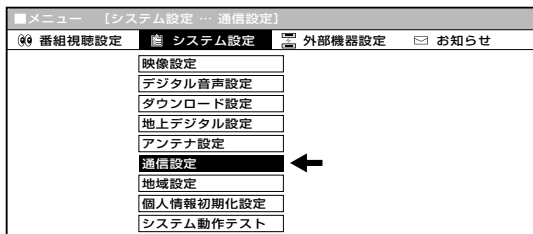
操作開始

1

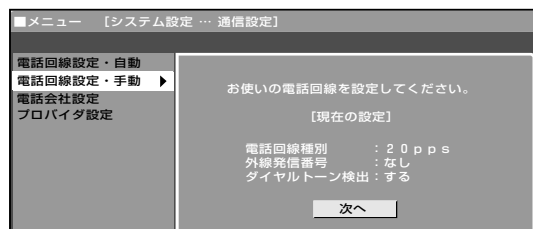
① メニュー を押し、メニュー画面を表示する

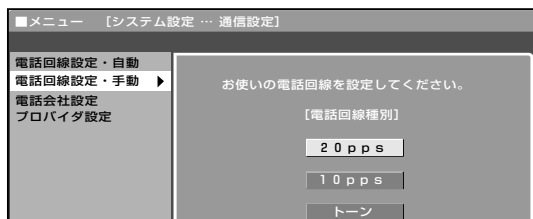
② ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

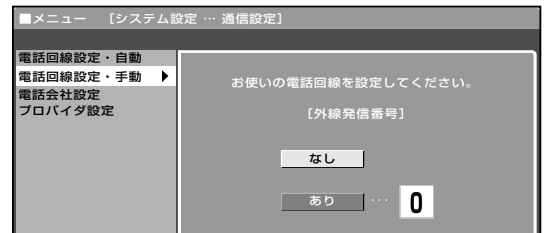
③ ▲ ▼ で「通信設定」を選び、決定 を押す

2

① ▲ ▼ で「電話回線設定・手動」を選び、決定 を押す

② ［現在の設定］を確認し、「次へ」で 決定 を押す

3

ご契約の電話回線種別を ▲ ▼ で選び、決定 を押す

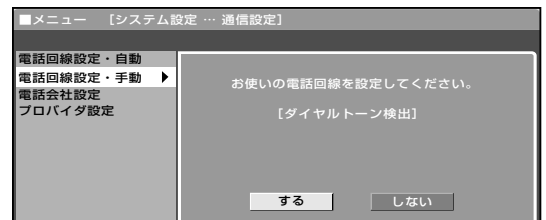
●契約している電話回線種別(ダイヤル方式)が分からない場合は、お近くのNTT営業窓口にお問い合わせください。

4

① ▲ ▼ で外線発信番号「なし」または「あり」を選ぶ

●「あり」を選んだ場合は、数字ボタン(1～10/0)で、外線発信番号(0～9)を右のボックスに入力してください。

② 決定 を押す

5

◀ ▶ でダイヤルトーン検出「する」または「しない」を選び、決定 を押す

●NTT回線に直結している場合は「する」を選び、交換機を中継する場合は、交換機の機種により、「する」または「しない」を選んでください。

●「電話回線設定・手動」で設定した内容を確認したい場合は、「電話回線設定・自動」で「テスト実行」を行ってください。(**53**ページ参照)

● 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

● 電話回線のテスト実行には、回線接続料がかかります。

メニュー画面について

● メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

● 外線発信番号はお間違いのないように設定してください。

電話回線を設定する(つづき)

電話会社設定

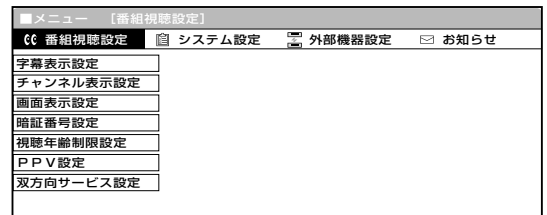
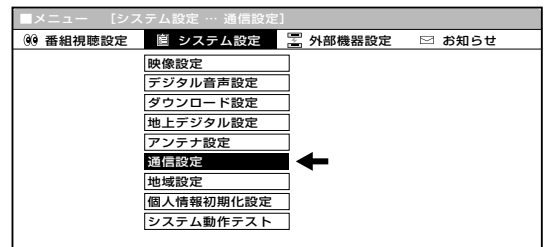
■各放送局など、電話回線を使って通信する際に利用する電話会社に関する設定です。
■**通常は設定する必要はありません。**

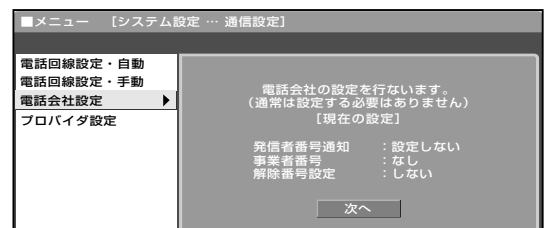
発信者番号通知設定

●通信後、放送局などの相手先に電話番号を通知するかしないかの設定です。

操作開始

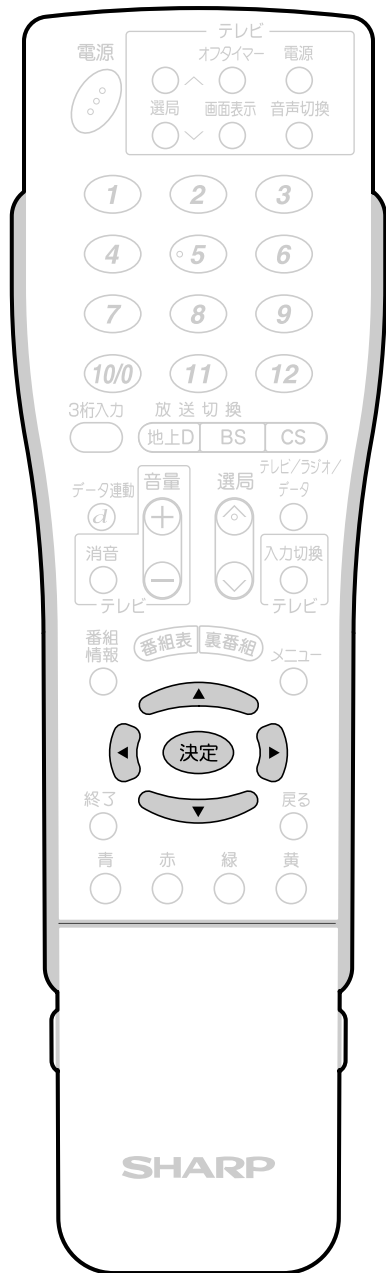
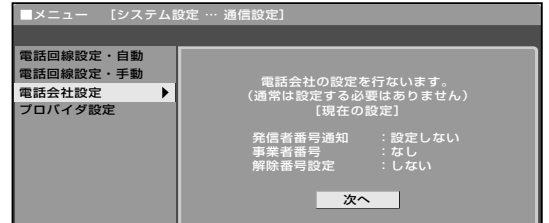
1 BS **を押し、BSデジタル放送を選ぶ**

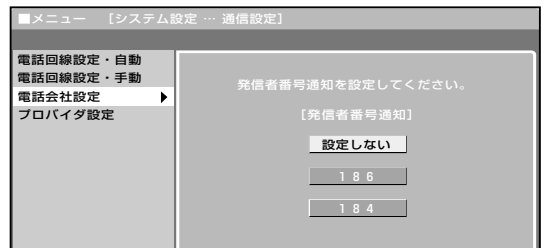
2 メニュー **を押し、メニュー画面を表示する**

3 ① ◀ ▶ **で「システム設定」を選ぶ**

② ▲ ▼ **で「通信設定」を選び、** 決定 **を押す**

4 ▲ ▼ **で「電話会社設定」を選び、** 決定 **を押す**

次ページへ

●電話回線のテスト実行には、回線接続料がかかります。

メニュー画面について

●メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

5 [現在の設定]を確認し、「次へ」で 決定 を押す

6 ▲ ▼ で「設定しない」「186」「184」のいずれかを選び、決定 を押す

「設定しない」..... 「186」「184」の、どちらにも設定しません。
「186」.............. 番号を通知します。
「184」.............. 番号を通知しません。

事業者番号設定

- 電話回線での通信に利用する電話会社の事業者番号を登録します。

7 ▲ ▼ ◀ ▶ で、利用している電話会社の事業者番号を選び、決定 を押す

次ページへ

メニュー画面について

- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

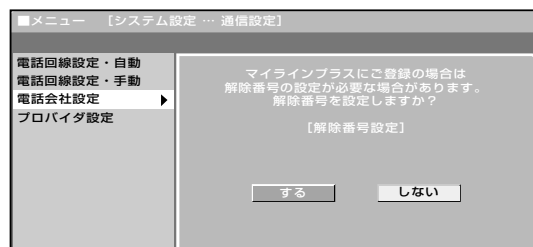
電話回線を設定する(つづき)

解除番号設定

- マイラインプラスの登録をしている場合、登録している電話会社を使わずに発信するよう設定することができます。

8 **◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す**

「する」...........マイラインプラスを解除するための番号「122」を付けて発信します。

「しない」.......マイラインプラスを解除しないで、発信します。

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶

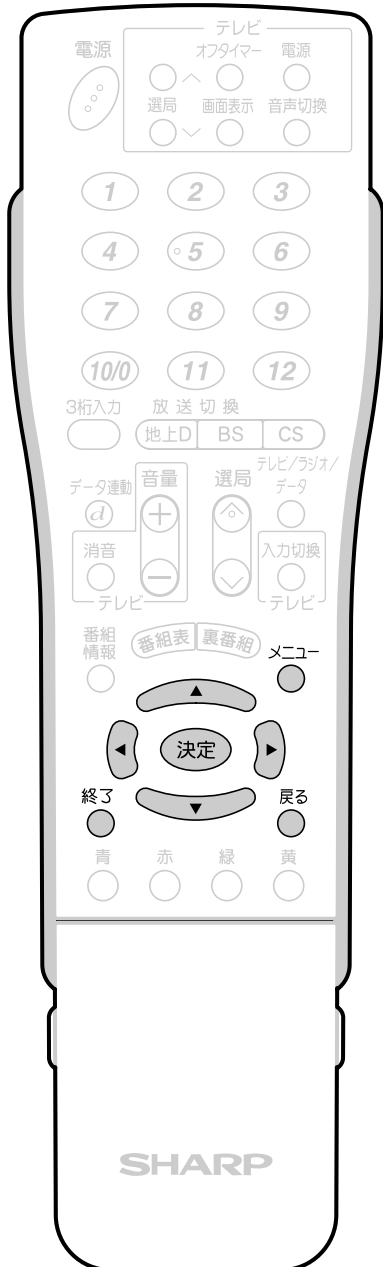
メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

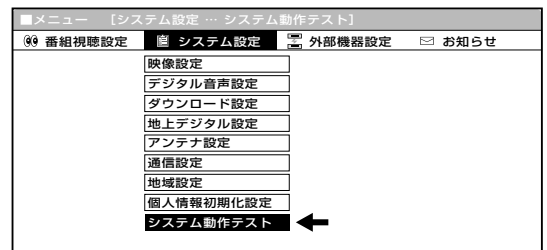
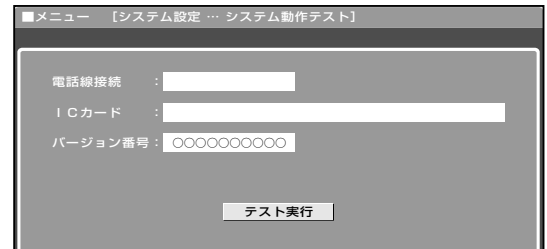
システム動作テストを行う

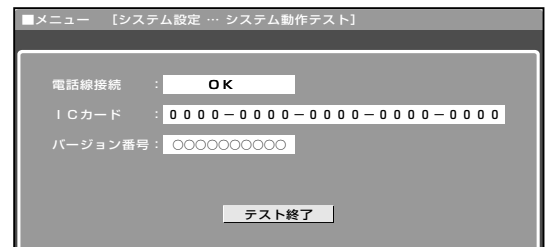
■本機は、電話回線が正しく接続されているか、また、B-CASカードが正しく装着されているか、などをテストすることができます。

システム動作テストに失敗したときは

電話線接続
電話回線の接続と設定を確認してください。
⇨ **51・53**ページ

ICカード
B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。
⇨ **13**ページ

操作開始

1
① メニュー を押し、メニュー画面を表示する
② ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ
③ ▲ ▼ で「システム動作テスト」を選び、決定 を押す

2
「テスト実行」で 決定 を押し、テストを開始する

●表示が「テスト実行中」に変わります。
テストが終了すると「テスト終了」になります。

3
① **結果を確認する**
② **「テスト終了」で 決定 を押す**

●1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

地上デジタル放送の番組表取得設定を行う

番組表取得設定

■地上デジタル放送の電子番組表の情報は、送信している各放送チャンネルから取得する必要があります。この番組表を取得するための設定です。

電子番組表(EPG)について

■電子番組表(EPG)の表示のしかたや使いかたについては、「電子番組表(EPG)の使いかた」をご覧ください。(**69**ページ)

メニュー画面について

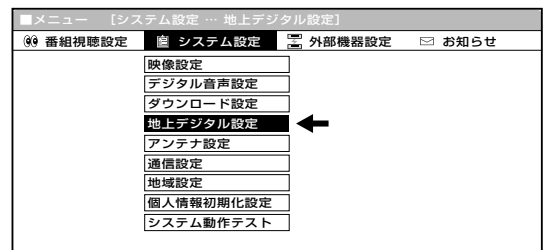
- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

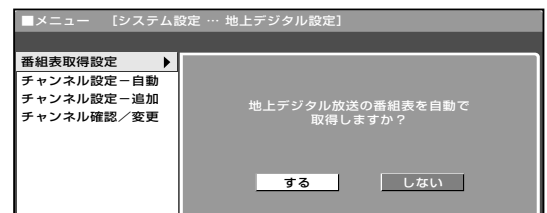
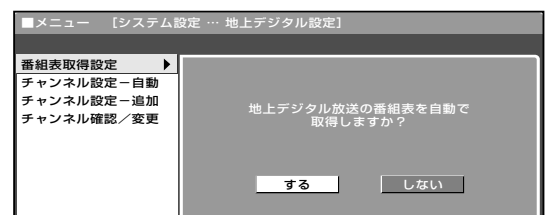
操作開始

1 地上D を押し、地上デジタル放送を選ぶ

2 ① メニュー を押し、メニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「地上デジタル設定」を選び、決定 を押す

- 地上デジタル設定画面が表示されます。

3 ▲ ▼ で「番組表取得設定」を選び、決定 を押す

4 ◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

デジタル放送を視聴する

● この章では、地上デジタル放送やBS・110度CSデジタル放送の番組の楽しみかたや、EPG(電子番組表)の使いかたなどを説明しています。

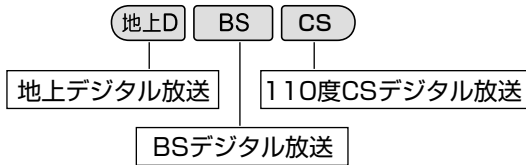
デジタル放送の番組を選ぶ

番組の選択手順と操作のしかた

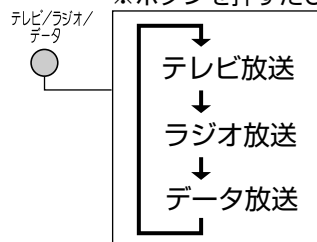
フタを開けたところ

操作のしかた

1 ネットワークを選ぶ

放送切換ボタンで、3種類のネットワークから放送の配信ネットワークを選びます。

2 メディアを選ぶ

テレビ／ラジオ／データボタンで、3種類の放送メディアから選びます。

※ボタンを押すたびに切り換わります。

3 視聴したいチャンネルを選ぶ

次のいずれかの方法でチャンネルを選びます。

チャンネルボタン（数字ボタン）で選ぶ

- チャンネルボタンを押してください。
- チャンネルボタンには、各放送局のチャンネルが登録（設定）されており、ワンタッチ選局できます。
- 登録されているチャンネルは画面で確認できます。デジタル登録ボタンを押すと、チャンネルボタンに登録されている放送局の一覧が画面に表示されます。（**66**ページ参照）

選局（∧順／∨逆）ボタンで選ぶ

- 視聴したい番組が表示されるまで選局（∧順／∨逆）ボタンを押してください。
- 選局（∧順／∨逆）ボタンを押すたびに、視聴中のネットワーク・メディアのチャンネルが、順方向・逆方向に選局できます。

3 電子番組表（EPG）を使って番組を選ぶこともできます

- 右記手順①～②の後に電子番組表を表示して、放送中の番組を選びます。

電子番組表（EPG）の表示のしかた、機能、操作方法については、**69**～**73**ページをご覧ください。

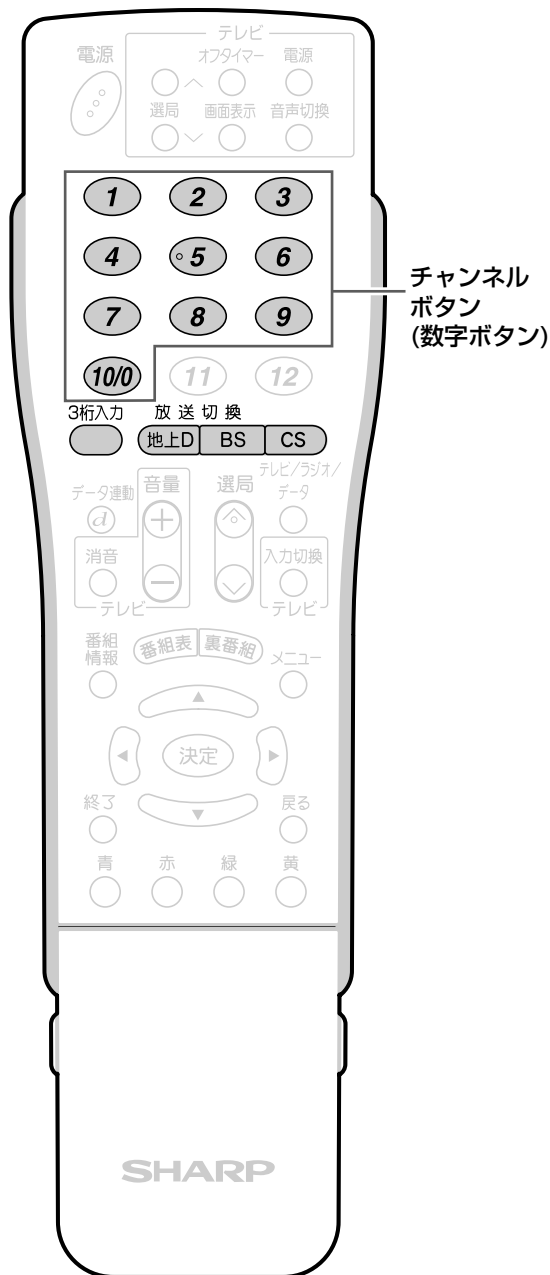
選局したチャンネルの画面表示例　※表示は数秒で消えます

- BSデジタル放送のテレビ放送「NHK BS1」を選んだとき

BSテレビ　NHK　BS1　101

おしらせ

- ラジオ放送はBSデジタルでのみ放送されています（2005年12月現在）。
- デジタル放送はB-CASカード（**13**ページ）を挿入してご覧ください。挿入しないと視聴できません。
  地上デジタル放送は、地域設定とチャンネル設定（**20**・**22**ページ）を行うとご覧になれます。なお、放送開始前は設定しても受信できません。
- データ放送の使いかたは、各放送局の番組の作りかたによって異なります。基本的にはカーソルボタン、決定ボタン、カラーボタンなどで操作します。

その他の選局方法

3桁入力で選ぶ

■視聴したい番組の3桁チャンネル番号を入力して選局できます。
チャンネル番号表(**67**ページ)を参照してください。

操作開始

1 **地上D BS CSのいずれかを押し、ネットワークを選ぶ**

2 [例] BSデジタル放送の161チャンネル(BS-i)を選ぶとき

① 3桁入力 を押す

●画面左上に3桁入力欄が表示されます。

② 数字ボタン1 6 1を押す

●間違った番号を入力した場合は、再度3桁入力ボタンを押すと、入力した番号がクリアされます。

操作終了

地上デジタルチャンネルの枝番を選んで選局する

■地上デジタル放送を3桁入力で選局したとき、チャンネル番号の重複する放送局がある場合は、4桁め(枝番)を選んで番組を選局します。

●3桁チャンネル番号が重複している場合は、4桁め(枝番)の選択画面が表示されます。

数字ボタン(1 ～10/0)で4桁めの数字(枝番)を入力し、選局する

デジタル放送の番組を選ぶ(つづき)

連動データ放送を見る

■テレビ放送に連動したデータ放送がある場合は、番組情報ボタンを押すと、チャンネル表示の中に「*d*」マークが表示されます。(放送局によっては表示されない場合があります。)

● 電源を入れた直後やチャンネル切り換えをした直後は、データ連動(*d*)ボタンを押しても連動データ放送画面が表示されないことがあります。この場合は、テレビ放送受信後しばらく(約20秒)待ってから操作してください。(表示されるまでの時間は、放送内容によって異なります。)

データ連動 (d) を押す

●連動データ放送の画面になります。

(連動データ放送の画面例)

●テレビ放送に戻すときは、もう一度データ連動(*d*)ボタンを押します。

データ放送の基本操作

① **▲ ▼ ◀ ▶ で項目を選び、決定 を押す**

② **カラーボタンに対応した項目のボタンを押す**

※データ放送は放送局側で制作したメニュー画面により操作が異なりますので、画面の表示に従って操作してください。

映像・音声の切り換えかた

■複数の映像（最大4つ）、または副音声（最大8つ）がある番組をご覧のとき、主・副の映像および音声を切り換えて楽しむことができます。

複数の映像を楽しむ

■複数の映像のある番組をご覧のとき、番組情報ボタンを押すと、チャンネル表示の中に「映像」が表示されます。

フタを開けたところ

「映像」表示

映像切換 を押し、映像を切り換える

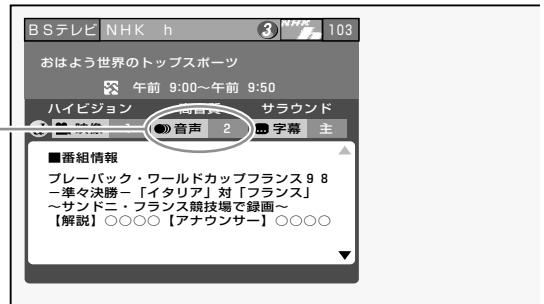
- ボタンを押すたびに映像が切り換わり、画面右上に映像表示がでます。

（画面例）

※番組によって映像の数は異なります。

複数の音声を楽しむ

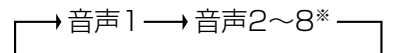
■複数の音声のある番組をご覧のとき、番組情報ボタンを押すと、チャンネル表示の中に「音声」が表示されます。

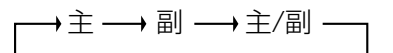
フタを開けたところ

「音声」表示

音声切換 を押し、音声を切り換える

- ボタンを押すたびに音声が切り換わり、画面右上に音声表示がでます。

（画面例）

マルチ音声番組のとき　→音声1 → 音声2～8※ →

※番組によって音声の数は異なります。

二重音声番組のとき　→主 → 副 → 主/副 →

- マルチ音声番組を受信したときは、前回の選択にかかわらず、音声1が選択されます。
- 二重音声番組を受信したときは、前回選択されていた音声が選択されます。
- 二重音声やマルチ音声のときの言語表記は、放送に入っているコードによる表示であり、必ずしも表記どおりではないことがあります。
- 録画予約時に「詳細を設定する」を選択していない場合、二重音声の場合は直前に視聴した音声を録画します。その他の場合は、映像1、音声1を録画します。

デジタルチャンネルの確認と登録

■ワンタッチ選局に使うチャンネルボタンに現在登録されているチャンネルを確認することができます。

フタを開けたところ

放送を視聴中に デジタル登録 を押す

●登録されているチャンネル内容の一覧が表示されます。

〈例〉BSデジタル放送の、テレビ放送の一覧

●確認後、画面表示を消すには、デジタル登録ボタンを押します。

- 各放送のチャンネル確認／登録画面は、デジタル放送を視聴しているときにデジタル登録ボタンを押すと表示されます。
- 確認／登録画面を表示中に、各放送切換ボタンまたはテレビ／ラジオ／データボタン(メディア切換えボタン)を押すと、ネットワーク・メディアが切り換わり、そのチャンネル確認／登録画面が表示されます。

工場出荷時に設定されているデジタルチャンネル一覧

BS(BSデジタル放送)チャンネル

チャンネルボタン	テレビ		ラジオ		データ	
	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号
1	NHK BS1	101	—	—	—	—
2	NHK BS2	102	—	—	ウェザーニュース	910
3	NHK ハイビジョン	103	—	—	デジキャス933	933
4	BS 日テレ	141	WINJ	333	—	—
5	BS 朝日	151	—	—	—	—
6	BS-i	161	—	—	—	—
7	BS ジャパン	171	—	—	知求チャンネル	999
8	BS フジ	181	—	—	—	—
9	WOWOW	191	—	—	—	—
10/0	スター・チャンネル	200	—	—	—	—
11	—	—	—	—	—	—
12	—	—	—	—	—	—

CS (110度CSデジタル放送)チャンネル

チャンネルボタン	テレビ	ラジオ	データ
	チャンネル番号	チャンネル番号	チャンネル番号
1	100	–	–
2	001	–	–
3	–	–	–
4	–	–	–
5	–	–	–
6	–	–	–
7	–	–	–
8	–	–	–
9	–	–	–
10/0	–	–	–
11	–	–	–
12	–	–	–

地上デジタルチャンネル

チャンネルボタン	チャンネル名	チャンネル番号
1	NHK総合・東京	011
2	NHK教育・東京	021
3	—	—
4	日本テレビ	041
5	テレビ朝日	051
6	TBS	061
7	テレビ東京	071
8	フジテレビジョン	081
9	東京MXテレビ	091
10/0	—	—
11	—	—
12	放送大学	121

関東の東京で受信できるチャンネルです。

● 上記チャンネルプランは2005年12月現在のもので、変更されることもあります。

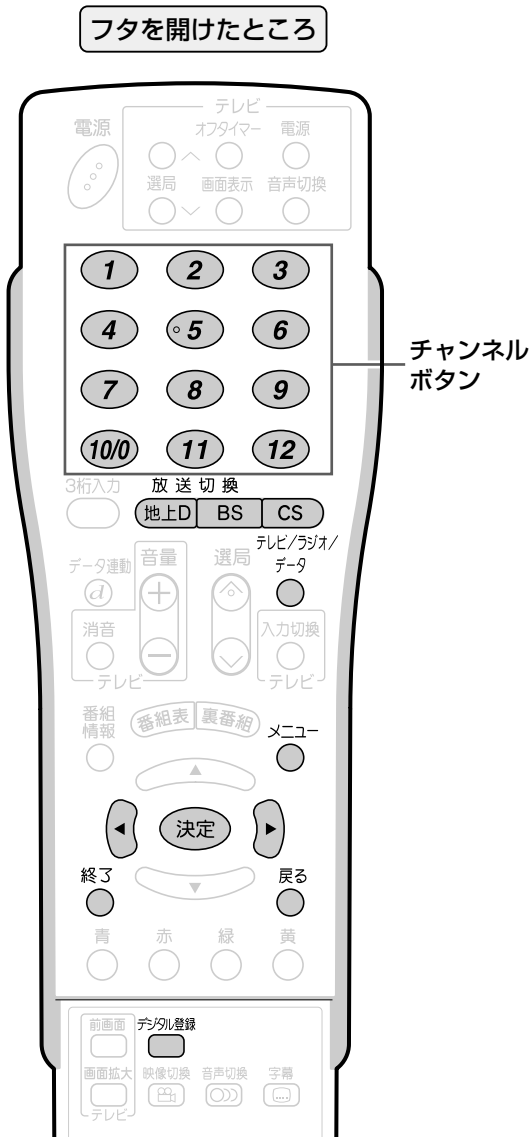
デジタルチャンネルの確認と登録(つづき)

デジタルチャンネルをチャンネルボタンに登録する

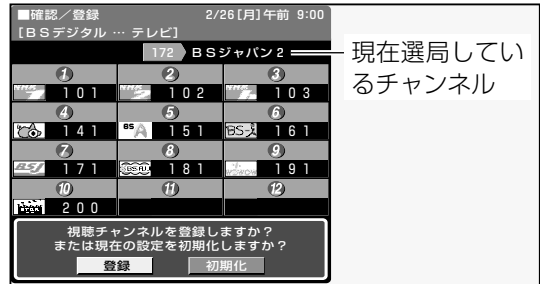
■各デジタル放送ネットワーク(地上D、BS、CS)の各メディア(テレビ/ラジオ/データ)につき、登録したいチャンネルを12局まで、チャンネルボタン(1〜12)に登録することができます。

フタを開けたところ

操作開始

1

① 登録したいチャンネルを選局する

② デジタル登録 を押す

③ ◀ ▶ で「登録」を選び、決定 を押す

●設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「初期化」を選んで決定ボタンを押します。

2

登録したいチャンネルボタン(1〜12)を押す

[例]「BSジャパン2」(172チャンネル)を 11 に登録する場合は、チャンネルボタン 11 を押します。

●登録確認画面が表示されます。

3

◀ ▶ で「する」を選び、決定 を押す

操作終了

電子番組表(EPG)の使いかた

■デジタル放送では、電子番組表(EPG)の情報が送信されており、見たい番組を探したり、番組情報を見たり、番組を予約したりするのに、この電子番組表を使います。

- 現在カーソルのあるところが黄色で表示されます。
- 縦方向にカーソルを動かすときは、上下カーソルボタンを使います。
- 横方向にカーソルを動かすときは、左右カーソルボタンを使います。

電子番組表の切り換えかた

- 電子番組表(EPG)を表示しているときに放送切換ボタン(地上D・BS・CS)、テレビ/ラジオ/データボタンを押すと、他のネットワークやメディアの番組表に切り換えることができます。

カラーボタンについて

- カラーボタンの機能は、表示されている画面によって変わります。
  画面の表示内容を見てボタンを使い分けてください。
- 画面上に機能表示がないカラーボタンは、押しても働きません。

地上デジタル放送の電子番組表について

- 地上デジタル放送の電子番組表(EPG)の情報は、送信している各放送チャンネルから取得する必要があります。(**60**ページ参照)

- 受信状態によっては、番組情報を取得できないことがあります。
- 電子番組表(EPG)を表示できるのは、デジタル放送だけです。
- 本書ではおもに、BSデジタル放送の電子番組表の画面例を掲載しています。

1 デジタル放送を視聴中に を押す

電子番組表(EPG)画面が表示されます。

(BSデジタル放送の画面例)

2 で番組を選び、 を押す

放送中の番組を選んだとき ⇨ 選んだ番組が選局されます。

未放送の番組を選んだとき ⇨ 予約選択画面になります。(**78**ページ参照)

> **電子番組表(EPG)画面を消すときは**
> 番組表 または 終了 を押します。

カラーボタンの機能について

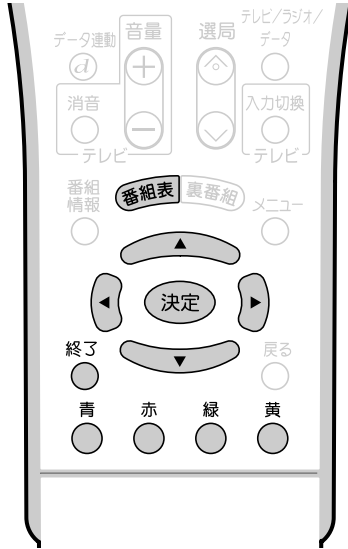
青 (番組情報を見る)
番組情報が表示されます。

赤 (ジャンル検索)
ニュース・報道、映画、音楽、バラエティーなど、番組をジャンル別に探すことができます。

緑 (日時検索)
日時を指定して番組表が表示できるので、番組を早く探すことができます。

黄 (予約リスト)
予約した番組を一覧表示することができます。
予約リストは予約の取消しや変更に使います。

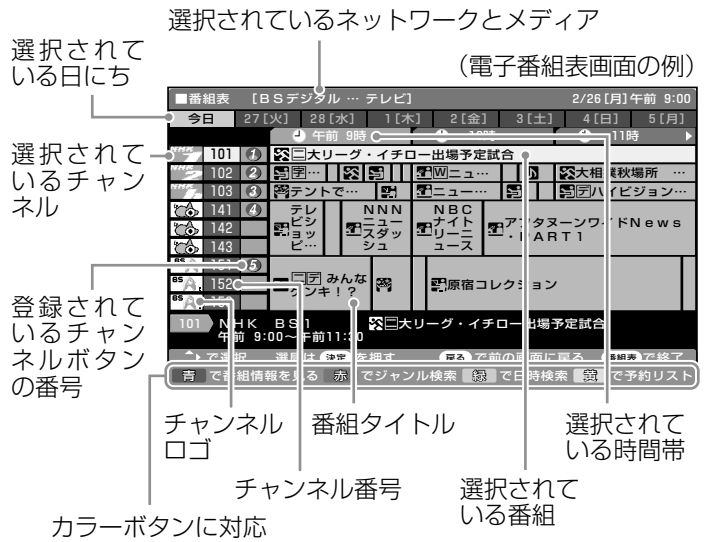
電子番組表(EPG)で選ぶ

見たい番組を探す

電子番組表の表示内容

- テレビ放送……8日分
- ラジオ放送……3日分
- データ放送……最低1日分

※ 電源を入れてからすぐに番組を選んだときは、表示されるまでに時間のかかる場合があります。

操作開始

1 番組表 **を押し、電子番組表(EPG)を表示する**

2 **見たい番組を**   **で選び、**
決定 **を押す**

放送中の番組を選んだとき
⇨選んだ番組が選局されます。

未放送の番組を選んだとき
⇨予約選択画面になります。(**78**ページ参照)

操作終了

アイコン一覧

■デジタル放送の電子番組表(EPG)や予約リストなどには、いろいろなアイコン(絵記号)が使われています。各アイコンの意味はつぎのとおりです。

番組情報を示すアイコン

アイコン	内　容
	視聴予約している番組
	録画予約(ビデオ連動予約)している番組
	有料放送、またはPPV(ペイパービュー)番組
	デジタルコピーが禁止の番組
	デジタルコピーが1回のみ可能な番組

ジャンルを示すアイコン

アイコン	ジャンル	アイコン	ジャンル
	ニュース/報道		映画
	スポーツ		アニメ/特撮
	情報/ワイドショー		ドキュメンタリー/教養
	ドラマ		劇場/公演
	音楽		趣味/教育
	バラエティ		福祉

ジャンルで番組を探す

■番組をジャンル別に表示させて、見たい番組を選ぶ方法です。

操作開始

1

① 番組表 を押し、電子番組表を表示する

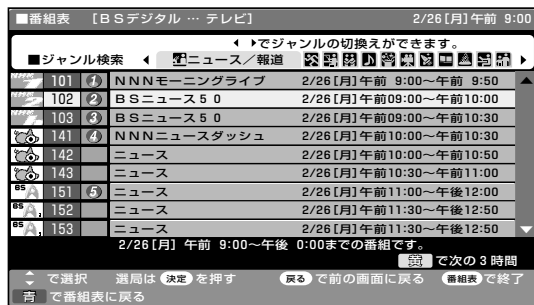
② 赤 (ジャンル検索)を押す

2

見たいジャンルを ◀ ▶ で選ぶ

3

見たい番組を ▲ ▼ で選び、決定 を押す

●黄ボタン(次の3時間)を押すと、時間帯を3時間先に送ることができます。前の時間帯に戻るときは、緑ボタン(前の3時間)を押します。

放送中の番組を選んだとき
　➪選んだ番組が選局されます。

未放送の番組を選んだとき
　➪予約選択画面になります。
　　(**78**ページ参照)

操作終了

電子番組表(EPG)で選ぶ(つづき)

日時を指定して番組を探す

■日時を指定して、電子番組表を表示させることができます。

操作開始

1

① 番組表 を押し、電子番組表を表示する

② 緑 (日時検索)を押す

2

◀ ▶ で日にちを選ぶ

●日にちを選んだあとに決定ボタンか赤ボタン(実行)を押すと、選んだ日にちの電子番組表が表示されます。

3

① 黄 (時間を選ぶ)を押す

② ◀ ▶ で時間を選び、決定 を押す

●指定された日時の電子番組表が表示されます。

操作終了

番組の内容を確認する

■電子番組表で、番組の詳しい情報を見ることができます。

操作開始

1 番組表 **を押し、電子番組表を表示する**

2 **内容を確認したい番組を**   **で選ぶ**

3 青 **（番組情報を見る）を押す**

●番組情報が表示されます。

●番組情報案内に従って、カラーボタン、テレビ／ラジオ／データボタン、カーソルボタンを使い、希望する情報を選択します。

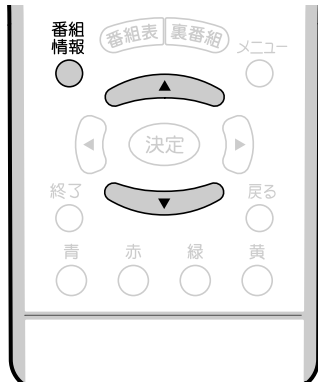
操作終了

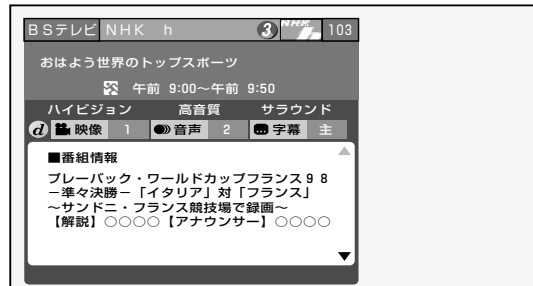
視聴中の番組の内容を見るには

● 番組情報ボタンを押してください。（**74**ページ参照）
（電子番組表を表示する必要はありません。）

視聴中の番組の情報を見る

番組情報を表示する

■番組視聴中に番組情報ボタンを押すと、画面に番組情報が表示されます。

番組情報 を押し、番組情報を表示する

（番組情報の画面例）

- 表示内右側に▲▼マークがある場合は、上下カーソルボタンで情報内容の送り・戻しができます。
- 番組情報表示を消すときは、もう一度番組情報ボタンを押します。

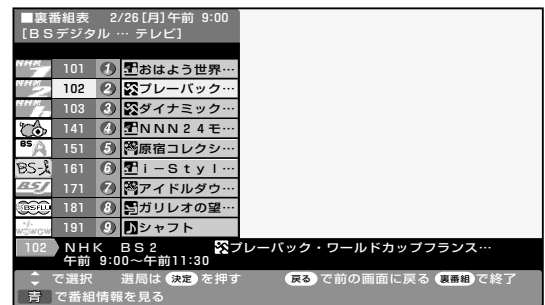
放送中の他の番組（裏番組）を知りたいとき

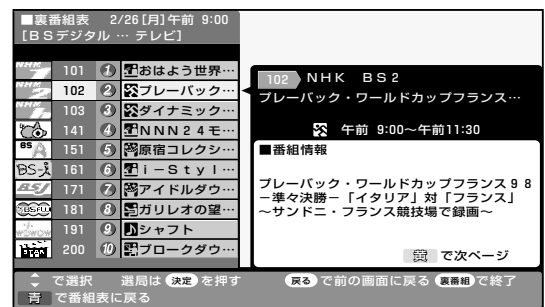
操作開始

1

① 裏番組 を押し、裏番組表を表示する

② で番組を選ぶ

2

青 （番組情報を見る）を押す

- 選んだ番組の情報が表示されます。

- 番組情報案内に従って、カラーボタン、テレビ／ラジオ／データボタン、カーソルボタンを使い、希望する情報を選択します。
- 選んだ番組を視聴したいときは、決定ボタンを押すと選局できます。

操作終了

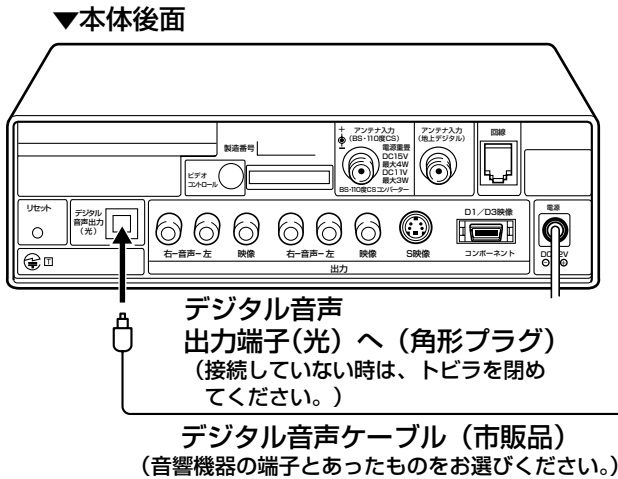
- 地上D・BS・CSのいずれのネットワークについても、また、テレビ・ラジオ・データのいずれのメディアについても、同じように裏番組表を表示することができます。
- 裏番組表を表示しているときに放送切換ボタン（地上D・BS・CS）、テレビ／ラジオ／データボタンを押すと、他のネットワークやメディアの裏番組表に切り換えることができます。

デジタル放送音声出力(光)端子の使いかた

デジタル放送音声出力(光)端子から録音する

■デジタル音声ケーブルを使って、「デジタル音声入力(光)端子」のある音響機器と接続すると、デジタル放送の音声を高音質で録音できます。

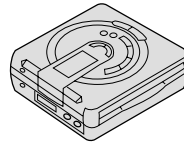
接続のしかた

▼本体後面

▼音響機器

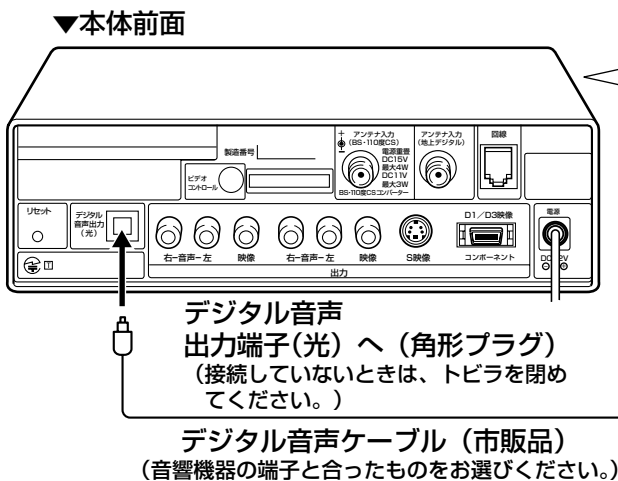
デジタル録音できるのは、サンプリング周波数32kHz,48kHz両方に対応したデジタル入力端子付き音響機器に限ります。
例）MDの場合
　サンプリングレートコンバータ内蔵型

デジタル音声
出力端子(光)へ（角形プラグ）
（接続していない時は、トビラを閉めてください。）

デジタル
入力端子(光)へ

デジタル音声ケーブル（市販品）
（音響機器の端子とあったものをお選びください。）

■また、本機のデジタル放送音声出力(光)端子は、MPEG2 AAC音声フォーマットを出力することができます。AAC対応の音響機器を接続すると、サラウンド放送の番組を迫力ある音声で楽しめます。
AAC：(Advanced Audio Coding)は、高音質で音声を伝送する方式です。

接続のしかた

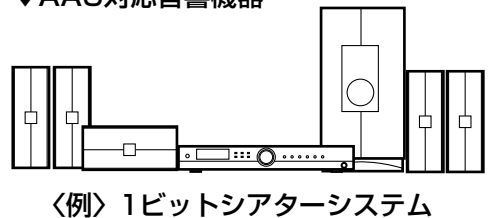
▼本体前面

デジタル音声設定を「AAC」にします。
☞76ページ

▼AAC対応音響機器

デジタル音声
出力端子(光)へ（角形プラグ）
（接続していないときは、トビラを閉めてください。）

デジタル音声
入力(光)端子へ

〈例〉1ビットシアターシステム

デジタル音声ケーブル（市販品）
（音響機器の端子と合ったものをお選びください。）

- 詳しくは、接続する音響機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続する前に本機と音響機器の電源を切ってください。
- 本機では、常にデジタル放送の音声がデジタル放送音声出力(光)端子から出力されます。
- メニューの「デジタル音声設定」を「AAC」にしているとき、字幕放送やデータ放送の一部の音声は、本機のデジタル放送音声出力(光)端子から出力されません。
- 番組により録音・録画が制限されている場合があります。
- 一部のラジオ放送は、デジタル録音することができません。
- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

デジタル放送音声出力(光)端子の使いかた(つづき)

■接続する音響機器にあわせて、デジタル放送音声出力(光)端子の出力信号形式を設定できます。

デジタル放送音声の設定

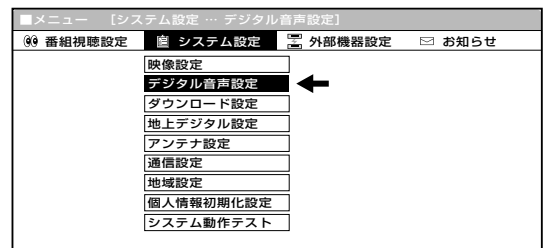
操作開始

1

① メニュー を押し、メニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「デジタル音声設定」を選び、決定 を押す

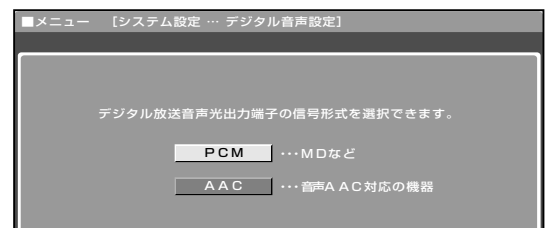
2

▲ ▼ で「PCM」または「AAC」を選び、決定 を押す

「PCM」……AACに対応していない音響機器(MDレコーダー、MDコンポなど)に接続するとき

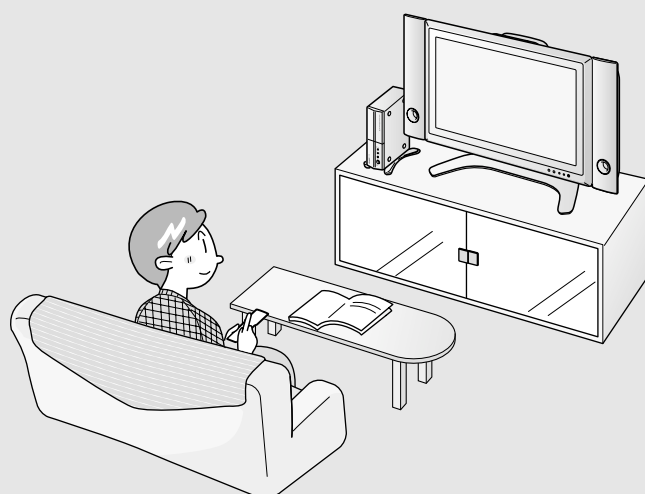
「AAC」……AAC対応のAVアンプなどに接続するとき

● 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 接続する機器がAAC／PCMの自動切換えに対応していない場合は、機器側の設定を手動で切り換えてください。
- デジタル放送音声出力(光)端子からは、デジタル放送音声以外は出力されません。
- 「AAC」に設定した場合、字幕放送や一部のデータ放送の音声が出力されません。

デジタル放送の視聴予約と録画予約

● この章では、地上デジタル放送やBS・110度CSデジタル放送の視聴や録画の予約のしかた、ビデオコントローラーを使った録画のしかたなどを説明しています。

電子番組表(EPG)から番組を予約する

■デジタル放送の番組を電子番組表(EPG)から予約して視聴したり、外部録画機器に録画予約することができます。

■予約には「視聴予約」と「録画予約」の2種類があります。

番組予約(「視聴予約」と「録画予約」)の手順

手順1

デジタル放送視聴中に 番組表 を押して電子番組表を表示する

▼電子番組表

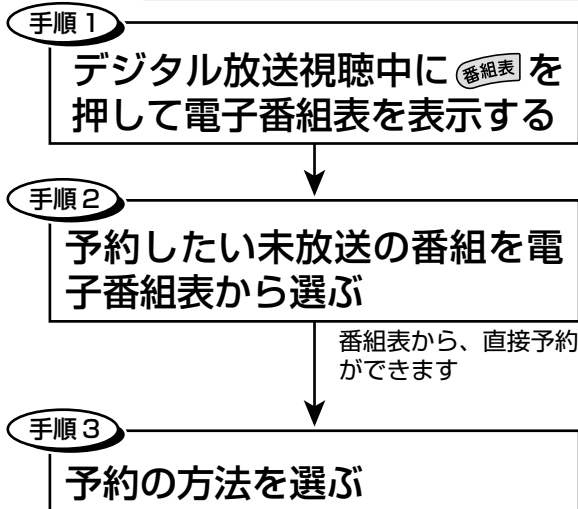
番組の始まる2分前までに予約終了しないと予約できません。

手順2

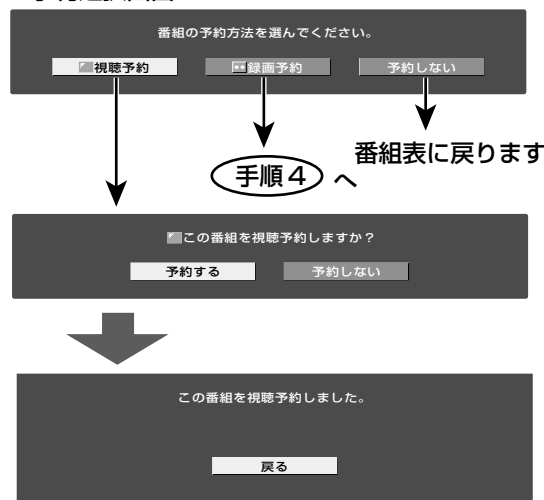
予約したい未放送の番組を電子番組表から選ぶ

番組表から、直接予約ができます

手順3

予約の方法を選ぶ

視聴予約:
予約した時刻になると、予約した番組に切り換わります。(視聴予約の場合、以下の手順はありません。)

録画予約:　→手順4にすすみます
予約した時刻になると、予約した番組が出力端子から出力されます。

予約しない:
番組表に戻ります。

▼予約選択画面

視聴予約の設定は完了です。
予約した時刻になると、予約した番組に切り換わります。

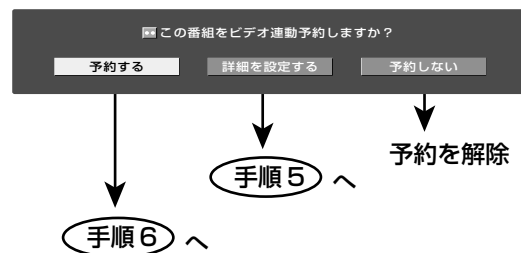
手順4

予約の方法を選ぶ

予約する:　→手順6にすすむ
無料放送や契約済み放送の番組を簡単録画予約します。

詳細を予約する:　→手順5にすすむ
録画する音声や録画機器の選択、PPVの事前購入などを行います。

予約しない:
番組表に戻ります。

▼予約選択画面

番組予約(「視聴予約」と「録画予約」)の手順(つづき)

手順5

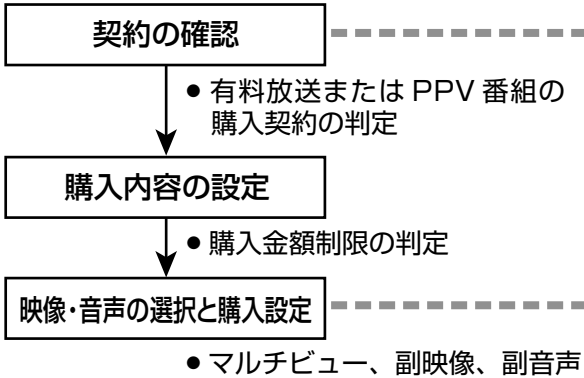
「詳細を設定する」を選んだ場合

契約の確認

● 有料放送または PPV 番組の購入契約の判定

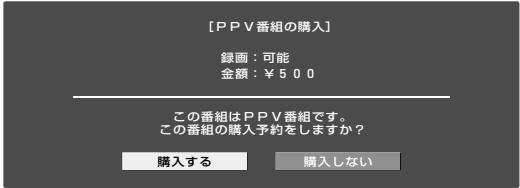
購入内容の設定

● 購入金額制限の判定

映像・音声の選択と購入設定

● マルチビュー、副映像、副音声

● BSデジタル放送は無料放送と有料放送があり、有料放送にはあらかじめ契約して視聴する番組と、番組単位で購入して視聴する番組(PPV)があります。
● 110度CSデジタル放送は有料放送で、各プラットフォームとの個別受信契約が必要です。その他に、番組単位で購入して視聴する番組(PPV)があります。

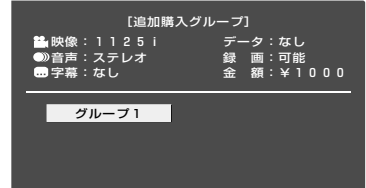
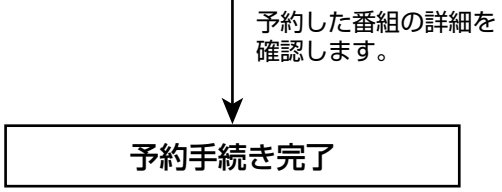
デジタル放送の一部の番組では、マルチビューや副映像・副音声などの情報が同時に送られてきます。

▼選択画面の一例(PPV 番組の購入)

▼選択画面の一例(追加購入グループ情報)

手順6

予約内容確認

予約した番組の詳細を確認します。

予約手続き完了

(ビデオ連動予約の場合の表示例)

予約を解除

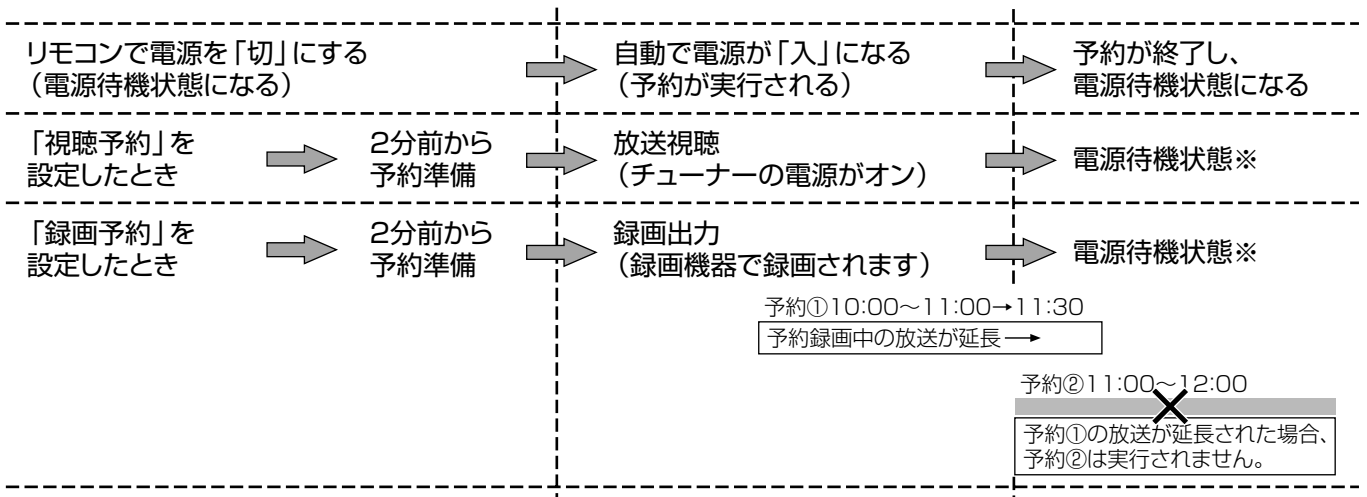
デジタル放送の録画に関するご注意

● デジタル放送のほとんどの番組には、「1回だけ録画」のコピー制御信号が加えられています。この信号とともに録画された番組は、他のデジタル機器へのダビングができません。

次ページへつづく

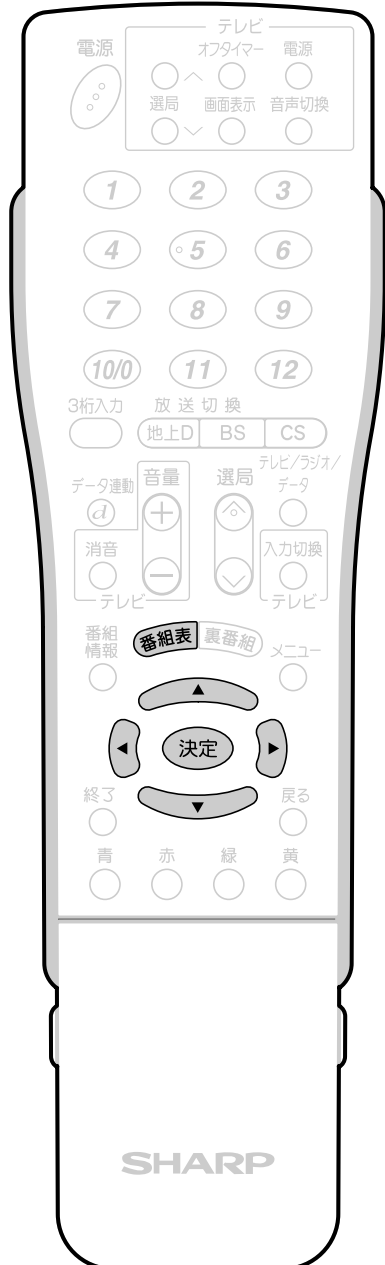
電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

電源待機状態からの予約動作について

■デジタル放送を予約したときは、設定や条件によって動作が異なります。

※ 視聴予約実行中に何らかのボタン操作をすると、視聴予約は終了します。この場合、予約した番組が終了しても電源待機状態にはなりません。

- 録画予約を選択した場合、録画開始2分前になると、リモコン操作を受けつけなくなります。また、予約録画の実行中もリモコン操作を受けつけません。
  操作を行う場合は、リモコンの電源を押しつづけて(約5秒)、予約を解除してください。

視聴予約か録画予約かを選ぶ

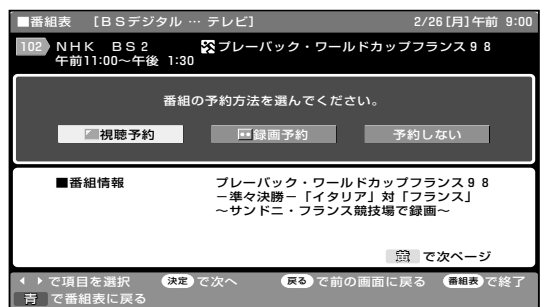
■電子番組表から、放送予定の番組の視聴予約、録画予約、およびＰＰＶ（ペイパービュー）番組の録画予約ができます。

操作開始

1 （番組表）を押し、電子番組表を表示する

●翌日以降の番組を予約したいときは、日時指定（**72**ページ）で番組表を表示させると便利です。

2 予約したい番組を ◄ ► で選ぶ

3 （決定）を押す

●予約選択画面になります。

「視聴予約」……視聴のみの予約となります。視聴予約の手順に進みます。（☞ **82**ページ）

「録画予約」……録画する機器の選択ができます。録画予約の手順に進みます。（☞ **83**ページ）

次のページへ

「予約しない」…予約をしないで番組表に戻ります。

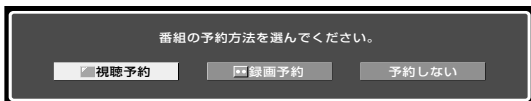
操作終了

電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

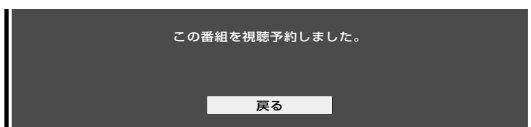
- 有料放送を予約する場合は、有料放送のプラットフォームや放送局と、あらかじめ契約をしておく必要があります。契約をしていないと、予約どおりの視聴や録画はできません。
- 前に入れた予約と日時が重なっている場合は、前の予約を破棄して新たな予約をするか、しないかを選択します。
- 最大16番組まで予約できます。すでに16番組を予約していて、新たな予約をしたい場合は、予約の取り消し(**86**ページ)が必要です。

視聴予約

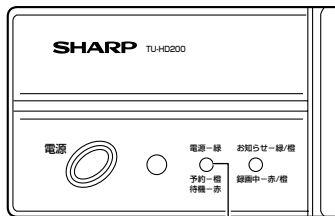
操作開始

1 81ページ手順3で、◀で「視聴予約」を選び、決定を押す

2 ◀で「予約する」を選び、決定を押す

「予約する」………無料放送や契約している有料放送が予約できます。
「予約しない」……予約をしないで番組表に戻ります。

3 「戻る」で決定を押す

- 視聴予約が設定されました。

操作終了

ランプについて
- 番組を予約してリモコンで電源を切ると、本体前面の電源ランプが橙色に点灯します。

電源/予約/待機ランプ

ご注意

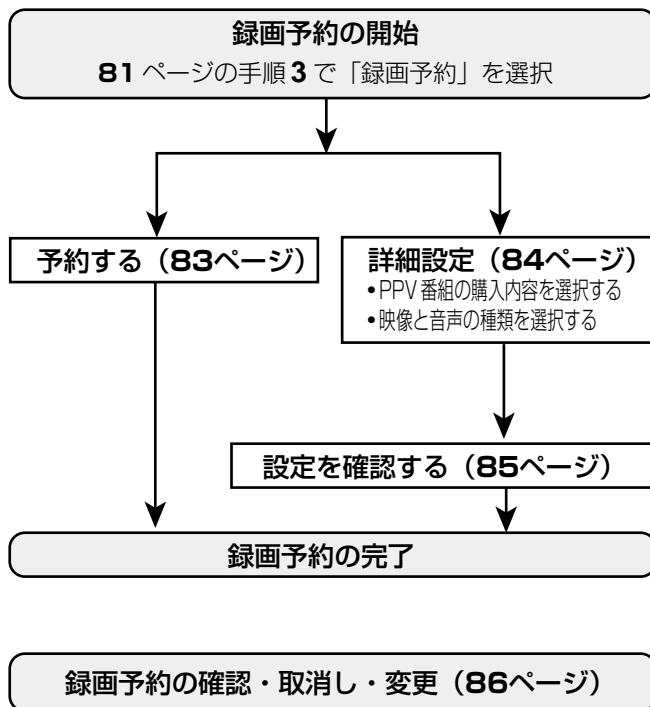
視聴予約・録画予約を設定した後に電源を切るときのご注意

- 視聴予約・録画予約を設定した後、電源を切る場合は、リモコンの電源ボタンで「切」にしてください。本体の電源ボタンでは切らないでください。本体の電源ボタンで「切」にした場合は、予約が実行されません。
- リモコンの電源ボタンで「切」にした状態(スタンバイ状態)で、視聴予約した番組が始まると自動的に電源「入」になります。また、その後、リモコン操作をしなかった場合、予約した番組が終了すると自動的にスタンバイ状態になります。

録画予約(ビデオ連動予約)

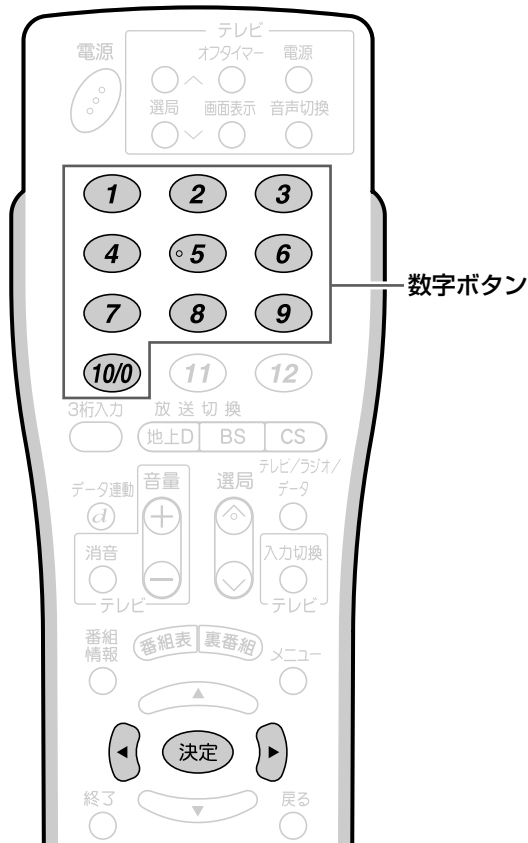
- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

録画予約の操作手順

録画予約の確認・取消し・変更（86ページ）

※ 上記の操作手順は一例です。選んだ番組によっては、必要のない手順もあります。

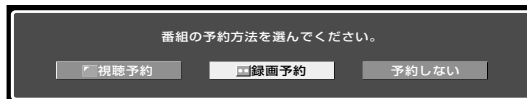
ビデオ連動予約をするとき

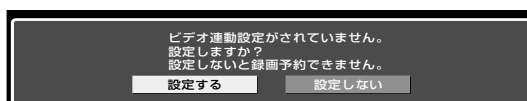
■ビデオ連動予約とは、付属のビデオコントローラーを使い、予約時間にあわせてビデオデッキの録画を開始・終了させ、予約したデジタル放送の番組を録画する方法です。

- ビデオ連動予約を初めて行う場合は、あらかじめ、ビデオデッキ・ビデオコントローラーの接続(**87**ページ)、およびビデオ連動録画設定(**89**ページ)を済ませておいてください。
- ビデオ連動録画設定は、一度行えば、設定内容が記憶されますので、次回からは必要ありません。
- 予約録画する前に、必ず試し録りをして、正しく録画されることを確認してください。

ビデオコントローラーに対応していない録画機器をお使いの場合

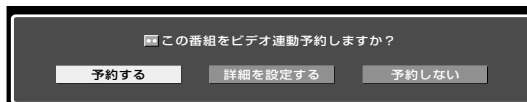
- 予約が完了したあと、録画機器のタイマー予約などの機能で、録画したい番組の放送時刻を設定し、チャンネルは本機を接続している入力に設定してください。

操作開始

1 81ページ手順3で、◀ ▶ で「録画予約」を選び、決定 を押す

- ビデオ連動録画設定が済んでいるときは、手順2の画面になります。
- ビデオ連動録画設定が済んでいないときは、つぎの画面が表示されます。

ビデオ連動設定がされていません。
設定しますか?
設定しないと録画予約できません。
設定する　設定しない

- 「設定する」を選んで決定ボタンを押すと、ビデオ連動録画設定画面になります。設定を行ってください。(**89**ページ参照)

2 ◀ ▶ で予約の種類を選び、決定 を押す

この番組をビデオ連動予約しますか?
予約する　詳細を設定する　予約しない

「予約する」………… 無料放送や契約している有料放送が予約できます。

「詳細を設定する」… 映像・音声の詳細の予約設定ができます。視聴制限や購入金額制限の設定によって視聴や購入が制限されている番組の場合は、暗証番号入力画面が表示されます。

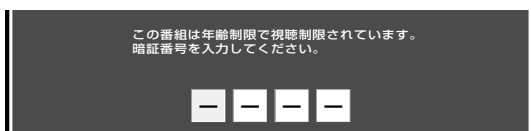
「予約しない」……… 予約をしないで、番組表に戻ります。

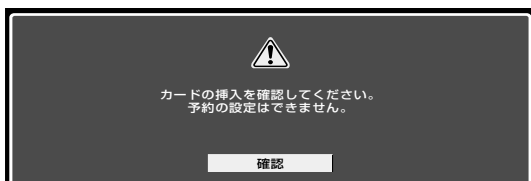
電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

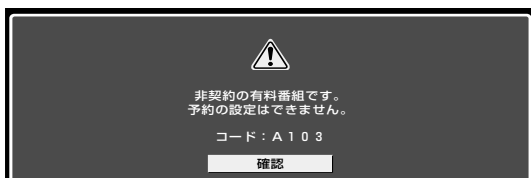
詳細設定

■視聴年齢制限、カード未挿入、有料番組の契約状況が自動判定され、メッセージが表示されます。
設定を済ませてから、PPV番組の購入予約ができます。

視聴年齢制限のある番組を予約したとき

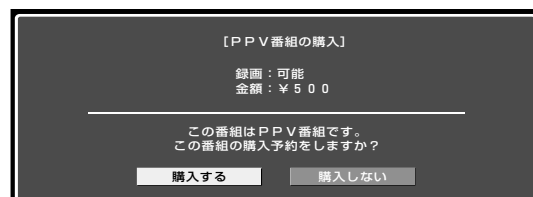
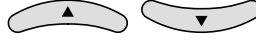
●暗証番号入力画面が表示されます。

●数字ボタン(1〜10/0)で暗証番号を入力してください。(**106**ページ参照)

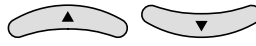
カード未挿入で有料番組を予約したとき

●「カードの挿入を確認してください。予約の設定はできません。」のメッセージが表示されます。カードを挿入してから、予約をし直してください。

非契約の有料番組を予約したとき

●「非契約の有料番組です。予約の設定はできません。」のメッセージが表示されます。「確認」で決定ボタンを押してください。

PPV番組の購入(する／しない)を選択する

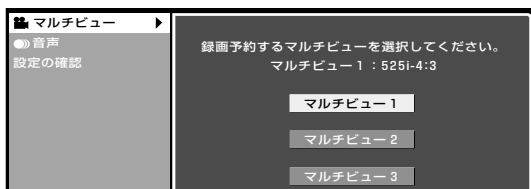
●PPV番組を選んでいるときのみ必要な手順です。

◀ ▶ で「購入する」または「購入しない」を選び、決定 を押す

●「購入しない」を選んだときは、番組表に戻ります。

映像・音声の種類を選択する

- 映像・音声の種類はつぎのとおりです。それぞれ、表示のあるときのみ選択できます。
  「マルチビュー」… いろいろな角度から見た映像
  「映像」……… 映像(最大4つ)
  「音声」……… 音声(最大8つ)
  「二重音声」… 主音声と副音声

1

マルチビュー番組を選んでいるとき

(決定) を押してから、▲ ▼ でマルチビューの種類を選び、(決定) を押す

副映像のある番組を選んでいるとき

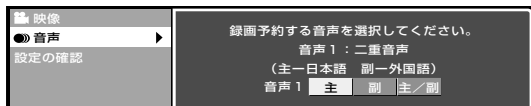
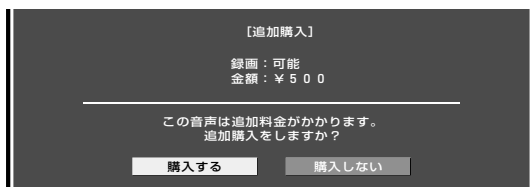
(決定) を押してから、 で映像を選び、(決定) を押す

- 映像の数は、番組によって異なります。

2

① ▲ ▼ で「音声」を選び、(決定) を押す

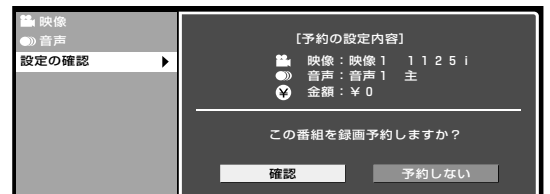
② ▲ ▼ ◀ ▶ で音声を選び、(決定) を押す

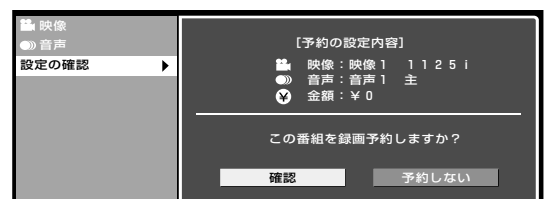
- 音声の数は、番組によって異なります。

- 映像・音声の購入に追加料金が必要なときは、追加購入のための画面が表示されます。

- 「購入する」または「購入しない」を選び、決定ボタンを押します。

予約設定を確認する

1

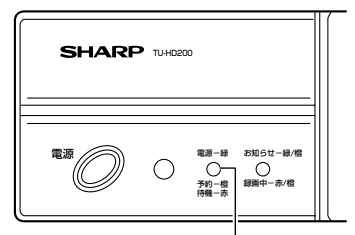
① 83ページ手順2で「詳細を設定する」を選び、(決定) を押す

② ▲ ▼ で「設定の確認」を選び、(決定) を押す

2

◀ ▶ で「確認」を選び、(決定) を押す

- 録画予約が設定されました。
- 「予約しない」を選んで決定ボタンを押すと、予約を中止して番組表に戻ります。

操作終了

ランプについて

- 番組を予約してリモコンで電源を切ると、本体前面の電源ランプが橙色に点灯します。

電源/予約/待機ランプ

視聴予約・録画予約を設定した後に電源を切るときのご注意

- 視聴予約・録画予約を設定した後、電源を切る場合は、リモコンの電源ボタンで「切」にしてください。本体の電源ボタンでは切らないでください。本体の電源ボタンで「切」にした場合は、予約が実行されません。

実行中の予約録画を解除するには

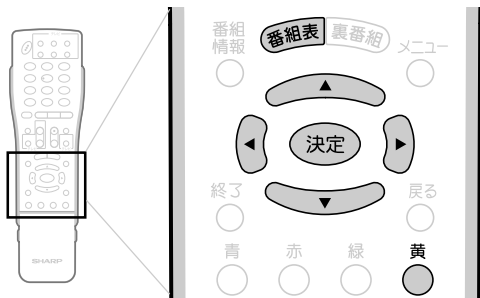
- リモコンの電源ボタン (電源) を約5秒押しつづけてください。

予約録画が始まると

- 予約録画実行中は、お知らせ/録画中ランプが赤または橙色で点灯します。このときは、本機を操作できません。

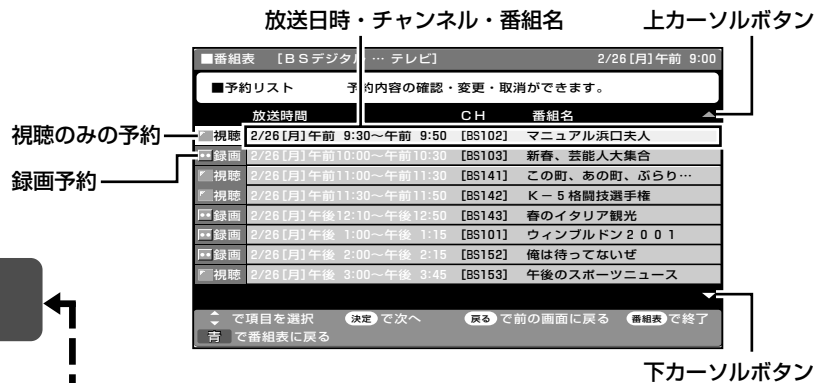
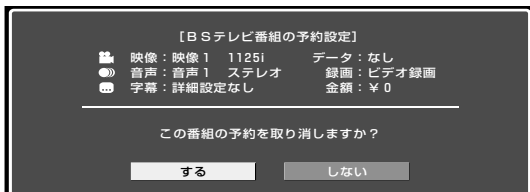
電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

予約の確認・取消し・変更

■番組表から予約リストを表示させ、予約の確認、取消しや変更をすることができます。

予約を確認したいとき

① 番組表 を押し、電子番組表を表示する

② 黄 (予約リスト)を押し、予約リストを表示する

▼予約リストの例

- 予約リストで現在の予約内容を確認します。
- 表示内右側に▲▼マークがある場合は、上下カーソルボタンで予約リストの送り・戻しができます。
- 予約した番組の設定内容を確認したいときは、上下カーソルボタンで番組を選び、決定ボタンを押します。つぎのような画面が表示されます。

予約を取り消したいとき

操作開始

1 ◀ ▶ で「取り消す」を選び、決定 を押す

2 ◀ ▶ で「する」を選び、決定 を押す

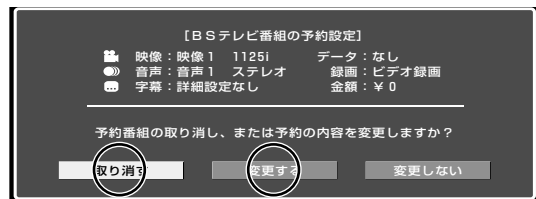
操作終了

実行中の予約録画を解除するには

- リモコンの電源ボタン 電源 を約5秒押しつづけてください。

予約を変更したいとき

操作開始

1 ◀ ▶ で「変更する」を選び、決定 を押す

- 予約選択画面になります。

2 予約操作をやり直す

- **78〜85**ページの操作手順を参照してください。

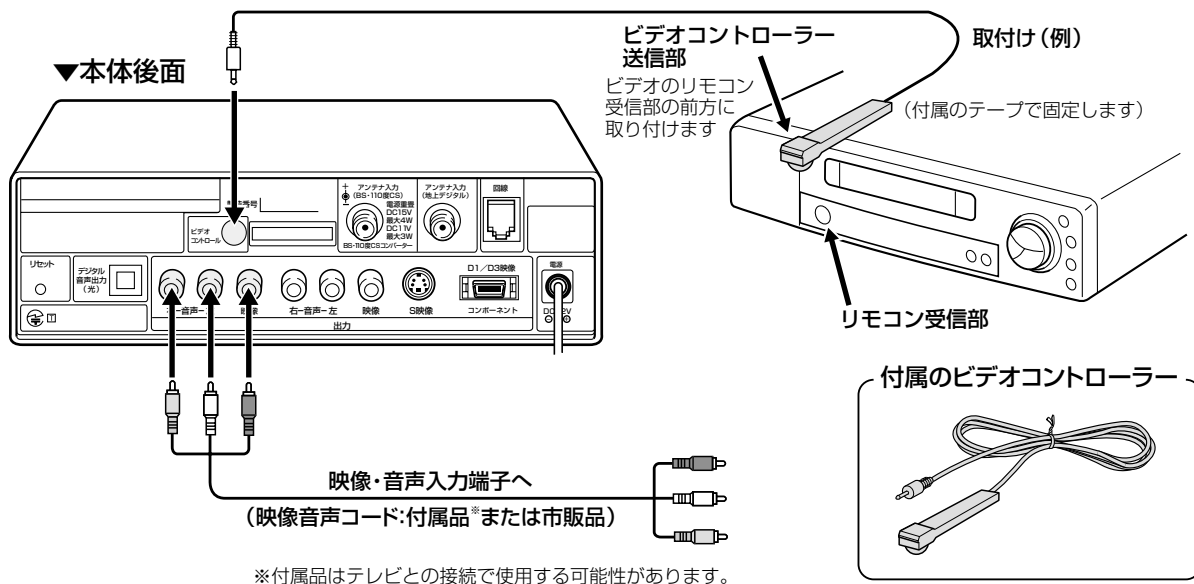
操作終了

ビデオコントローラーを使って予約する

ビデオコントローラーを使って予約する(ビデオ連動録画)

ビデオコントローラーを使うと、予約した時刻にビデオコントローラーからビデオデッキにリモコン信号が送信され、ビデオデッキの電源の入/切や録画の開始/停止を行い、本機の予約機能と連動してデジタル放送の番組を録画(ビデオ連動録画)することができます。この場合、ビデオデッキの予約設定は必要ありません。

※ ビデオデッキの種類によっては、リモコン信号が異なるため動作しない場合があります。そのときは、ビデオコントローラーは使用できません。また、ビデオ内蔵型テレビにも録画できません。

※付属品はテレビとの接続で使用する可能性があります。

機種番号について

■ メーカーにより複数のリモコン信号を採用しており、つぎの機種番号で区分されます。

メーカー	機種番号	メーカー	機種番号
シャープ	1,2,3,4,5,6,7,8	ビクター	1,2,3,4
アイワ	1,2,3,4	日立	1,2,3
NEC	1,2,3,4	フナイ	1
サンヨー	1,2,3,4	松下	1,2,3,4,5,6
ソニー	1,2,3,4,5,6	三菱	1,2,3,4
東芝	1,2,3,4,5,6	パイオニア	1,2,3

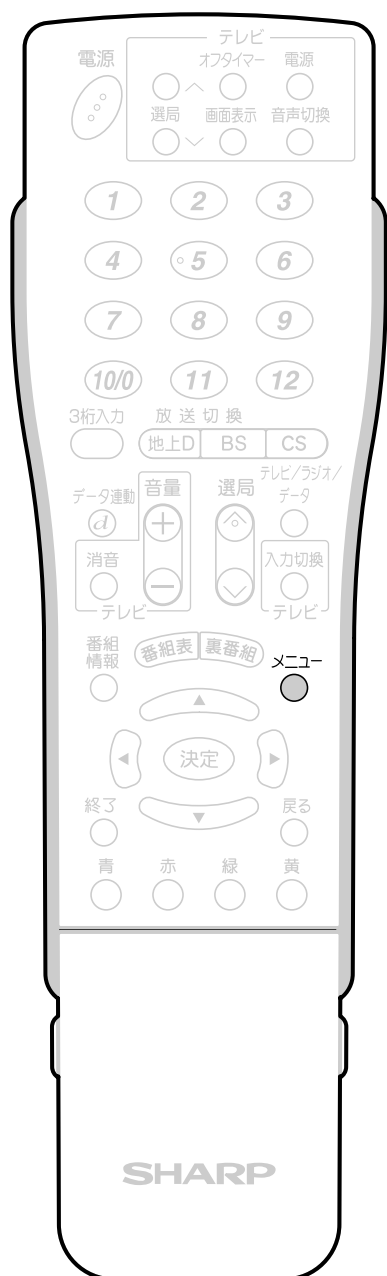
工場出荷時の設定：未設定

ビデオコントローラー取付けの際のご注意

- リモコン受信部の位置は、ビデオデッキの機種やメーカーによって異なります。一般的には、表示部に隣接して丸いものがうすく見えます。
- ビデオコントローラーの発信部が、ビデオデッキのリモコン受信部に、確実に向いていることをご確認ください。
- ビデオコントローラーを取り付けるときは、はじめから任意の位置に固定しないで、**89～91**ページ「**ビデオ連動録画の設定**」のテストでビデオデッキの電源が「入」になる位置を探し、その位置に固定してください。

ビデオコントローラーを使って予約する(つづき)

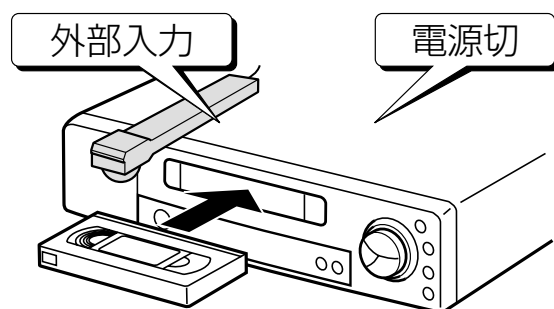
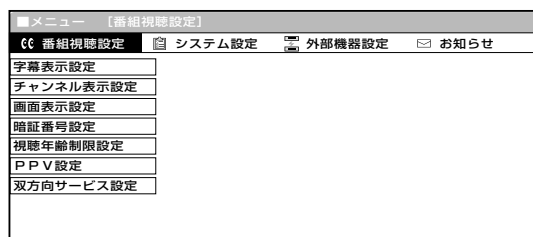
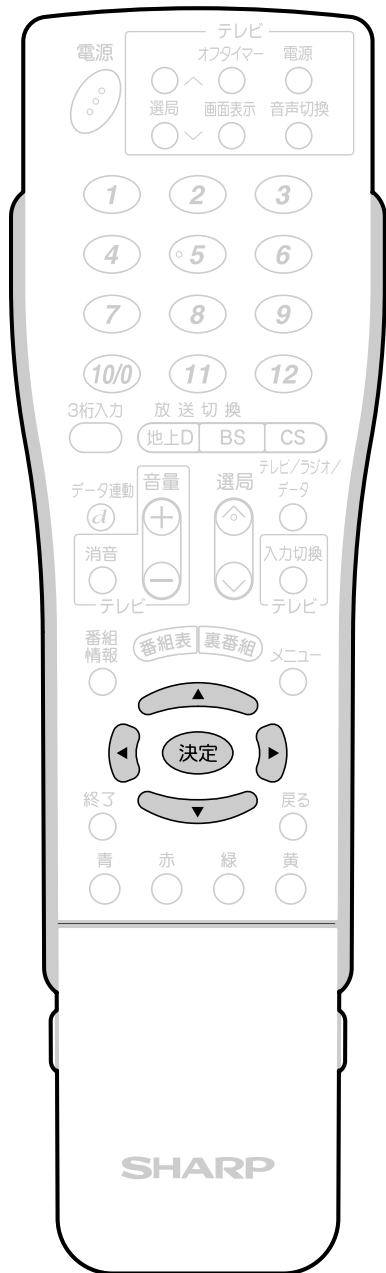
D端子でテレビにつないでいるときの録画に関する注意

■D端子でテレビにつないでいて、ビデオはS映像端子または映像端子を使って録画する場合、テレビで見る画像とビデオの画像の比率が変わる場合があります。
予約録画する前に、必ず試し録りをして、正しく録画されていることを確認してください。

ビデオ連動録画の設定

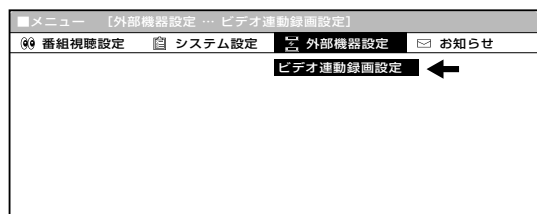
● ビデオ連動録画設定が必要なのは初回のみで、つぎに予約するときは、必要ありません。

操作開始

1 ビデオデッキの準備をする

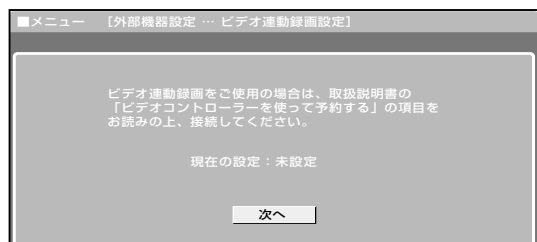
① 本機につなぐ。(**87**ページ参照)
② ビデオコントローラーを取り付ける。(**87**ページ参照)
③ 外部入力に切り換える。
④ 録画用ビデオテープを入れる。
⑤ 電源を「切」にする。

2 メニュー を押し、メニュー画面を表示する

次ページへ

3

① ◀ ▶ で「外部機器設定」を選ぶ

② ▲ ▼ で「ビデオ連動録画設定」を選び、決定 を押す

●「ビデオ連動録画設定」の確認画面が表示されます。

4

① ビデオコントローラーの接続を確認する

② 「次へ」で 決定 を押す

5

お使いのビデオデッキのメーカーを ▲ ▼ ◀ ▶ で選び、決定 を押す

●お使いのビデオデッキのメーカーがない場合は、「ビデオコントローラーに対応していない録画機器をお使いの場合」(**92**ページ)の手順3に進んでください。

次ページへ

ビデオコントローラーを使って予約する(つづき)

6 「テスト実行」で 決定 を押し、テストを開始する

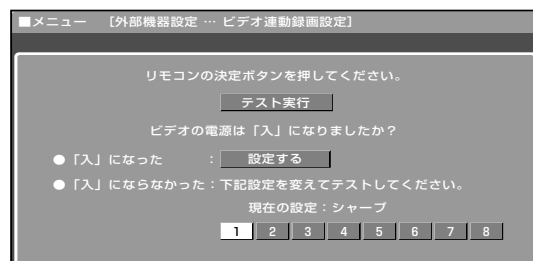
テストの結果

- ビデオデッキの電源が「入」になったとき(正常)
  ⇨ 手順**9**に進みます。
- ビデオデッキの電源が「入」にならなかったとき
  ⇨ ビデオデッキの接続、ビデオコントローラーの取付け、メーカーを確認し、手順**7**に進みます。

7

① ▼ でカーソルを機種番号の欄に移動する

② ◀ ▶ でメーカーの機種番号を選び、決定 を押す

- **87**ページ左下にある「機種番号について」の表を参考に機種番号を選んでください。機種番号が複数あるメーカーの場合は、お使いのビデオデッキが操作できるようになるまで手順**7**、**8**をくり返してください。

- すべての機器番号を試してもビデオデッキの電源が入らない場合は、「ビデオコントローラーに対応していない録画機器をお使いの場合」(**92**ページ)の手順**4**に進んでください。

次ページへ

- ビデオコントローラーの取付け位置が適切でないために、ビデオデッキの電源が「入」にならないことがあります。その場合は、手順**6**～**8**でテストをくり返しながらビデオデッキの電源が「入」になる位置を見つけ、その位置にビデオコントローラーを固定してください。

8 決定 を押し､テストを実行する

9 ① ビデオデッキの電源が「入」になったことを確認する

② 「設定する」で 決定 を押す

●これでビデオ連動録画の設定は完了です。

メニュー または 終了 を押し､通常画面に戻す

設定が終了したら、再度ビデオデッキの電源を「切」にします。

● 予約した時刻になると、ビデオデッキの電源が入り、録画が開始されます。
● 録画予約のしかたについては、**83**〜**85**ページをご覧ください。

●ビデオコントローラーのテストで、どの機種番号を選んでもビデオデッキの電源が「入」にならない場合は、ビデオコントローラーの発信部が、ビデオデッキのリモコン受信部に確実に向いているか、再度ご確認ください。
●ビデオ連動録画設定が必要なのは初回のみで、つぎに予約するときは、必要ありません。

ビデオコントローラーを使って予約する(つづき)

ビデオコントローラーに対応していない録画機器をお使いの場合

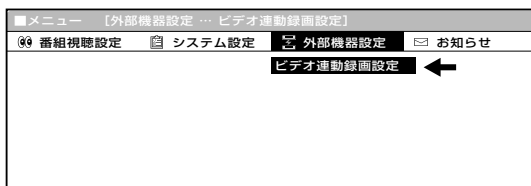
■「ビデオ連動録画の設定」(**88**ページ)でビデオコントローラーが使用できない場合は、以下の方法でビデオ連動設定を完了してください。

操作開始

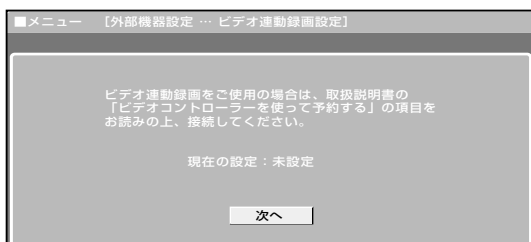
1

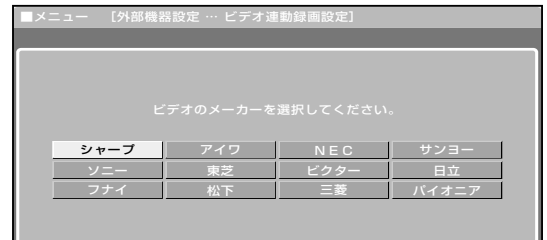
① メニュー **を押し、メニュー画面を表示する**

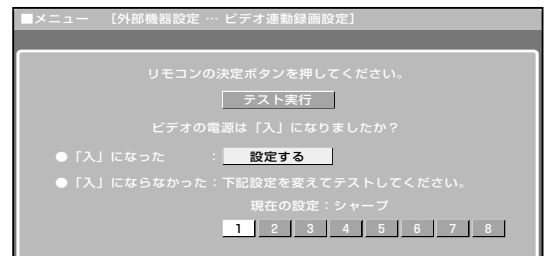
② ◀ ▶ **で「外部機器設定」を選ぶ**

③ ▲ ▼ **で「ビデオ連動録画設定」を選び、** 決定 **を押す**

●「ビデオ連動録画設定」の確認画面が表示されます。

2

「次へ」で 決定 **を押す**

3

で「シャープ」を選ぶ

4

▲ ▼ **で「設定する」を選ぶ**

5

本体の電源を切ってビデオコントローラーを外す

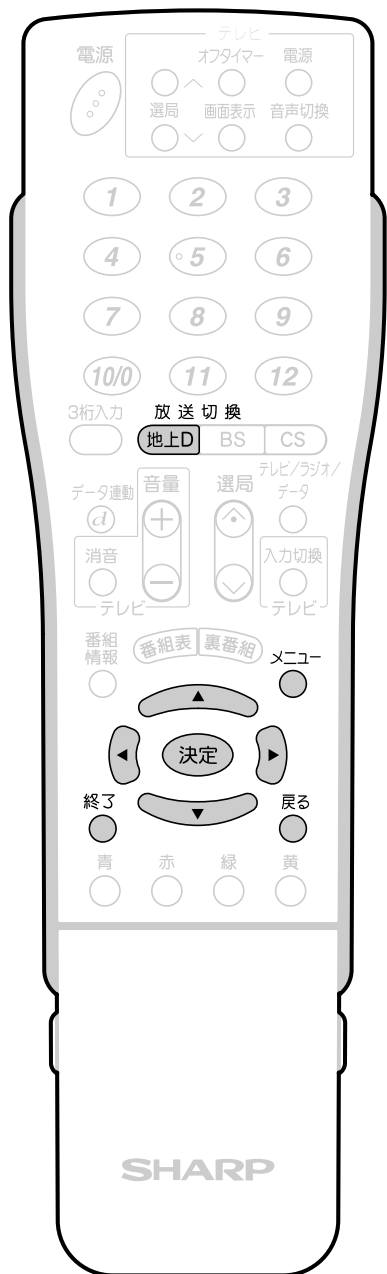
操作終了

いろいろな設定

● この章では、デジタル放送を楽しく、安心してご覧いただくためのいろいろな設定と操作方法について説明しています。

地上デジタル放送のチャンネルを追加設定する

チャンネルを追加設定する

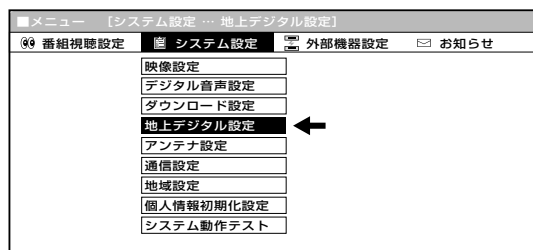
■自動設定(**23**ページ参照)で登録後、新しく開始された放送チャンネルを追加するときに設定します。

B-CASカードは正しい向きに挿入してありますか。正しい向きに入っていないとデジタル放送が受信できません。(**13**ページ参照)

操作開始

1 **地上D を押し、地上デジタル放送を選ぶ**

2 **メニュー を押し、メニュー画面を表示する**

3 **① ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ**

② ▲ ▼ で「地上デジタル設定」を選び、決定 を押す

●地上デジタル設定画面が表示されます。

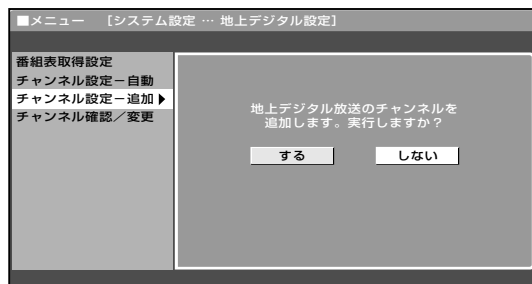
4 **▲ ▼ で「チャンネル設定ー追加」を選び、決定 を押す**

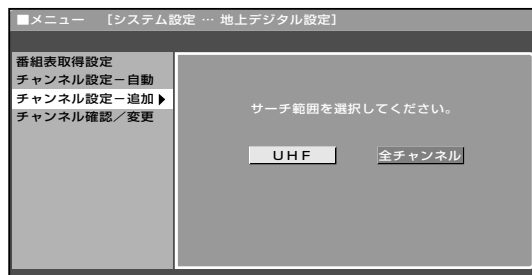
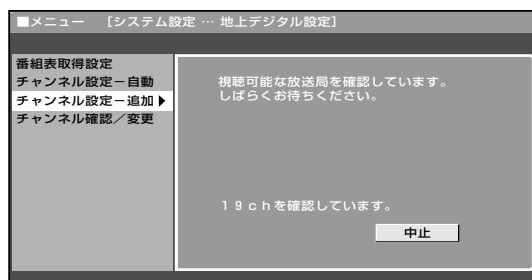
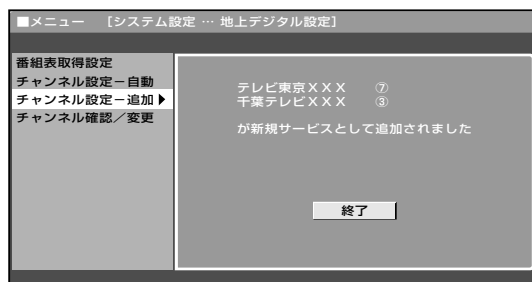
次ページへ

メニュー画面について

- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。
- メニュー画面の表示内容は、変更される場合があります。

5 ◀ ▶ で「する」を選び、(決定) を押す

◀ ▶ でサーチ範囲を選び、(決定) を押す

「UHF」… 通常はこちらを選びます。

「全チャンネル」… CATVパススルー※の場合に選びます。

- 追加設定が開始され、確認中の画面が表示されます。

- 追加設定が終了すると、追加終了の画面が表示されます。

- 1つ前に戻る場合は (戻る) を押してください。

操作終了する場合は ▶

(メニュー) または (終了) を押し、通常画面に戻す

※CATVパススルーとは

- CATV配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままでCATV網に流す放送方式です。この方式では、地上デジタル放送が本来使っているUHF帯のチャンネルとは異なる他チャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。本機で受信できるのは、UHF帯、ミッドバンド(MID)帯、スーパーハイバンド(SHB)帯、およびVHF帯です。（トランスモジュレーション方式には対応していません。）

登録されたチャンネルを確認する

登録されたチャンネルリストを表示する

■チャンネル設定で登録した、放送チャンネルを確認することができます。

メニュー画面について

- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。
- メニュー画面の表示内容は、変更される場合があります。

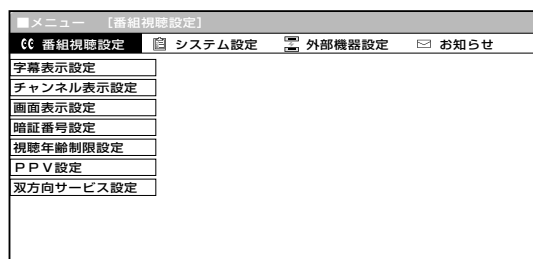
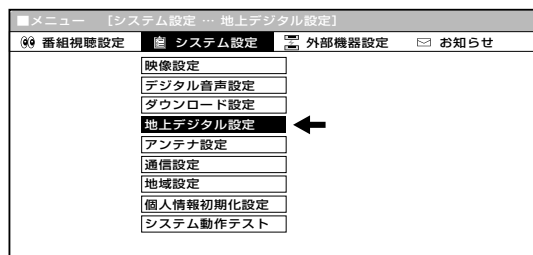
- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は▶

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

操作開始

1 地上D を押し、地上デジタル放送を選ぶ

2 メニュー を押し、メニュー画面を表示する

3 ① ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ
② ▲ ▼ で「地上デジタル設定」を選び、決定 を押す

- 地上デジタル設定画面が表示されます。

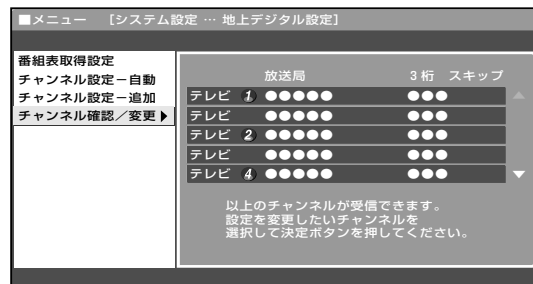
4 ▲ ▼ で「チャンネル確認／変更」を選び、決定 を押す

- 登録された放送チャンネルリストが表示されます。上下カーソルボタンで、放送チャンネルリストをスクロールすることができます。

■メニュー　［システム設定 … 地上デジタル設定］

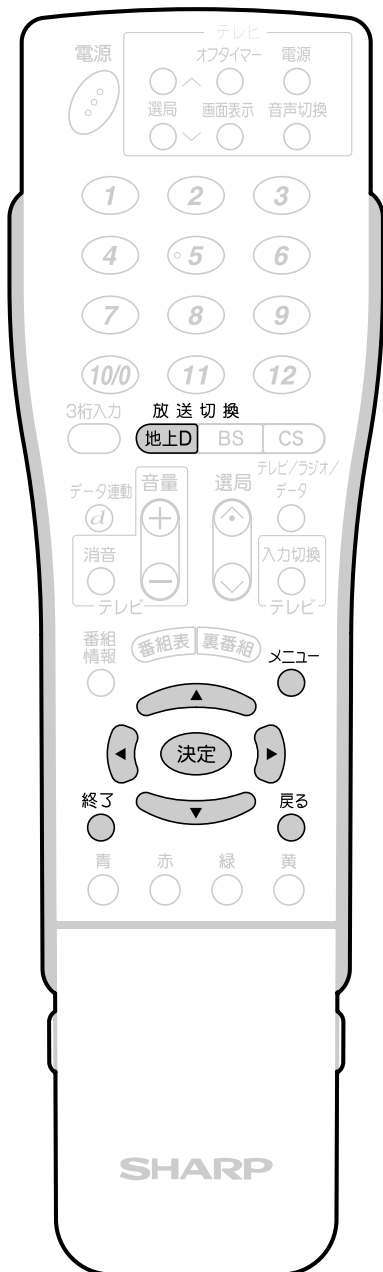
番組表取得設定
チャンネル設定－自動
チャンネル設定－追加
チャンネル確認／変更 ▶

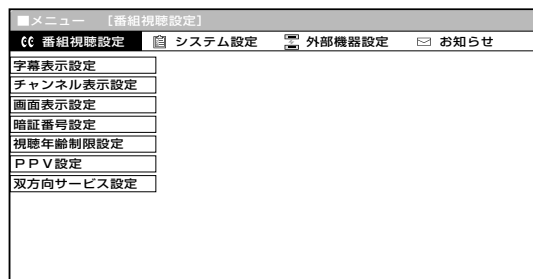
	放送局	3桁　スキップ
テレビ 1	●●●●●	●●●
テレビ	●●●●●	●●●
テレビ 2	●●●●●	●●●
テレビ	●●●●●	●●●
テレビ 4	●●●●●	●●●

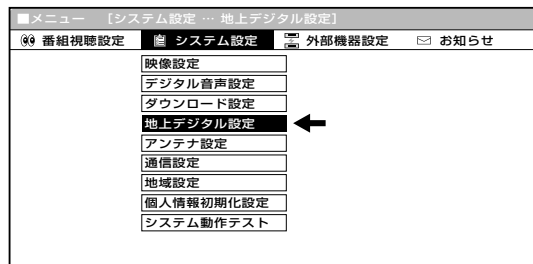
以上のチャンネルが受信できます。
設定を変更したいチャンネルを
選択して決定ボタンを押してください。

登録されたチャンネルの設定内容を変更する

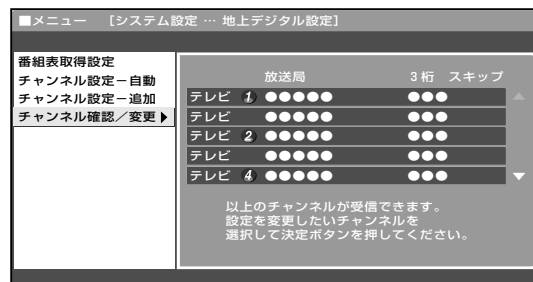
■登録チャンネルの設定内容を変更する項目には、つぎの3つがあります。
「数字ボタン」........登録先のリモコン数字ボタンを変更します。
「枝番」..................チャンネル番号の4桁め(枝番)を変更します。
「スキップ」............選局(∧順／∨逆)ボタンでの選局時に、スキップするかしないかを設定します。

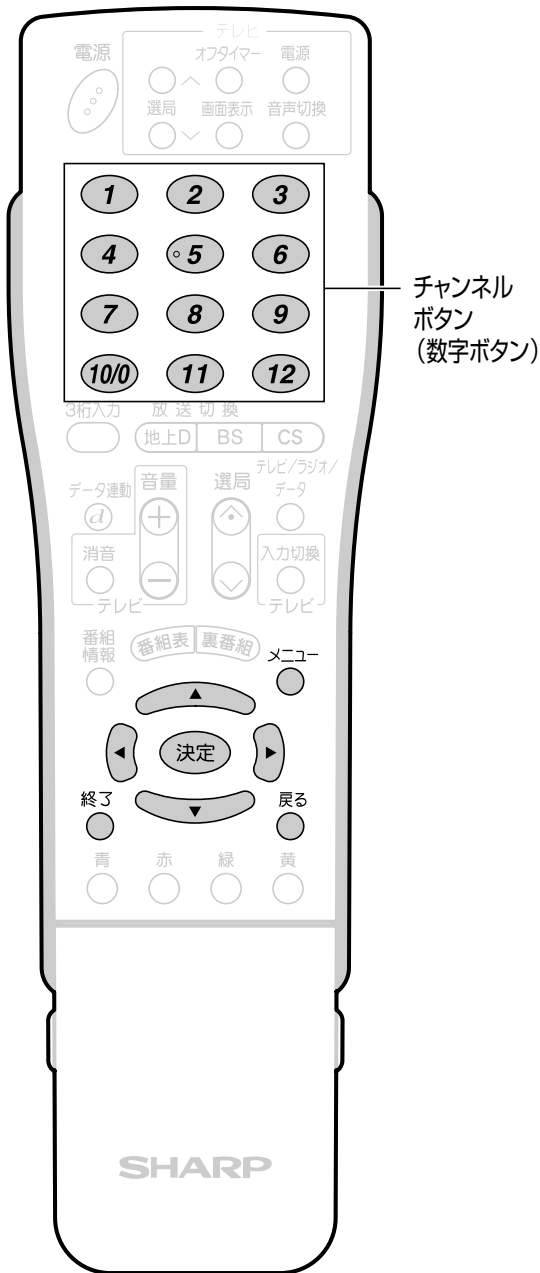
登録先の数字ボタンを変更する

■登録された放送チャンネルの、登録先リモコン数字ボタンを、他の数字ボタンに変更することができます。

操作開始

1 地上D を押し、地上デジタル放送を選ぶ

2 メニュー を押し、メニュー画面を表示する

3 ① ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ
② ▲ ▼ で「地上デジタル設定」を選び、決定 を押す

●地上デジタル設定画面が表示されます。

4 で「チャンネル確認／変更」を選び、決定 を押す

次ページへ

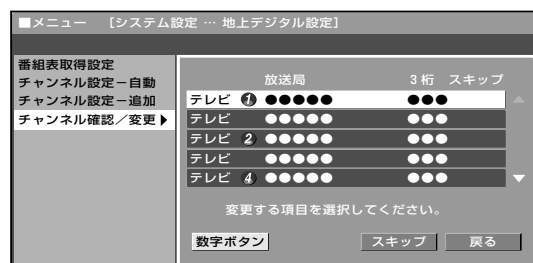
登録されたチャンネルの設定内容を変更する(つづき)

- 手順**7**の後、入力した数字が他チャンネルの数字ボタンと重複している場合は、「数字ボタンが重複しています。置き換えますか?」の確認画面が表示されます。戻るボタンを押してから、置き換える数字を入力して決定ボタンを押してください。
- 手順**6**、**7**、**8**のそれぞれの画面で「戻る」を選んで、決定ボタンを押すと1つ前の画面に戻ります。

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

5 ▲ ▼ で、変更したい放送チャンネルを選び、決定 を押す

6 ◀ ▶ で「数字ボタン」を選び、決定 を押す

- 数字ボタン入力欄が表示されます。

7 変更する数字を、チャンネルボタン(1 〜12)で入力し、決定 を押す

[例] 3に変更する場合、3を押す

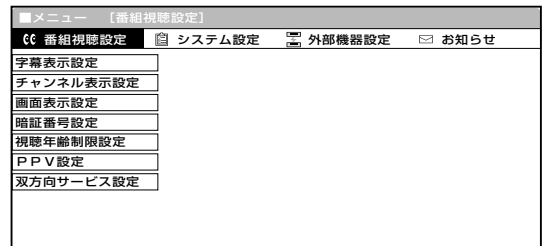
8 ◀ ▶ で「確認」を選び、決定 を押す

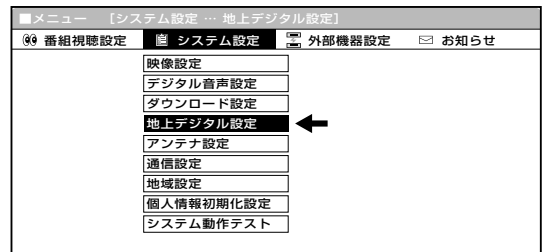
- 放送チャンネルリストの表示が変更されます。

枝番を変更する

■受信された放送局の中で、3桁チャンネル番号が重複している場合は、4桁め(枝番)を変更して区別することができます。

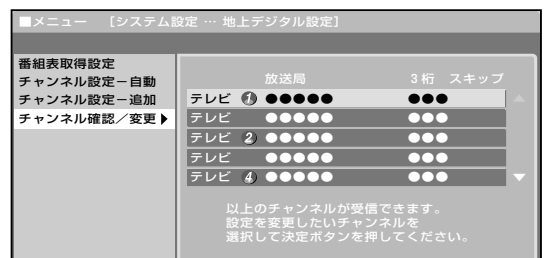
操作開始

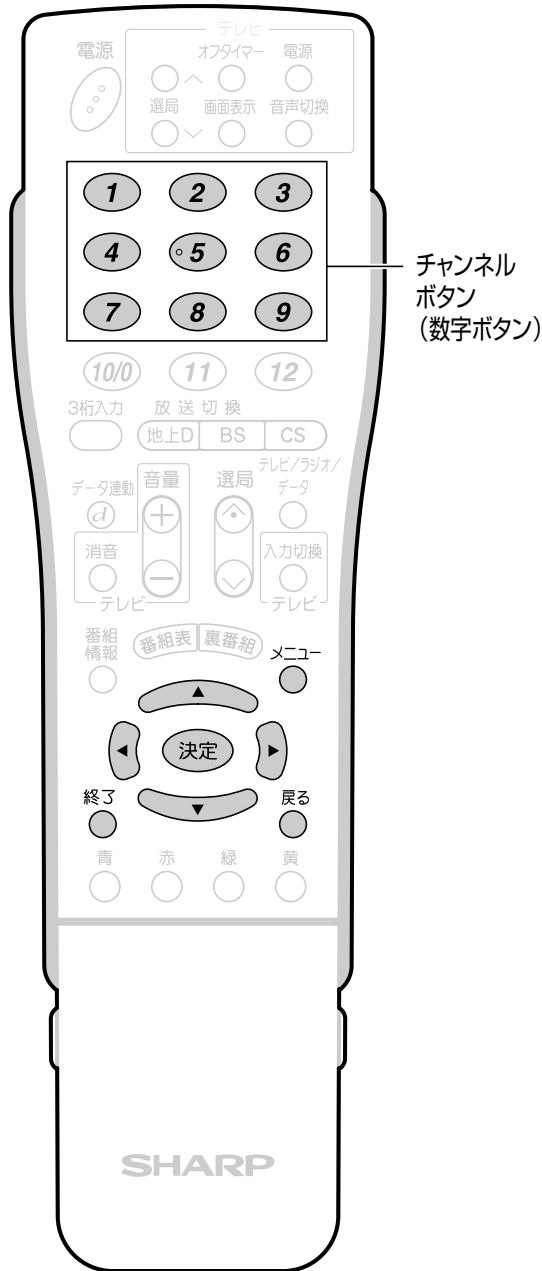
1 地上D を押し、地上デジタル放送を選ぶ

2 メニュー を押し、メニュー画面を表示する

3 ① ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

② ▲ ▼ で「地上デジタル設定」を選び、決定 を押す

●地上デジタル設定画面が表示されます。

4 ① ▲ ▼ で「チャンネル確認／変更」を選び、決定 を押す

② ▲ ▼ で変更したい放送チャンネルを選び、決定 を押す

次ページへ

登録されたチャンネルの設定内容を変更する(つづき)

5 ◀ ▶ で「枝番」を選び、決定 を押す

●枝番入力欄が表示されます。

6 変更する枝番の数字を、数字ボタン(1 ～ 9)で入力し、決定 を押す

[例] 枝番に2を設定する場合、2を押す

7 ◀ ▶ で「確認」を選び、決定 を押す

●チャンネルの枝番が変更されます。

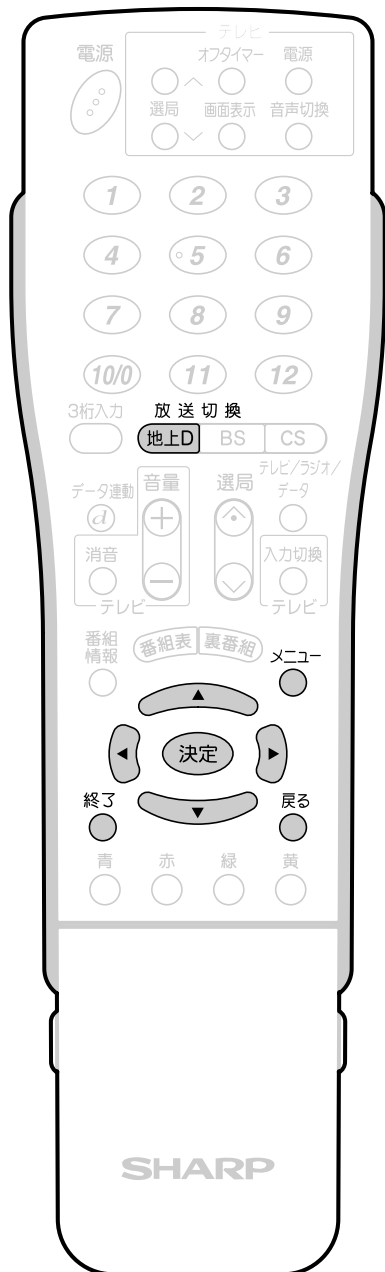
- 手順**6**の後、入力した枝番の数字が他チャンネルの枝番と重複している場合は、「枝番が重複しています。置き換えますか?」の確認画面が表示されます。戻るボタンを押してから、置き換える枝番の数字を入力して決定ボタンを押してください。
- 手順**5**、**6**、**7**のそれぞれの画面で「戻る」を選んで、決定ボタンを押すと1つ前の画面に戻ります。

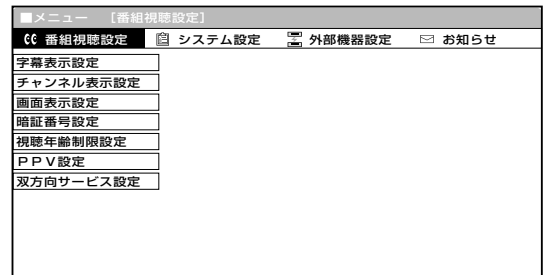
●1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

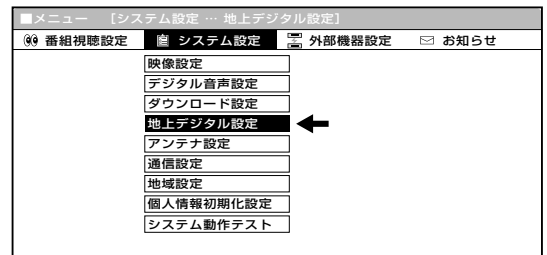
操作終了する場合は ▶

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

視聴しないチャンネルをスキップする

■選局ボタン(∧順／∨逆)でチャンネル選局をしたときに、視聴しない放送チャンネルなどを飛ばして選局するよう、設定することができます。

操作開始

1 地上D を押し、地上デジタル放送を選ぶ

2 メニュー を押し、メニュー画面を表示する

3 ① ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

② ▲ ▼ で「地上デジタル設定」を選び、決定 を押す

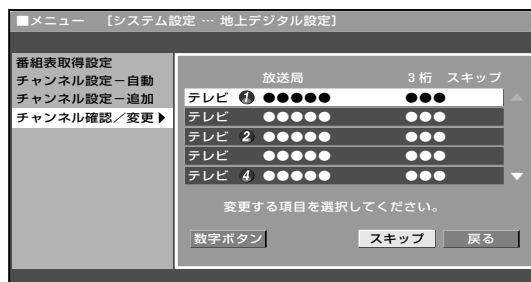
●地上デジタル設定画面が表示されます。

4 ① ▲ ▼ で「チャンネル確認／変更」を選び、決定 を押す

② ▲ ▼ で変更したい放送チャンネルを選び、決定 を押す

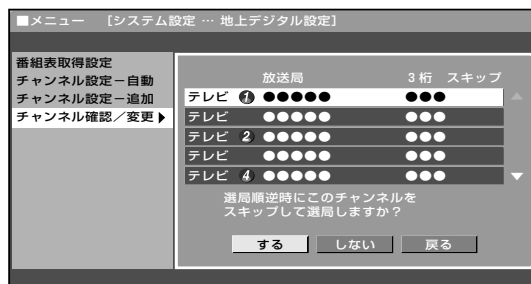
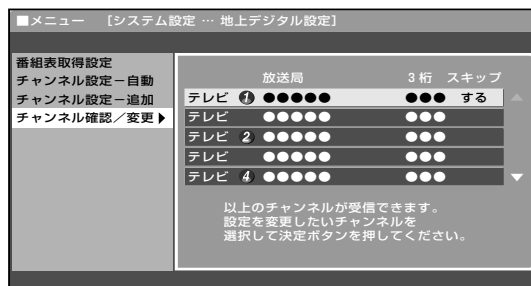
次ページへ

登録されたチャンネルの設定内容を変更する(つづき)

5 ◀ ▶ で「スキップ」を選び、(決定) を押す

●スキップ選択画面が表示されます。

6 ◀ ▶ で「する」を選び、(決定) を押す

●スキップをしないときは、左右カーソルボタンで「しない」を選び、決定ボタンを押します。

7

●放送チャンネルリストのスキップ欄に「する」が表示されます。

●1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

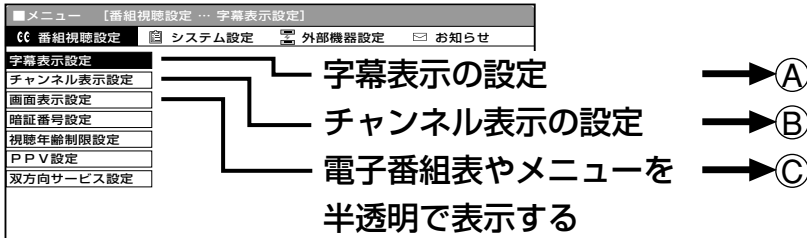
操作終了する場合は ▶

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

放送視聴のためのいろいろな設定

放送視聴のための設定

■字幕のある番組や、画面の切換え時に、字幕、番組タイトルを表示できます。また、メニュー操作や、電子番組表を使うときに背景が見えるように設定することができます。

字幕表示の設定 →Ⓐ
チャンネル表示の設定 →Ⓑ
電子番組表やメニューを半透明で表示する →Ⓒ

→Ⓐ 字幕表示の設定

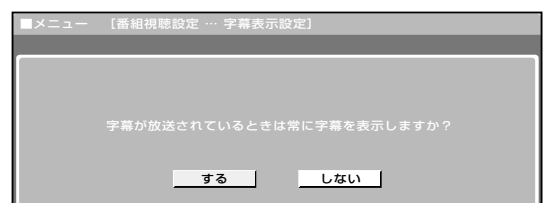
■字幕のある番組で、字幕を表示するかしないかを選択できます。
■工場出荷時の状態では、「しない」に設定されています。

操作開始

1
① メニュー を押し、メニュー画面を表示する
② ◀ ▶ で「番組視聴設定」を選ぶ
③ ▲ ▼ で「字幕表示設定」を選び、決定 を押す

2
◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す

「する」……字幕のある番組では、つねに字幕を表示します。（リモコンの字幕ボタンを押しても、字幕表示を消せません。）
「しない」…リモコンの字幕ボタンで、字幕表示を入／切することができます。

おしらせ

字幕ボタンについて
- 字幕表示設定を「する」にしたとき
  複数の字幕がある番組では、リモコン(フタ内)の字幕ボタンを押すと、字幕を切り換えられます。
- 字幕表示設定を「しない」にしたとき
  字幕のある番組では、リモコン(フタ内)の字幕ボタンを押すと、字幕表示の入／切、および複数の字幕の切換えができます。

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

登録されたチャンネルの設定内容を変更する（つづき）　放送視聴のためのいろいろな設定

いろいろな設定

放送視聴のためのいろいろな設定（つづき）

● 番組情報はしばらくすると自動的に消えます。

→Ⓑ

チャンネル表示の設定

■番組を選んで画面を切り換えたときなどに番組タイトルなどの表示をするかどうかを設定します。

操作開始

1

① メニュー を押し、メニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「チャンネル表示設定」を選び、決定 を押す

2

▲ ▼ で表示のしかたを選び、決定 を押す

（表示例）

「大きく表示」…番組タイトル、チャンネル番号、放送時間などを表示します。

「小さく表示」…チャンネル番号だけを表示します。

「表示しない」…何も表示しません。（ビデオ連動予約時に、チャンネル表示を録画したくない場合などに選びます。）

● 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

→Ⓒ

電子番組表やメニューを半透明で表示する

■背景の映像を見ながらメニュー操作をしたいときや、電子番組表などを半透明で表示させることができます。

操作開始

1

① メニュー を押し、メニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「画面表示設定」を選び、決定 を押す

2

◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す

「する」……デジタルメニューや電子番組表を半透明で表示します。背景の映像を確認しながら操作できます。

「しない」…半透明で表示しません。画面表示をはっきりと見ることができます。

●1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

安心して使うための設定

暗証番号について

本機は、視聴する人の年齢制限や視聴料金の制限など、各種の制限を設けることができます。
これらの制限を通過するときやPPV番組などを購入するときに暗証番号を使います。

暗証番号を設定する

■暗証番号の設定および変更の手順を説明します。
暗証番号は、必ず4桁の数字を入力します。

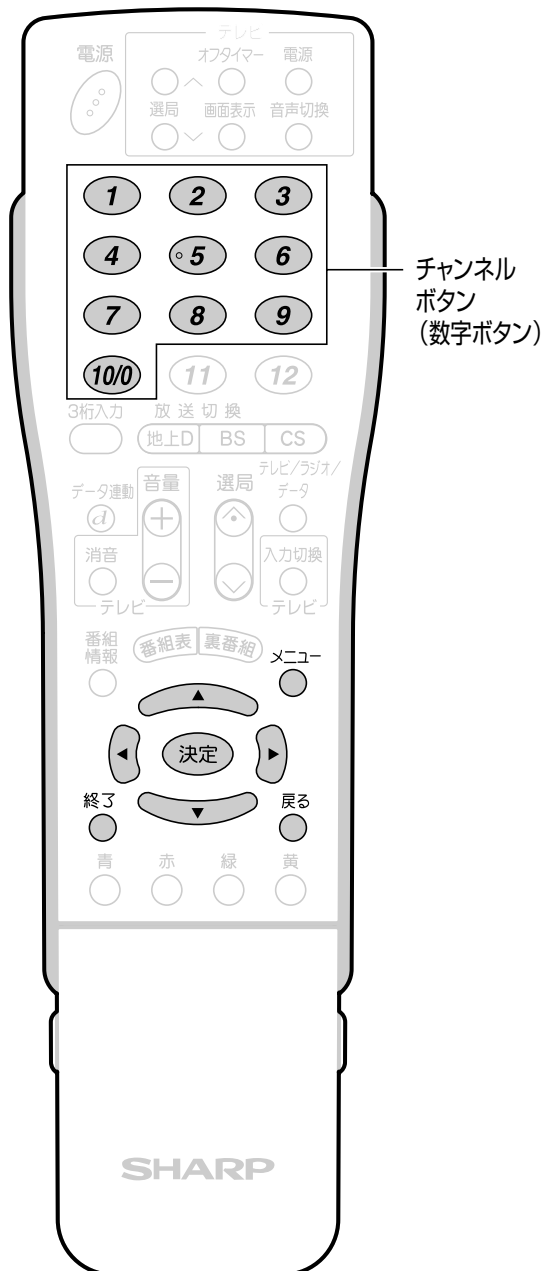
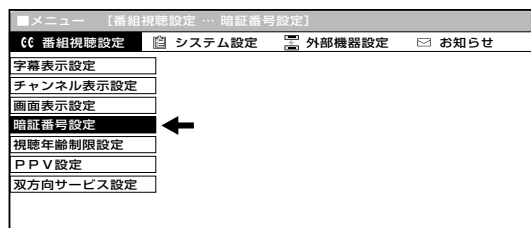
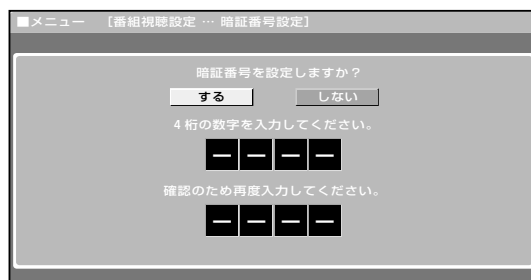
操作開始

1

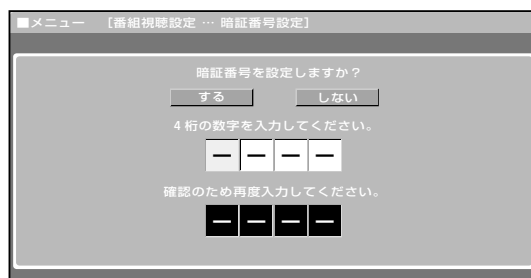
① メニュー を押し、メニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「暗証番号設定」を選び、決定 を押す

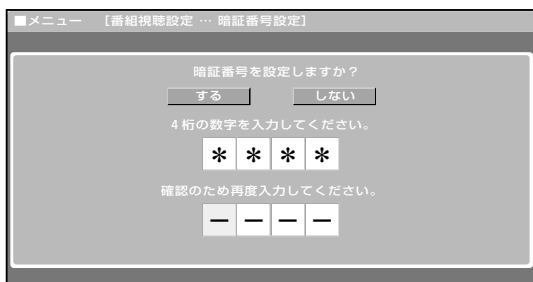
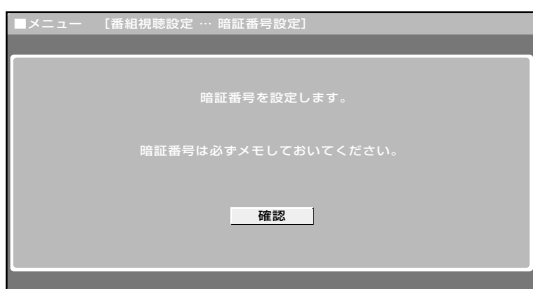
2

◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す

「する」……暗証番号の設定（手順3）に進みます。
「しない」…暗証番号の設定や変更をせずに終了します。

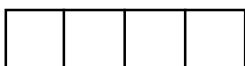
3

数字ボタン（1～10/0）で、暗証番号を入力する

●左カーソルボタンを押すと、入力した数字を1桁ずつ削除することができます。

次ページへ

4 確認のため、再度同じ番号を数字ボタン(1〜10/0)で入力する

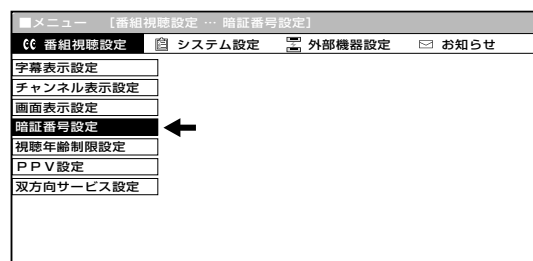
●間違った番号を入力した場合は、手順3からやり直しになります。

5 ① 暗証番号をメモする
② 「確認」で 決定 を押す

●これで暗証番号の設定は完了です。

●暗証番号は必ずメモしてください。

暗証番号を忘れたときは

●受信契約されている、有料放送の放送局(WOWOWやスターチャンネルなど)までご連絡ください。放送局で前の暗証番号を消去します。暗証番号の消去には手数料がかかります。(2005年12月現在)

暗証番号を変更するとき

操作開始

1 ① メニュー を押し、メニュー画面を表示する
② ◀ ▶ で「番組視聴設定」を選ぶ
③ ▲ ▼ で「暗証番号設定」を選び、決定 を押す

●暗証番号入力画面が表示されます。

2 数字ボタン(1〜10/0)で、現在の暗証番号を入力する

●暗証番号を入力すると、**106**ページ「**暗証番号を設定する**」の手順**2**の画面になります。暗証番号を設定するときと同じ要領で設定し直してください。

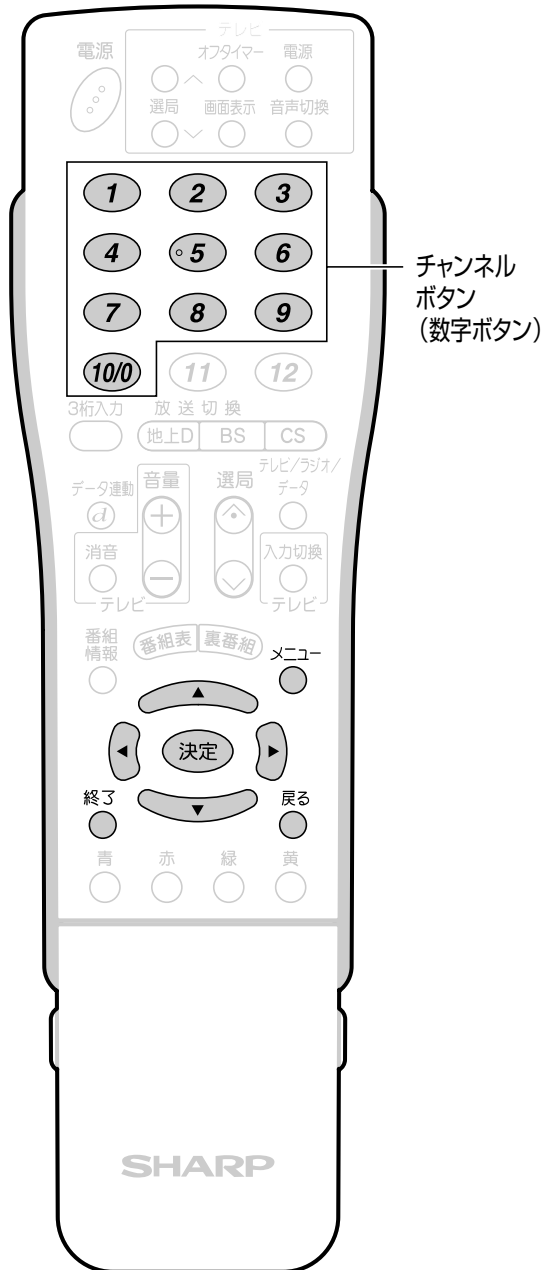
●1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

安心して使うための設定(つづき)

視聴年齢制限を設定する

■年齢制限のある番組の視聴を制限することができます。なお、年齢制限は4～20歳の範囲で設定できます。この設定をするためには、あらかじめ、暗証番号の設定(**106**ページ)が必要です。

チャンネルボタン(数字ボタン)

●1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

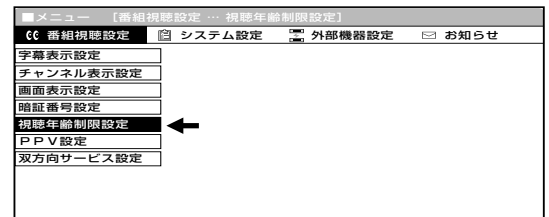
操作開始

1

① メニュー を押し、メニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「番組視聴設定」を選ぶ

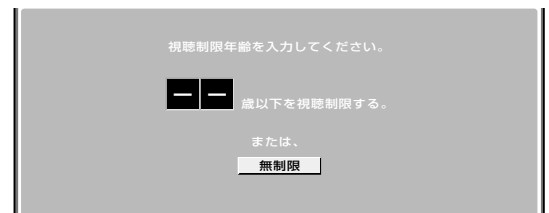
③ ▲ ▼ で「視聴年齢制限設定」を選び、決定 を押す

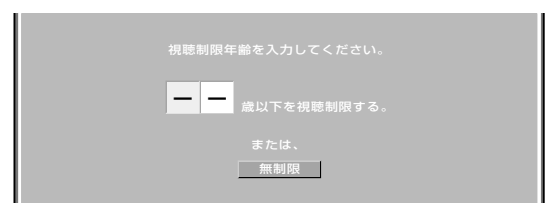
2

数字ボタン(1～10/0)で暗証番号を入力する

●視聴年齢制限設定画面が表示されます。

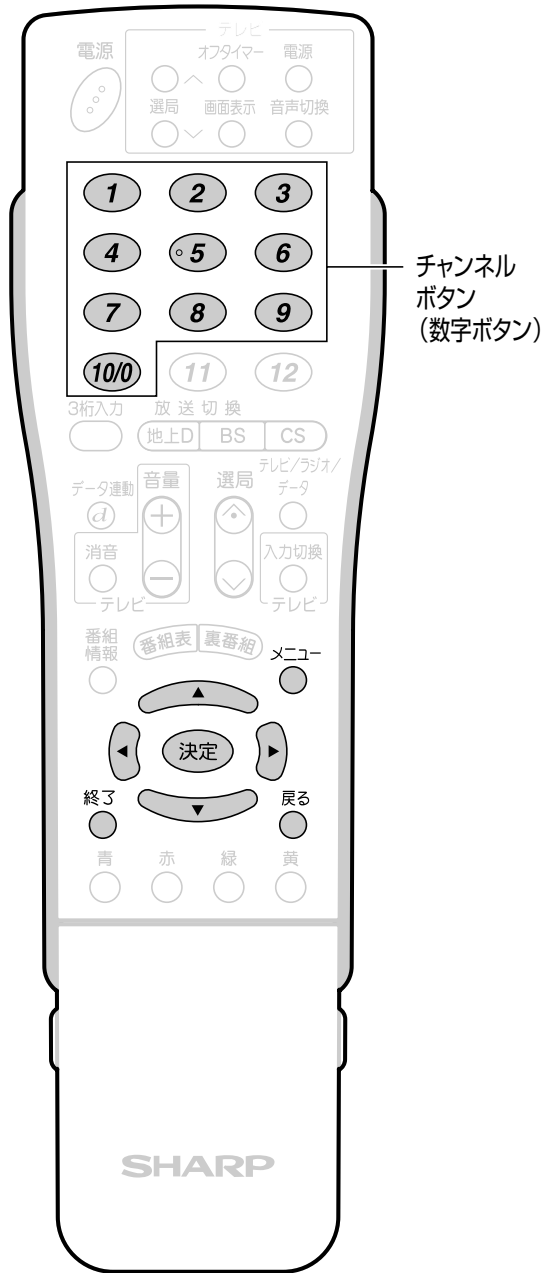
3

▲ ▼ で年齢の入力欄を選ぶ

視聴制限年齢を入力してください。
歳以下を視聴制限する。
または、
無制限

4

制限する年齢を数字ボタン(1～10/0)で入力し、決定 を押す

●年齢制限を設けない場合は、「無制限」を選んで決定ボタンを押します。

PPV制限を設定する

■暗証番号を入力しないとPPV番組を購入できないように設定できます。この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定(**106**ページ)をしておくことが必要です。

● 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

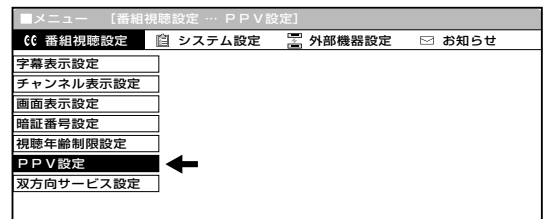
操作終了する場合は ▶

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

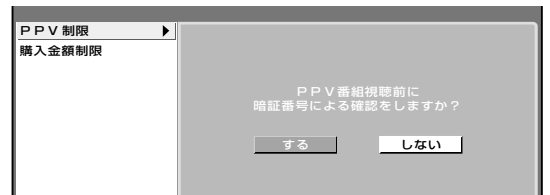
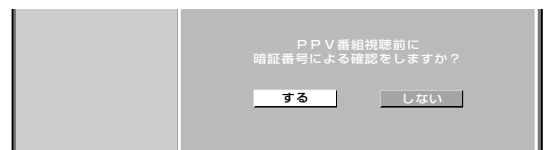
操作開始

1 ① メニュー **を押し、メニュー画面を表示する**

② ◀ ▶ **で「番組視聴設定」を選ぶ**

③ ▲ ▼ **で「PPV設定」を選び、** 決定 **を押す**

2 **数字ボタン(1〜10/0)で暗証番号を入力する**

● PPV設定画面が表示されます。

3 ▲ ▼ **で「PPV制限」を選び、** 決定 **を押す**

4 ◀ ▶ **で「する」または「しない」を選び、** 決定 **を押す**

「する」……PPV番組の購入前に、暗証番号の入力が必要になります。

「しない」…PPV番組の購入前に、暗証番号の入力は必要ありません。

安心して使うための設定(つづき)

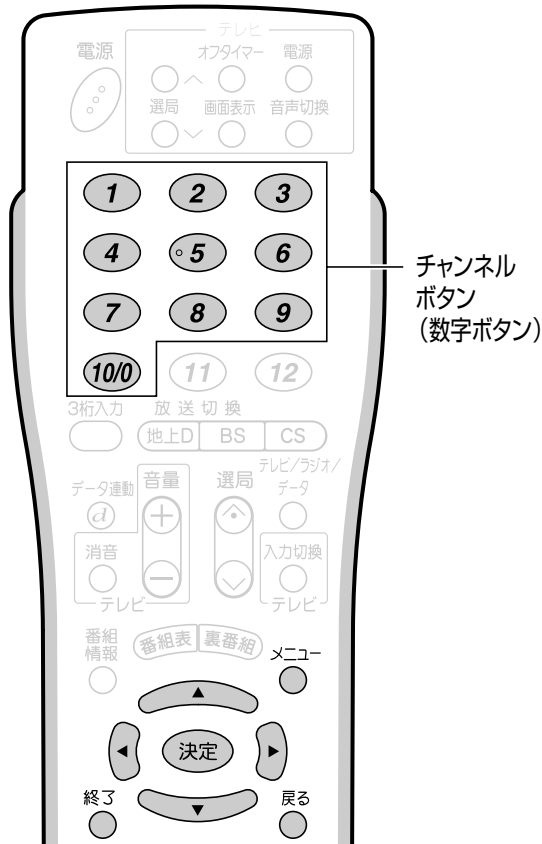
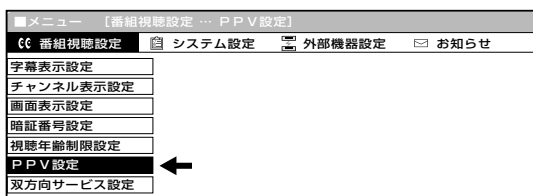
購入金額制限を設定する

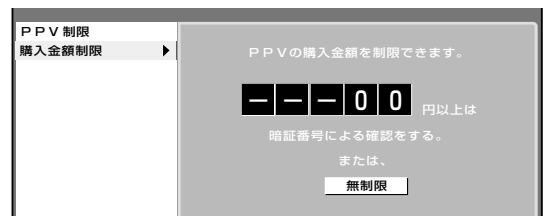
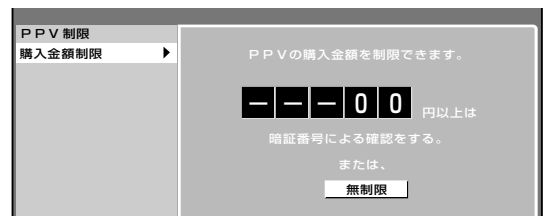
■PPV番組の購入金額を制限します。設定した以上の金額の番組を購入するときは、暗証番号の入力が必要になります。この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定(**106**ページ)をしておくことが必要です。

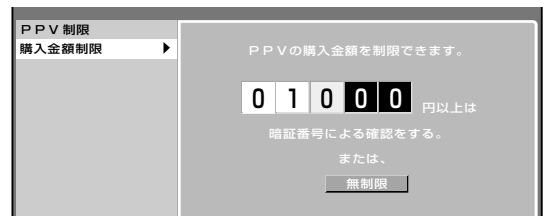
操作開始

1 ① メニュー を押し、メニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「PPV設定」を選び、決定 を押す

2 **数字ボタン(1～10/0)で暗証番号を入力する**

3 **▲ ▼ で「購入金額制限」を選び、決定 を押す**

4 **▲ ▼ で購入金額の入力欄を選ぶ**

5 **購入金額の上限を数字ボタン(1～10/0)で入力し、決定 を押す**

[例] 1,000円のとき

●購入金額の制限を設けない場合は、「無制限」を選んで決定ボタンを押します。

●1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

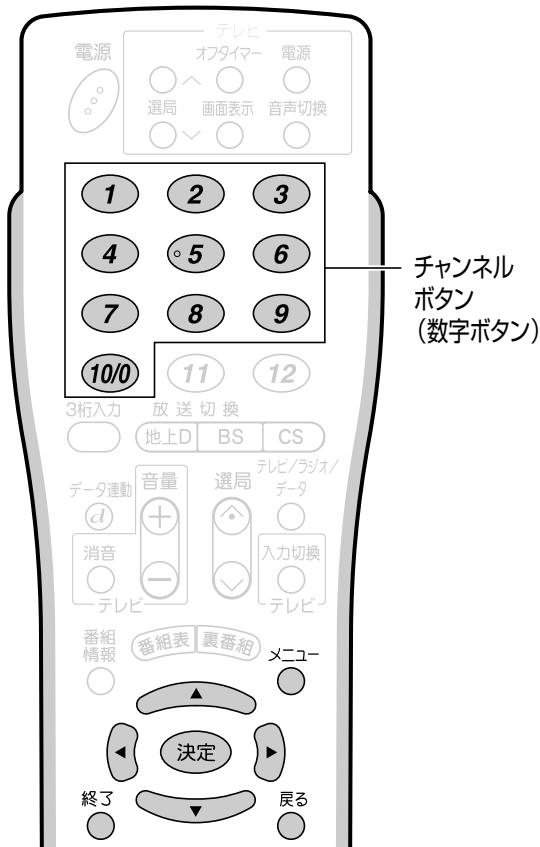
操作終了する場合は ▶

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

双方向サービスの利用を制限する

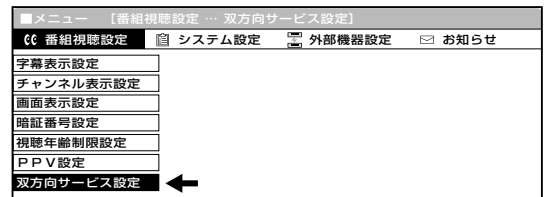
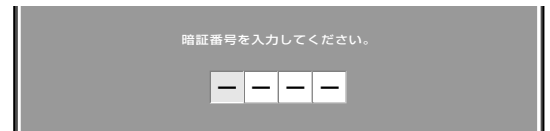
■双方向サービスのデータ送受信には、電話回線の利用料金がかかります。使用を制限するために、電話回線接続をするかしないかの設定ができます。設定には暗証番号の入力が必要です。
この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定（**106**ページ）をしておくことが必要です。

操作開始

1

① メニュー を押し、メニュー画面を表示する

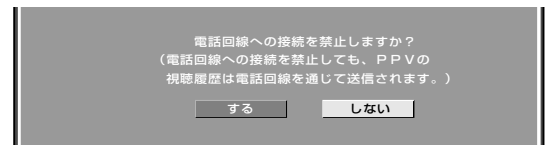
② ◀ ▶ で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「双方向サービス設定」を選び、決定 を押す

2

数字ボタン（1～10/0）で暗証番号を入力する

●双方向サービス設定画面が表示されます。

3

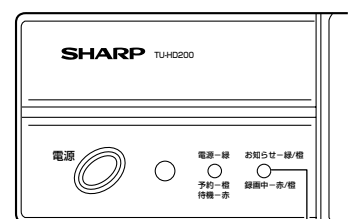
◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す

「する」……. 電話回線への接続を禁止します。
「しない」… 電話回線への接続を禁止しません。

●1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶ メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

お知らせ/録画中ランプが点滅中のとき

お知らせ/録画中ランプが点滅中のときは電話回線が使用中です。
本機は、デジタル放送の双方向番組への参加や有料放送の受信情報の管理のために、放送局との通信を、電話回線を使って通信しています。

- 本機が電話回線を使って通信している間は、電話機を使用しないでください。
  通信中に電話をかけると、通信が切断されることがあります。
  通信中はデータ通信音（ピーヒョロヒョロ….）が聞こえます。その間は電話をしないでください。
- 通信中に電話がかかってきますと、話中になります。
- 本機が電話回線を使って通信中に、緊急で電話を使用するときは、本機の電源スイッチを切ってください。

お知らせ/録画中ランプ

プロバイダ設定

■すでに契約しているプロバイダを使って、地上デジタル放送の双方向サービスで双方向通信を利用する場合に必要な設定です。

操作開始

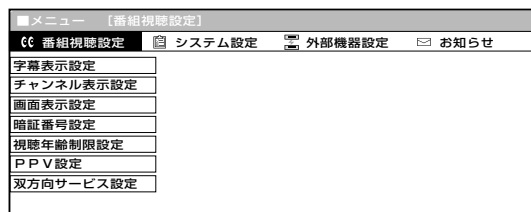
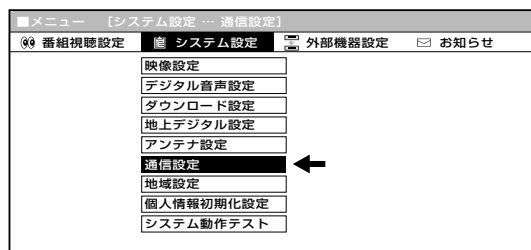
1 地上D を押し、地上デジタル放送を選ぶ

2

① メニュー を押し、メニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「通信設定」を選び、決定 を押す

3

① ▲ ▼ で「プロバイダ設定」を選び、決定 を押す

●プロバイダ設定画面が表示されます。

② 「次へ」で 決定 を押す

■メニュー　［システム設定 … 通信設定］

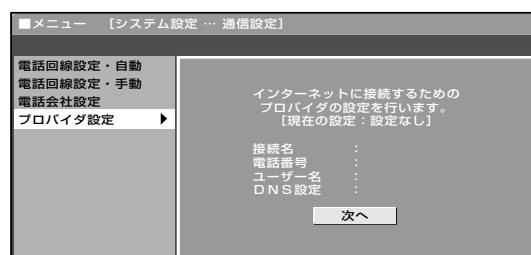
電話回線設定・自動
電話回線設定・手動
電話会社設定
プロバイダ設定

インターネットに接続するための
プロバイダの設定を行います。
［現在の設定：設定なし］

接続名　：
電話番号　：
ユーザー名　：
ＤＮＳ設定　：

次へ

次ページへ

おしらせ

メニュー画面について

●メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

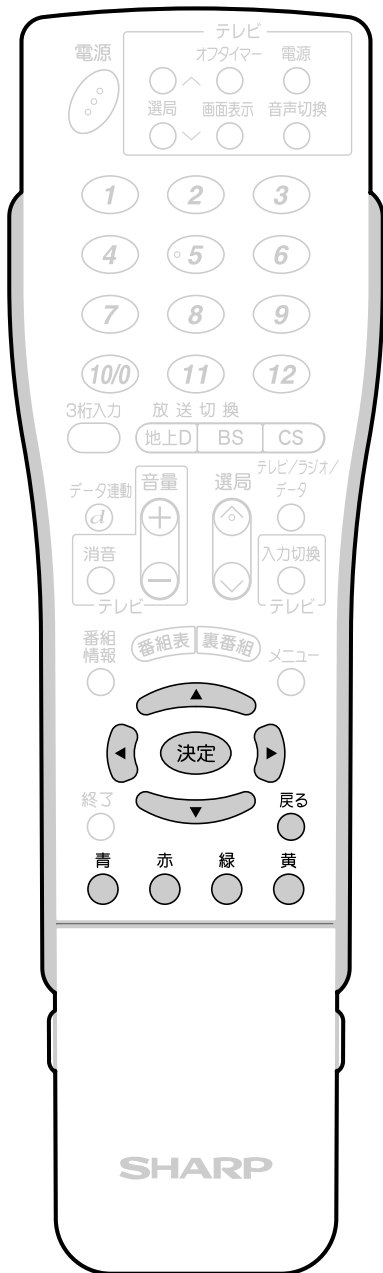
「接続名」について

- 通常は、契約しているプロバイダの業者名を入力します。

「電話番号」について

- 契約しているプロバイダのアクセスポイントの電話番号を入力します。

「ユーザー名」「パスワード」について

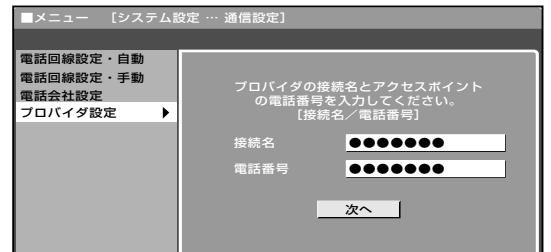
- プロバイダと契約した際に提供されたものを入力します。

- ソフトウェアキーボードについて詳しくは、**119**ページをご覧ください。

4

① 決定 を押してソフトウェアキーボードを表示し、接続名を入力する

- カーソルが「電話番号」の欄に移動します。

② 決定 を押してソフトウェアキーボードを表示し、電話番号を入力する

③ 「次へ」で 決定 を押す

5

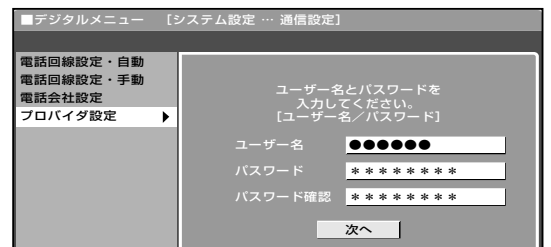
① 決定 を押してソフトウェアキーボードを表示し、ユーザー名を入力する

- カーソルが「パスワード」の欄に移動します。

② 決定 を押してソフトウェアキーボードを表示し、パスワードを入力する

- カーソルが「パスワード確認」の欄に移動します。

③ 決定 を押してソフトウェアキーボードを表示し、同じパスワードを入力する

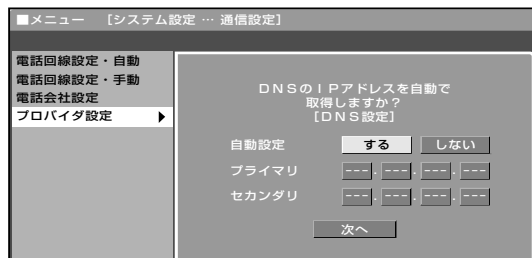
④ 「次へ」で 決定 を押す

次ページへ

プロバイダ設定(つづき)

「IPアドレス」について

自動設定「しない」を選んだ場合

- プロバイダと契約した際に提供されたものを入力します。
  データのやりとりに使われる、3桁の数字4つで表された番号です。
  「プライマリ」：1番目の番号
  「セカンダリ」：2番目の番号

6 ◀ ▶ **で「する」または「しない」を選び、決定 を押す**

- 「する」を選んだ場合は、「次へ」で決定ボタンを押します。手順**8**に進んでください。
- 「しない」を選んだ場合は、DNSのIPアドレスを入力します。手順**7**に進んでください。

7

① 決定 を押し、ソフトウェアキーボードを表示する

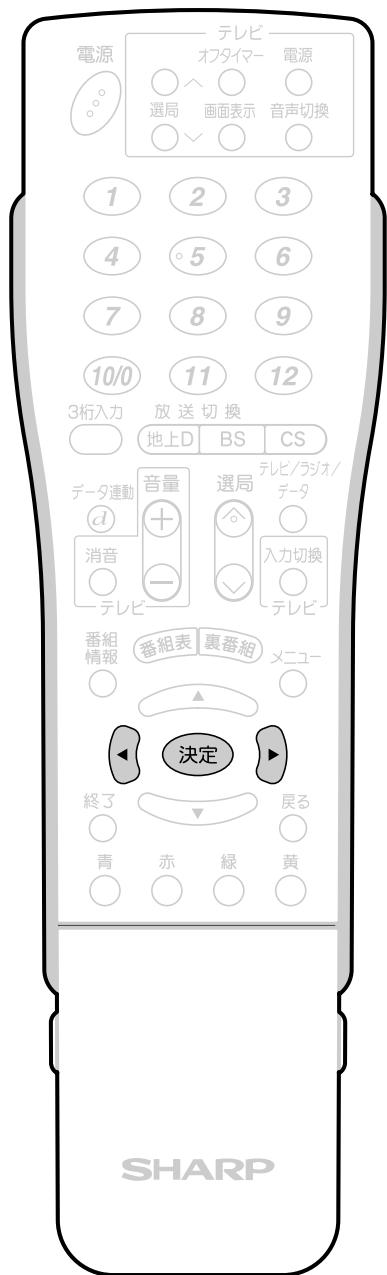
② ソフトウェアキーボードで、DNSのIPアドレスの「プライマリ」を入力する

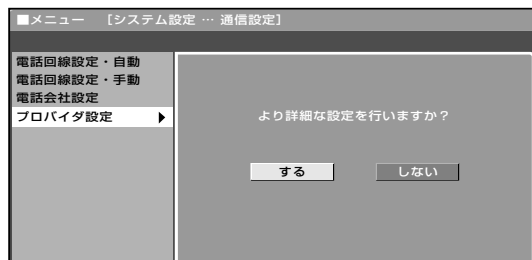
- ①、②をくり返し、各入力欄に数字を入力します。

③ プライマリと同様に、DNSのIPアドレスの「セカンダリ」を入力する

④ 「次へ」で 決定 を押す

次ページへ

- ソフトウェアキーボードについて詳しくは、**119**ページをご覧ください。

詳細な設定をする

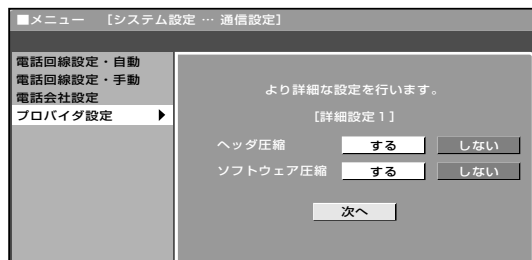
8 **◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す**

- 「する」を選んだ場合は、詳細設定画面が表示されます。
  手順**9**に進んでください。
- 「しない」を選んだ場合は、設定を終了してプロバイダ設定画面に戻ります。手順**12**に進んでください。

■通信速度を向上させるか、させないかの設定です。
契約しているプロバイダがこれに対応していない場合は、「しない」に設定してください。

9

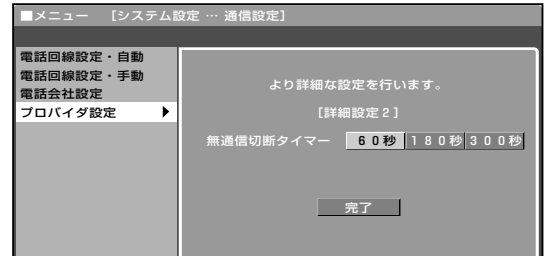
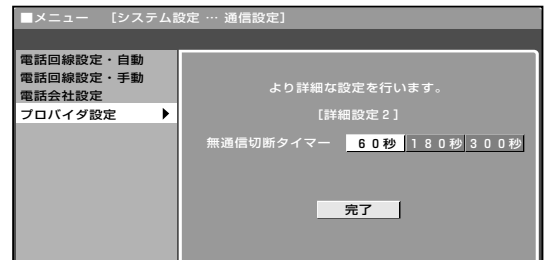
① ◀ ▶ でヘッダ圧縮を「する」または「しない」を選び、決定 を押す

② ◀ ▶ でソフトウェア圧縮を「する」または「しない」を選び、決定 を押す

③ 「次へ」で 決定 を押す

次ページへ

プロバイダ設定(つづき)

■回線を切断する時間の設定です。その時間に通信がなければ、回線を切断します。

10 ◀ ▶ で「60秒」「180秒」「300秒」のいずれかを選び、決定 を押す

11 「完了」で 決定 を押す

12 メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

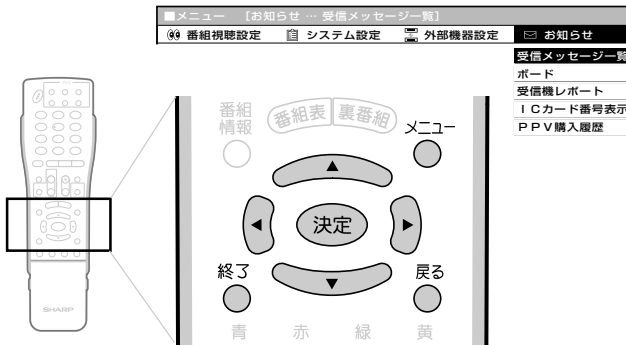
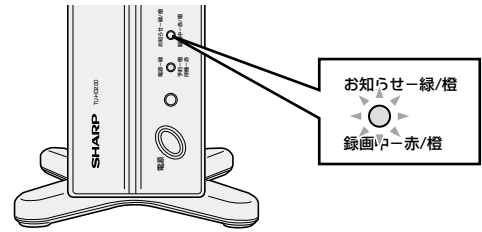
- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

お知らせを見る

お知らせについて

■受信契約した放送局から視聴者に向けて発信されるメッセージを見たり、有料放送に関するレポートやB-CASカード番号などを確認することができます。

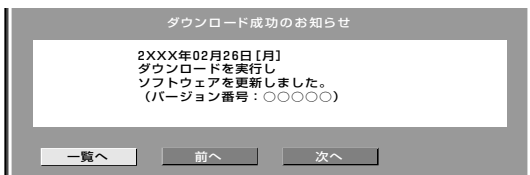
お知らせランプについて

●放送局から送られてきたメッセージを受信すると、本体前面のお知らせランプが緑または橙色に点灯します。

→Ⓐ 受信メッセージを見る

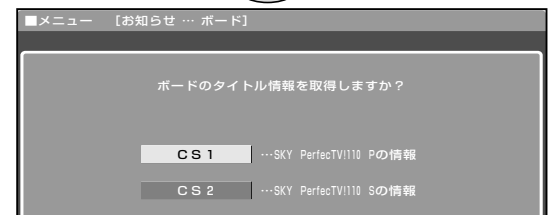
■受信契約した放送局から発信されるメッセージを見ることができます。常時更新されていますので、定期的にメッセージをお読みください。

1 見たいメッセージを ▲ ▼ で選び、決定 を押す

［例］「ダウンロード成功のお知らせ」を見る

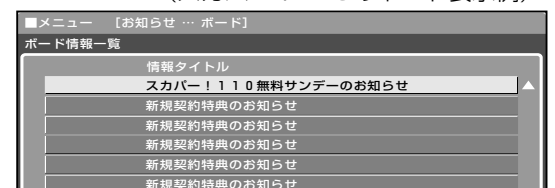
2 ① メッセージの内容を確認する
② 「一覧へ」「前へ」「次へ」のいずれかを ◀ ▶ で選び、決定 を押す

→Ⓑ ボードを表示して情報を見る

■送られている、CS各ネットワークの掲示板（ボード情報）のタイトル一覧を表示して、ご覧になりたいタイトルを選び、メッセージを表示することができます。

1 表示したいネットワークを ▲ ▼ で選び、決定 を押す

●選んだネットワークのボードが表示されます。

2 見たい情報のタイトルを ▲ ▼ で選び、決定 を押す

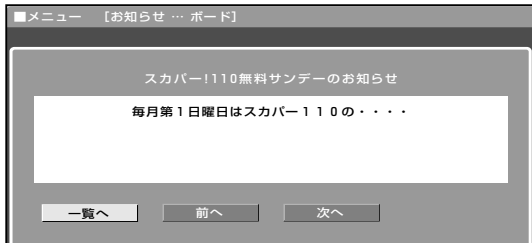
（スカパー！110のボード表示例）

次ページへ

●1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶ メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

お知らせを見る(つづき)

3 ① **メッセージの内容を確認する**

② **「一覧へ」「前へ」「次へ」のいずれかを ◀ ▶ で選び、決定 を押す**

- ボード情報は、そのとき放送で送られているものを表示しますので、消去はできません。

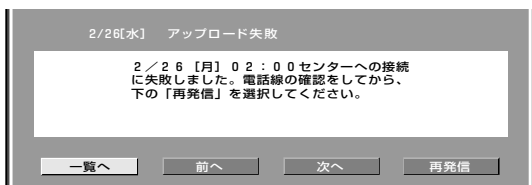
→Ⓒ 受信機レポートを見る

■ 予約の失敗や変更に関するレポートやB-CASカードに関する情報、課金情報のアップロード(視聴履歴の送信)に失敗したときなど、受信機に関係したレポートを表示します。

1 **見たいレポートを ▲ ▼ で選び、決定 を押す**

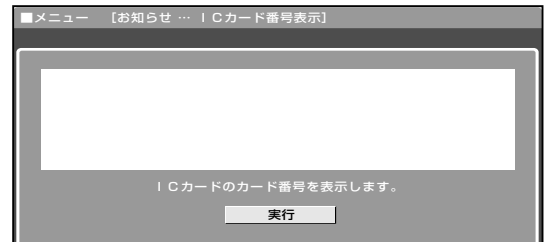
［例］「アップロード失敗」のレポートを見る

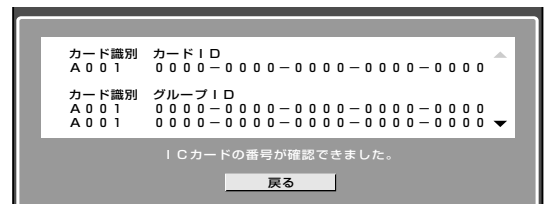
2 ① **レポートの内容を確認する**

② **「一覧へ」「前へ」「次へ」「再発信」のいずれかを ◀ ▶ で選び、決定 を押す**

- アップロードに失敗したときは、「再発信」を選んで決定ボタンを押すと、アップロードし直すことができます。

→Ⓓ B-CASカード番号を見る

■ 受信機レポートで報告された不具合に関して、放送事業者のカスタマーセンターに連絡されるときに、お客さまの契約確認のためB-CASカードの番号を表示するものです。

1 **「実行」で 決定 を押し、ICカード番号表示を実行する**

2 ① **カード番号を確認する**

② **確認後、「戻る」で 決定 を押す**

カード識別…メーカー識別用のアルファベット1文字と3桁の数字からなります。

カードID……カード固有の番号です。

→Ⓔ PPV購入履歴を見る

■ 購入した最新24個のPPV番組の購入日時、チャンネル、番組名、購入金額を画面に表示して確認することができます。

① **画面を確認する**

② **確認後、「戻る」で 決定 を押す**

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶ **メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す**

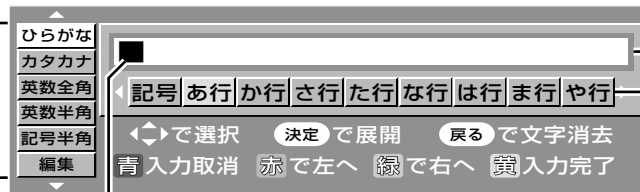
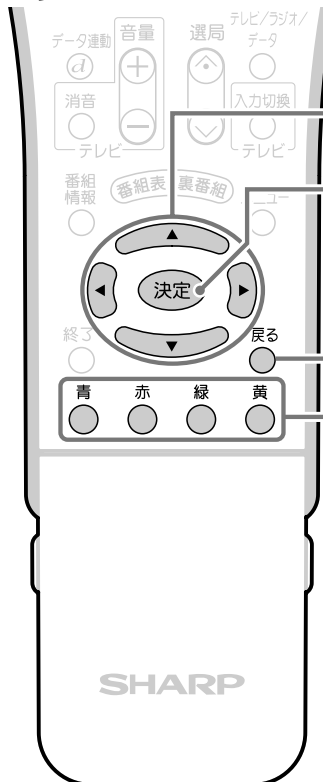
ソフトウェアキーボードについて

■プロバイダ設定（**112**ページ）を行うときに文字入力の必要な欄で決定ボタンを押すと、画面にソフトウェアキーボード（文字入力画面）が表示されます。このソフトウェアキーボード（文字入力画面）を使って、各入力欄に必要な文字・数字・記号を入力します。

（画面例）

ソフトウェアキーボード（文字入力画面）の使いかた

■ソフトウェアキーボード（文字入力画面）は、カーソルボタン、決定ボタン、戻るボタン、カラーボタンを使用して操作・入力します。

▼ソフトウェアキーボード表示

カーソル（現在の入力位置）

▼リモコン

ソフトウェアキーボード（文字入力画面）操作に使うリモコンボタン

カーソルボタン：入力文字（文字モード・文字グループ）の選択をします。

決定ボタン：選択した文字グループの展開、または選択した文字の入力を確定します。

戻るボタン：キーボード内入力欄の入力位置（カーソル）の文字を1文字消します。

カラーボタン青：入力を取り消します。現在の入力をすべて取り消し、キーボードが消えます。

カラーボタン赤：キーボード内入力欄のカーソルを左へ移動します。

カラーボタン緑：キーボード内入力欄のカーソルを右へ移動します。

カラーボタン黄：キーボード内入力欄の入力を完了します。キーボードが消えます。

おしらせ

●文字モードの「編集」内の各キーは、カラーボタン、戻るボタンの操作と同じ働きをします。

ソフトウェアキーボードについて(つづき)

入力文字の種類

入力文字一覧表

<table>
<tr><th>文字モード</th><th colspan="6">文字グループ（展開表示）</th></tr>
<tr><td rowspan="5">ひらがな</td><td colspan="6">記号 あ行 か行 さ行 た行 な行 は行 ま行 や行 ら行 わ行 空白</td></tr>
<tr><td>記号</td><td>ー、。・「」ー(全角ハイフン)</td><td>あ行</td><td>あいうえおぁぃぅぇぉ</td><td>か行</td><td>かきくけこ゛</td></tr>
<tr><td>さ行</td><td>さしすせそ゛</td><td>た行</td><td>たちつてとっ゛</td><td>な行</td><td>なにぬねの</td></tr>
<tr><td>は行</td><td>はひふへほ゛゜</td><td>ま行</td><td>まみむめも</td><td>や行</td><td>やゆよゃゅょ</td></tr>
<tr><td>ら行</td><td>らりるれろ</td><td>わ行</td><td>わをんゎ</td><td>空白</td><td>（全角スペース）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">カタカナ</td><td colspan="6">記号 ア行 カ行 サ行 タ行 ナ行 ハ行 マ行 ヤ行 ラ行 ワ行 空白</td></tr>
<tr><td>記号</td><td>ー、。・「」ー(全角ハイフン)</td><td>ア行</td><td>アイウエオァィゥェォ</td><td>カ行</td><td>カキクケコ゛</td></tr>
<tr><td>サ行</td><td>サシスセソ゛</td><td>タ行</td><td>タチツテトッ゛</td><td>ナ行</td><td>ナニヌネノ</td></tr>
<tr><td>ハ行</td><td>ハヒフヘホ゛゜</td><td>マ行</td><td>マミムメモ</td><td>ヤ行</td><td>ヤユヨャュョ</td></tr>
<tr><td>ラ行</td><td>ラリルレロ</td><td>ワ行</td><td>ワヲンヮ</td><td>空白</td><td>（全角スペース）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">英数全角</td><td colspan="6">数字 ABC DEF GHI JKL MNO PQRS TUV WXYZ 空白</td></tr>
<tr><td>数字</td><td>１２３４５６７８９０</td><td>ABC</td><td>ＡＢＣａｂｃ</td><td>DEF</td><td>ＤＥＦｄｅｆ</td></tr>
<tr><td>GHI</td><td>ＧＨＩｇｈｉ</td><td>JKL</td><td>ＪＫＬｊｋｌ</td><td>MNO</td><td>ＭＮＯｍｎｏ</td></tr>
<tr><td>PQRS</td><td>ＰＱＲＳｐｑｒｓ</td><td>TUV</td><td>ＴＵＶｔｕｖ</td><td>WXYZ</td><td>ＷＸＹＺｗｘｙｚ</td></tr>
<tr><td>空白</td><td>（全角スペース）</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="5">英数半角</td><td colspan="6">数字 ABC DEF GHI JKL MNO PQRS TUV WXYZ 空白</td></tr>
<tr><td>数字</td><td>1 2 3 4 5 6 7 8 9 0</td><td>ABC</td><td>A B C a b c</td><td>DEF</td><td>D E F d e f</td></tr>
<tr><td>GHI</td><td>G H I g h i</td><td>JKL</td><td>J K L j k l</td><td>MNO</td><td>M N O m n o</td></tr>
<tr><td>PQRS</td><td>P Q R S p q r s</td><td>TUV</td><td>T U V t u v</td><td>WXYZ</td><td>W X Y Z w x y z</td></tr>
<tr><td>空白</td><td>（半角スペース）</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4">記号半角</td><td colspan="6">@.,: ;_-¥ $%!? &#+* =/|￣ "'^` ()<> []{} 空白</td></tr>
<tr><td>@.,:</td><td>@ . , :</td><td>;_-¥</td><td>; _ - ¥</td><td>$%!?</td><td>$ % ! ?</td></tr>
<tr><td>&#+*</td><td>& # + *</td><td>=/|￣</td><td>= / | ￣</td><td>"'^`</td><td>" ' ^ `</td></tr>
<tr><td>()<></td><td>( ) < ></td><td>[]{}</td><td>[ ] { }</td><td>空白</td><td>（半角スペース）</td></tr>
<tr><td>編集</td><td colspan="6">入力取消 左へ 右へ 入力完了 文字消去
※入力文字ではありません。各キーを選び決定ボタンを押すと、カラーボタン、戻るボタンの操作と同じ働きをします。</td></tr>
</table>

文字入力をする

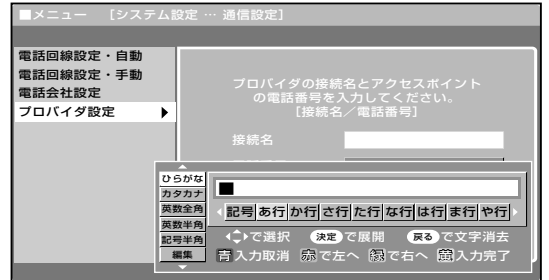
- 入力中に文字を消去する場合は、カラーボタン赤（左へ）または緑（右へ）でカーソルを移動し、戻るボタンを押します。
- 入力をやめる場合は、カラーボタン青を押します。入力をすべて取り消し、ソフトウェアキーボードが消えます。

● 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶

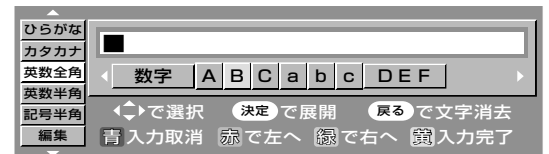
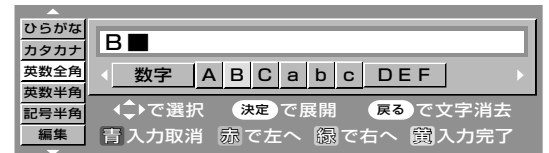
メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

操作開始

1 プロバイダ設定画面の入力欄で 決定 を押し、ソフトウェアキーボードを表示する

2 ① ▲ ▼ で「文字モード」を選ぶ

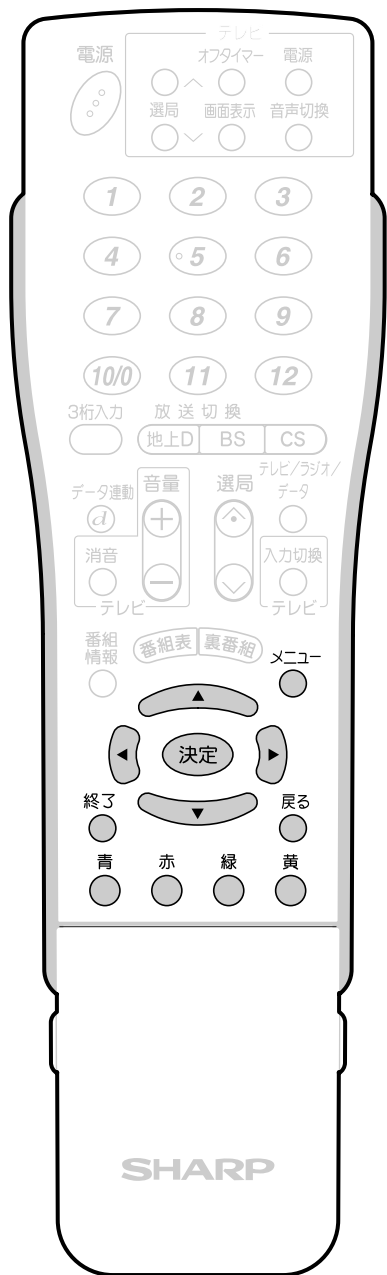
② ◀ ▶ で「文字グループ」を選び、決定 を押す

● 選んだ文字グループが展開されます。

3 ◀ ▶ で入力する文字を選び、決定 を押す

● キーボード内入力欄に決定した文字が表示されます。

● 続けて手順**2**～**3**を行い、文字を入力します。

4 黄 を押し、入力を完了する

● プロバイダ設定画面の入力欄に完了した文字列が表示され、ソフトウェアキーボードが消えます。

ソフトウェアキーボードについて(つづき)

だく点「゛」や半だく点「゜」を付ける

[例]「ぴ」を入力する

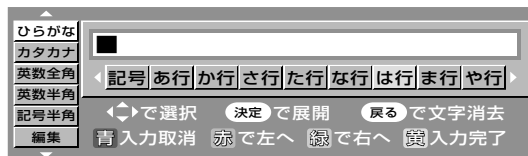
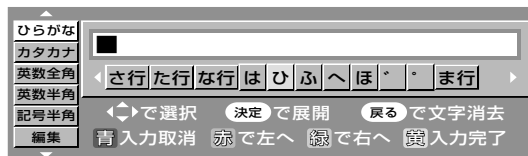
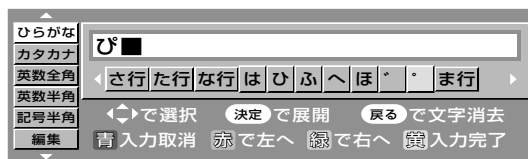
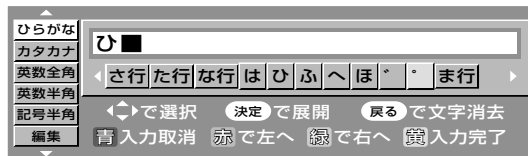
1

① **▲ ▼ で文字モード「ひらがな」を選ぶ**

② **◀ ▶ で「は行」を選び、決定 を押す**

2

◀ ▶ で「ひ」を選び、決定 を押す

3

◀ ▶ で「゜」を選び、決定 を押す

- 「゛」を選んで決定ボタンを押すと、「び」になります。

スペースを入力する

◀ ▶ で文字グループから「空白」を選び、決定 を押す

- 文字モードにより、半角スペースと全角スペースがあります。

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶ メニュー **または** 終了 **を押し、通常画面に戻す**

その他

● この章では、知っておいていただきたいことや、ご注意など便利な情報を掲載しています。用語の解説や索引も掲載しています。

故障かな？と思ったら

■次のような場合は、故障でないことがありますので、修理を依頼される前にあらかじめお調べください。なお、アフターサービスについては**131**ページをご覧ください。

	こんなときに	ここをお確かめください	ページ
チューナー側	映像も音声も出ない	●電源プラグがコンセントから、抜けていませんか。 ●電源「切」の状態になっていませんか。 ●BS・110度CSアンテナ電源が「切」になっていませんか。 ●映像、音声のない放送ではありませんか。	14 – 25 –
	リモコンが動作しない	●本機またはテレビに向けて操作していますか。 ●電池の極性（⊕、⊖）が逆になっていませんか。 ●リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ●予約録画実行中は、本機を操作できません。	15 15 15 45
	音が左右逆になる 片方しか音がでない	●接続ケーブルが左右逆に接続されたり片方がはずれたりしていませんか。	9
	映像が出ず、音のみ出る	●映像出力の接続ケーブルがはずれていませんか。 ●映像設定が正しく設定されていますか。D映像ケーブルを使って接続しているときは、いったん映像音声コードで接続し、映像設定を確認してください。	9 17
アンテナ側	画面に四角のノイズ（モザイク）が出る	●アンテナの向きがずれていませんか。 メニューでアンテナレベル（信号強度）を確認してください。 ●アンテナの前方に障害物はありませんか。 ●アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。	26 – 6～8
その他	有料放送の視聴ができない	●B-CASカードは正しく挿入されていますか。 ●有料放送を視聴するための契約はされていますか。 ●電話回線の接続や設定は正しいですか。	13 42・44 51～58
	横長の映像や縦長の映像になる 画面の上下に黒い帯が出る	●システム設定の画面サイズ設定は接続されているテレビに合わせていますか。 ●ワイドテレビの場合、映像に合った画面モードに設定してありますか。	17 17
	画面にノイズが出る	●UHF/VHFのアンテナケーブルがBS・110度CSアンテナケーブルと接近していませんか。	–
	ビデオコントローラーでの録画予約ができない	●ビデオコントローラーは正しく接続されていますか。 ●ビデオコントローラーのビデオ連動録画設定は正しく設定されていますか。 ●データ番組ではありませんか。	87 89～91 64

■本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。このときは一度、電源プラグをコンセントから抜き、約30分後再度コンセントに差し込んで、電源を入れてご使用ください。

このようなときも故障ではありません

ときどき“ピシッ”と音がする
- 温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。
  性能その他に影響はありません。

BS・110度CS共用アンテナへの積雪や豪雨などによる一時的な映像障害
- 衛星放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合にはまったく受信できなくなることがあります。これは気象条件によるもので、アンテナや本機の故障ではありません。
- 春分や秋分の前後20日程度は人工衛星が地球の陰（食）になるため、深夜一時的に電波が止まる場合があります。

デジタル放送の注意文

■B-CASカードや放送の受信・視聴に関するエラーメッセージ

画面に表示される エラーメッセージ例	エラー コード	対処のしかた	参照 ページ
IC カードを正しく装着してください。		B-CASカードを正しく挿入し、ロックスイッチをロックしてください。	**13**
この IC カードは使用できません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	B-CASカードを抜き差ししてみてください。それでもエラーが表示される場合は、B-CASカスタマーセンターおよびご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	**13**
このカードは使用できません。 正しい IC カードを装着してください。	＊＊＊＊	専用のB-CASカードを挿入してください。	**13**
このチャンネルは契約されていません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	**–**
この IC カードには必要な情報が有りません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	**–**
放送チャンネルではないため、視聴できません。	E200	このチャンネル（番組）は視聴できません。	**–**
降雨対応画面選択中です。 映像切換ボタンでもとの画面に戻ります。	E201	天気の回復をお待ちください。	**–**
放送が受信できません。	E202	アンテナ線を確認してください。 アンテナの設定があっているか確かめてください。	**6** **25**
現在放送されていません。番組表などで放送時間を確認してください。	E203	番組表などで放送時間を確かめてください。	**–**
○○○チャンネルが見つかりません。 番組表などでチャンネルを確認してください。	E204	番組表などでチャンネルを確かめてください。	**–**
○○○チャンネルのサービスは、この受信機では受信できません。	E210	選局されたチャンネルとは別のチャンネルを選局してください。	**–**
契約期限が切れています。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	**–**

デジタル放送の注意文（つづき）

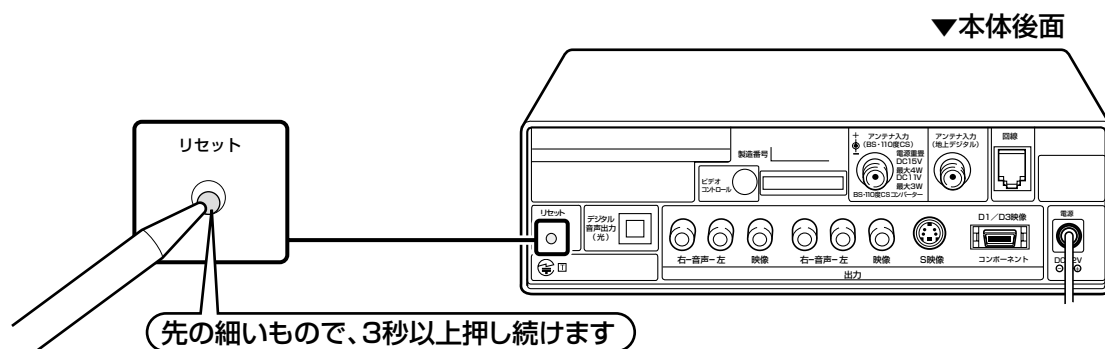
画面に表示される エラーメッセージ例	エラー コード	対処のしかた	参照 ページ
このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
受け付け時間を過ぎていますので購入できません。	****	番組の冒頭の限られた時間しか購入できない番組もあります。	–
電話回線を接続の上、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	電話回線の接続を確認のうえ、B-CASカードを抜き差ししてください。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	**51・13** –
データの通信に失敗しました。	E301	電話回線の接続を確認して、メニューの通信設定を正しく行ってください。	**51** **53～58**
データが受信できません。	E400	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	–
対象地域外のため、データを表示できません。	E401	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	–
この受信機では、データを表示できません。	E401	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	–
データの表示に失敗しました。	E402	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	–

■システムエラー発生時の注意文

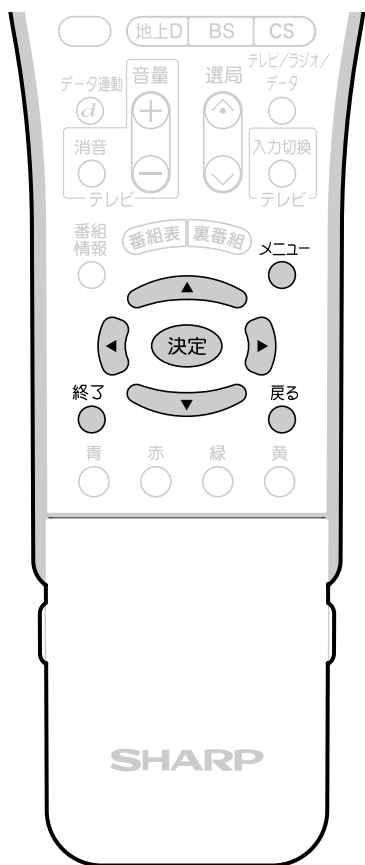
注意文	内容・対処のしかた
システムエラーです。 電源を入れなおしてください。	マイコンの動作がおかしくなったときに表示されます。

リセットボタンについて

■本機を使用中に、強い外来ノイズ(過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など)を受けた場合や誤った操作をした場合などに、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。
■このようなときは、本体後面のリセットボタンを3秒以上押してから操作をやり直してください。
■リセット直後はデータ取り込みのため、画面表示には時間がかかります。
■リセット後は、リセット前のテレビ・チャンネルに戻ります。

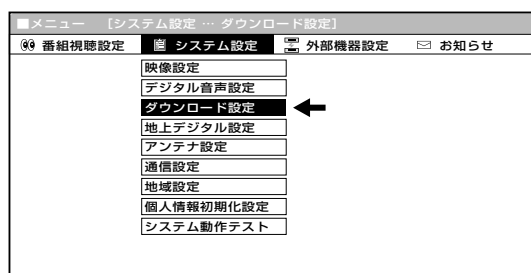
▼本体後面

ダウンロードを行う

ダウンロードの方法

■ ダウンロード機能とは、本機内のソフトウェアを書き換えて、機能アップや機能改善等を行うためのもので、その方法には2種類あります。
1つは自動的にダウンロードを行う方法で、もう1つはお客様が必要に応じ、マニュアル選択によりダウンロードすることができる方法です。
なお、お買い上げ時は利便性を考えてダウンロードの選択は「する」に設定されています。

操作開始

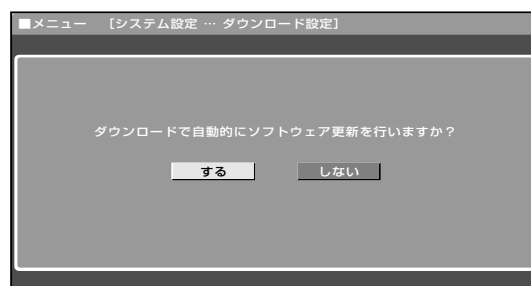
1 ① メニューを押し、メニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「ダウンロード設定」を選び、決定 を押す

2 ◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す

「する」………自動ダウンロードでソフトウェアの更新を行います。（工場出荷時の設定）

「しない」……ソフトウェアの自動ダウンロードを行いません。

● 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶

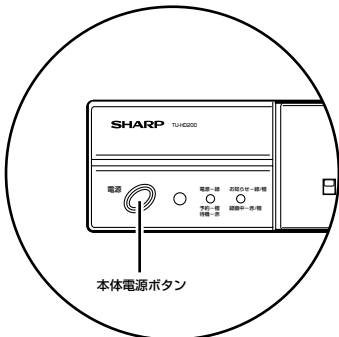
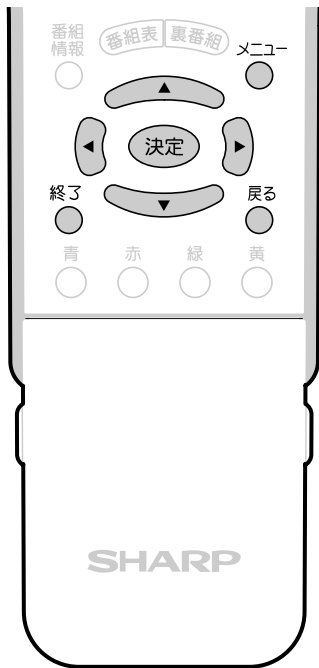
メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

● ソフトウェアの受信（ダウンロード）には、数分程度の時間がかかります。その間は、デジタルリセットボタンの操作、電源プラグの抜き差しを行わないでください。ダウンロードが失敗する場合があります。
● ダウンロードによって、設定内容が工場出荷時の状態に戻ることがあります。その場合は、設定し直してください。
● ダウンロードによって、予約の情報がなくなる場合があります。そのときは、再度、予約設定を行ってください。
● ダウンロードは、本機の電源が待機状態（電源ランプが赤または橙色に点灯）のときに実行されます。

本機を譲渡・廃棄するとき

個人情報を初期化する

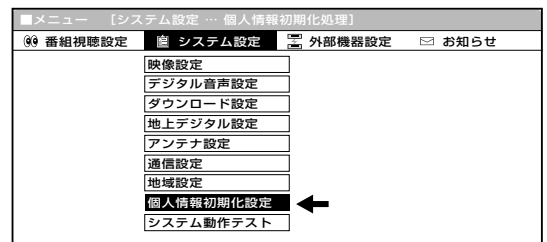
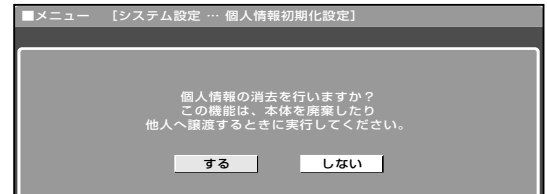
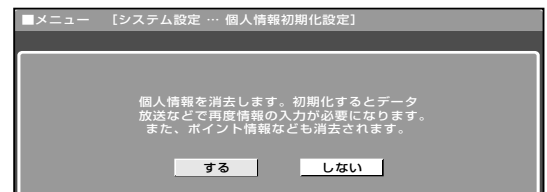
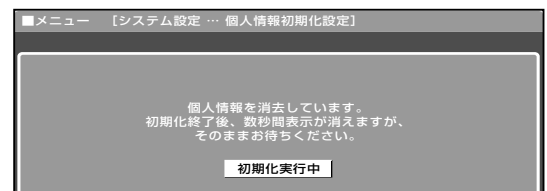
■ 本機には、放送局とデータの送受信を行うために入力した、お客さまの個人情報があります。
本機を他人に譲渡したり、廃棄したりする際には、個人情報の初期化を行い情報を消去してください。

● お客さまが設定した情報内容（暗証番号など）がすべて初期化されます。

データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客さまの登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

● 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作開始

1
① メニュー を押し、メニュー画面を表示する
② ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ
③ ▲ ▼ で「個人情報初期化設定」を選び、決定 ボタンを押す

2
◀ ▶ で「する」を選び、決定 を押す

3
◀ ▶ で「する」を選び、決定 を押す

● 表示が「初期化実行中」（点滅）に変わります。初期化には、しばらく時間がかかります。

● 初期化が終了すると、画面が数秒間消え、メニューが解除されます。

4
本体の電源ボタン を押し、電源を切る

操作終了

メニュー項目一覧

番組視聴設定
字幕表示設定
する、しない
チャンネル表示設定
大きく表示、小さく表示、表示しない
画面表示設定
する、しない
暗証番号設定
4桁数字
視聴年齢制限設定
暗証番号（4桁）
視聴制限年齢（2桁）、無制限
PPV設定
暗証番号（4桁）
PPV制限
する、しない
双方向サービス設定
暗証番号（4桁）
購入金額制限
××円以下、無制限
する、しない
システム設定
映像設定
コンポーネント設定
D3、D1（16：9）、D1（4：3）
映像／S映像設定
レターボックス、スクイーズ
デジタル音声設定
PCM、AAC
ダウンロード設定
する、しない
地上デジタル設定
番組表取得設定
する、しない
チャンネル設定−自動
する、しない ► UHF、全チャンネル
チャンネル設定−追加
する、しない ► UHF、全チャンネル
チャンネル確認／変更
設定内容表示、名前・スキップ設定・枝番変更
アンテナ設定
電源・受信強度表示
BS・CSアンテナ電源　入、切
周波数設定
周波数入力
信号テスト−BS
BS-1、BS-3、BS-5、BS-7、BS-9、BS-11、BS-13、BS-15、終了
信号テスト−CS
CS2、CS4、CS6、CS8、CS10、CS12、CS14、CS16、CS18、CS20、CS22、CS24、終了
信号テスト−地上D
地上D-1〜12、終了
通信設定
電話回線設定・自動
テスト実行
電話回線設定・手動
20PPS、10PPS、トーン、外線、ダイヤルトーン検出
電話会社設定
設定しない、186、184、事業者番号
プロバイダ設定
接続名、電話番号、ユーザー名、DNS設定
地域設定
地域選択
郵便番号設定
個人情報初期化設定
する、しない
システム動作テスト
外部機器設定
ビデオ連動録画設定
メーカー選択
テスト実行、設定する
お知らせ
受信メッセージ一覧
ボード
CS1、CS2
受信機レポート
ICカード番号表示
PPV購入履歴

保証とアフターサービス　よくお読みください

保証書(別添)

● 保証書は､｢お買いあげ日･販売店名｣等の記入をお確かめのうえ､販売店から受け取ってください。保証書は内容をよくお読みののち、大切に保存してください。

● **保証期間**
お買いあげの日から1年間です。（消耗部品は除く）
保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

ご不明な点や修理に関するご相談は

● 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。（**132**ページ）

補修用性能部品の最低保有期間

● デジタルチューナーの補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打切後8年です。
● 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは　出張修理

● ｢故障かな?と思ったら｣(**124**ページ)を調べてください｡それでも異常があるときは､使用をやめて､必ず電源プラグを抜いてから､お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品　　　名：デジタルチューナー
- 形　　　名：TU-HD200
- お買いあげ日（年月日）
- 故障の状況（できるだけくわしく）
- ご　住　所（付近の目印もあわせてお知らせください）
- お　名　前
- 電話番号
- ご訪問希望日

便利メモ

お客様へ…
お買い上げ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電話（　　）　―

保証期間中

修理にさいしましては保証書をご提示ください｡保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

愛情点検

●長年ご使用のデジタルチューナーの点検をぜひ！（熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような症状はありませんか	●電源を入れても映像や音が出ない。 ●上下、または左右の映像が欠けて映る。 ●映像が時々、消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源を切っても、映像や音が消えない。 ●内部に水や異物が入った。	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源スイッチを切りコンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

● 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は ………… 修理相談センター へ
● 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は ……………… お客様相談センター へ

修理相談センター

● **修理相談センター（沖縄・奄美地区を除く）**

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時　（年末年始を除く）

0570 - 02 - 4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。

（注）PHS・IP電話からは、下記電話におかけください。

		＜東日本地区＞	＜西日本地区＞
○ PHS・IP電話でのご利用は …………………	（一般電話）	043 - 299 - 3863	06 - 6792 - 5511
○ FAXを送信される場合は ……………………	（ＦＡＸ）	043 - 299 - 3865	06 - 6792 - 3221

○ 沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ **持込修理および部品購入のご相談** は、上記「修理相談センター」のほか、下記地区別窓口にても承っております。

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

〔但し、沖縄・奄美地区〕は……＊月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒331-0812	さいたま市北区宮原町2-107-2
	宇都宮サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横浜テクニカルセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静岡サービスセンター	0543-44-5781	〒424-0067	静岡市清水区鳥坂1170-1
	名古屋サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金沢サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚4-103
近畿地区	京都サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	阪神サービスセンター	06-6422-0455	〒661-0981	兵庫県尼崎市猪名寺3-2-10
中国地区	広島サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄･奄美地区	那覇サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

お客様相談センター

フリーダイヤル **0120 - 078 - 178**

○ フリーダイヤルがご利用いただけない場合は…

	TEL	FAX	所在地
東日本相談室	043 - 351 - 1821	043 - 299 - 8280	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	06 - 6792 - 1582	06 - 6792 - 5993	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時　（年末年始を除く）

●FAX送信される場合は、お客様へのスムーズな対応のため、形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。
●所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。（05.11）

おもな仕様

形名		TU-HD200
種類		地上・BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナー
受信チャンネル		BSデジタル000～999チャンネル／110度CSデジタル000～999チャンネル／ 地上デジタル000～999チャンネル(CATV パススルー対応)
アンテナ入力		BS-IF75Ω不平衡型(C15型)、地上デジタル75Ω不平衡型
定格電圧		AC100V　50／60Hz(付属ACアダプター使用時)
		本体DC12V(付属ACアダプター使用時)
消費電力		12 W(アンテナ電源「切」時)　18 W(アンテナ電源「入」4W負荷時) リモコン待機時：0.16 W(アンテナ電源「切」時　デジタル放送録画予約「OFF」) 本体電源OFF時：0.09 W 本体のみ：10W(DC)(アンテナ電源「切」時)
接続端子		ビデオ出力1系統2端子、S映像出力1系統1端子、D1／D3映像出力1系統1端子、 音声出力1系統2端子､DC入力端子 デジタル放送音声出力(光)1系統1端子、電話回線端子、ビデオコントロール端子、 アンテナ入力(BS・110度CS)端子、アンテナ入力(地上デジタル)端子
BS・110度CS チャンネル受信仕様	変調	時分割多重mPSK
	トランスポート	MPEG2 システム
	映像	MPEG2 (MP@HL)
	音声	MPEG2 AAC
	限定受信システム	ARIB CASシステム
	受信周波数帯域	11.71GHz～12.75GHz
	IRD受信周波数帯域	1032MHz～2071MHz
地上デジタル チャンネル受信仕様	変調	直交周波数分割多重(OFDM)
	トランスポート	MPEG2 システム
	映像	MPEG2 (MP@HL)
	音声	MPEG2 AAC
	限定受信システム	ARIB CASシステム
	受信周波数帯域	93MHz～767MHz
	CATVパススルー対応	UHF帯、ミッドバンド(MID)帯、スーパーハイバンド(SHB)帯、VHF帯
キャビネット		プラスチック
外形寸法		縦置き時：幅116mm×奥行き183mm×高さ230mm 横置き時：幅215mm×奥行き183mm×高さ67mm(スタンド含まず)
本体質量		約1.2kg
使用温度		0℃～40℃

■製品改良のため仕様の一部を予告なく変更することがあります。

本機で使用している特許など

本機は、MPEG2 AACに関する下記番号の特許を使用しています。

特許番号

5,848,391	5,291,557	5,451,954	5,400,433	5,222,189
5,357,594	5,752,225	5,394,473	5,583,962	5,274,740
5,633,981	5,297,236	4,914,701	5,235,671	07/640,550
5,579,430	08/678,666	98/03037	97/02875	97/02874
98/03036	5,227,788	5,285,498	5,481,614	5,592,584
5,781,888	08/039,478	08/211,547	5,703,999	08/557,046
08/894,844	5,299,238	5,299,239	5,299,240	5,197,087
5,490,170	5,264,846	5,268,685	5,375,189	5,581,654
5,548,574	5,717,821			

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロヴィジョン社の許可が必要です。また、その使用は、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。

著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画像劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。

用語解説

■ 110度CSデジタル放送
BSデジタル放送の放送衛星と同じ東経110°に打ち上げられた通信衛星を利用したCSデジタル放送のことです。

■ 16：9
デジタルハイビジョン放送や映画などのDVD再生時によく使われている画面横縦比です。従来の4：3映像に比べ、視界の広い臨場感のある映像が楽しめます。

■ BS（Broadcast Satellite）
放送衛星のことです。BS-4先発機から従来のBSアナログ放送が、BS-4後発機からBSデジタル放送が送られています。

■ BSデジタル放送
2000年12月から本格サービスが開始された衛星放送で、従来のBS（アナログ）放送に比べ、より高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。さらに、BSデジタル放送では、高品位のデジタル音声放送（BSラジオ）、ニュース・スポーツ・番組案内などの情報提供、オンラインショッピングやクイズ番組への参加が可能なデータ放送など、多彩なサービスを行っています。

■ CATV（ケーブルテレビ）
ケーブル（有線）テレビ放送のことです。放送サービスが実施されている地域で、ケーブルテレビ局と契約することによって、放送を受信できます。それぞれの地域に密着した情報を発信しているのが特徴です。

■ CSデジタル放送
通信衛星（CS：Communication Satellite）を使用した放送のことです。細かいジャンルに特化した多数の専門チャンネルから見たい放送を購入して視聴する仕組みです。一部、無料放送もあります。

■ D端子
高画質映像信号用コネクタの通称です。従来、輝度信号（Y）と色差信号（C_B/P_B、C_R/P_R）を3本のケーブルで接続（コンポーネント接続）していたのを1本のケーブルで接続できるようにしたのがD端子ケーブルです。輝度・色差信号のほかにも、映像フォーマットを識別する制御信号を送ることができます。走査線数と走査方式によってD1～D5の規格があり（本機はD3に対応）、数字が大きいほど、より高画質な映像に対応できます。

■ HDTV（High-Definition Television）
1125iや750pなどのデジタルハイビジョンの高画質、高精細度テレビ放送のことです。

■ NTSC（National Television System Committee）
日本でも採用している現行のカラーテレビ放送方式の標準規格のことです。現在、日本、アメリカのほか、韓国、カナダ、メキシコなどで採用しています。この規格は、毎秒30フレーム（フィールド周波数60Hz）、走査線数525本のインターレース方式です。

■ SDTV（Standard Definition Television）
従来の走査線525本の標準精細度テレビ放送のことです。

■ インターレース（飛び越し走査）
NTSC方式のテレビやビデオの画像表示では、525本の走査線のうち、まず奇数番めの走査線（262.5本）を1/60秒で描きます（この1画面を1フィールドといいます）。つぎに偶数番めの走査線（262.5本）を1/60秒で描きます。これで、あわせて走査線525本の1枚の完全な画像（フレーム）をつくっていく方式です。

■ コンポーネント接続
映像信号を輝度信号（Y）と色差信号（C_B/P_B、C_R/P_R）の3つのコンポーネント（構成部分）に分離して伝送する接続方法です。コンポーネント映像端子は3つの端子に分かれているので、接続には3つのプラグに分かれた専用コード（コンポーネントケーブル）を使用します。通常の映像端子による接続に比べ、色のキレが良く、色ニジミのない画質が得られます。

■ コンポジット接続
通常の映像端子（ビデオ端子）を使って映像信号を伝送する接続方法です。映像端子は1つのみで、ふつう黄色で表示されており、形状は音声端子と同じです。コンポジット接続による映像・音声端子の接続では、黄・白・赤の3色に分かれたAVケーブルを使うのが一般的です。

用語解説(つづき)

■ 地上デジタル放送

従来のテレビ放送と同じく、放送局の電波塔から送られる電波を使ったデジタル放送です。
高画質、高品質な映像・音声サービスやデータ放送など多様なサービスを実現します。

■ ハイビジョン放送

高画質放送のことです。従来の地上波テレビ放送が525本の走査線で表示していたのに対し、デジタルハイビジョン放送は1,125本の走査線を使用しているため、より緻密で高画質な映像です。デジタル放送では、番組によって「デジタルハイビジョン映像」と「デジタル標準映像」という異なる画質で放送されています。

■ プログレッシブ

テレビ画面に画像を表示する方式の1つ。順次表示方式の意味で、高画質な映像を表示できます。
左上から1本目、2本目、3本目、と順に走査線を引いていく方式がプログレッシブ方式。
画像の左から右への水平走査と、上から下への垂直走査を順次に行う方式で、ノンインターレース方式ともいいます。DVD再生やデジタル放送ではプログレッシブ方式の信号が出力されるものもあります。
(525p、750pは、プログレッシブ方式の信号です。)
地上アナログ放送やBSアナログ放送、およびビデオデッキなどはインターレース方式ですが、インターレース方式の信号でもI/P変換により画面上ではプログレッシブ信号と同様なチラツキの少ない高密度な映像を得ることができます。

用語索引

● 製品についてのお問合せは…		
お客様相談センター 0120 - 078 - 178	フリーダイヤルがご利用いただけない場合は 東日本相談室　TEL **043-351-1821**　FAX **043-299-8280** 西日本相談室　TEL **06-6792-1582**　FAX **06-6792-5993**	
≪受付時間≫　月曜～土曜：午前9時～午後6時　　日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）		

● 修理のご相談は…	**132**ページ記載の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。

● シャープホームページ	**http://www.sharp.co.jp/**

シャープ株式会社

本　　　　　社　　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部　〒329-2193　栃木県矢板市早川町174番地

★この印刷物は環境に配慮した植物性大豆油インキを使用しています。
★この取扱説明書は再生紙を使用しています。（古紙配合率 100%）

TINS-C294WJZZ⚠
06P03-JA-MI